

分布調査報告書(49)

令和5年3月

山形県

分布調査報告書 (49)

2023年3月

山形県

序

本県では、これまで約5,000か所の遺跡が確認されており、舟形町西ノ前遺跡から出土した国宝土偶「縄文の女神」をはじめとする貴重な埋蔵文化財が発見されています。これらの埋蔵文化財は、地域を形づくってきた豊かな歴史や文化を生き活きと物語る県民共有の財産であり、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。また、地域づくりや観光振興の資源としての活用も期待されています。

道路や河川、農地の整備など、豊かで快適な県民生活を築くための開発事業が行われる場合には、開発と埋蔵文化財保護との調整を図ることが重要です。このため、開発事業に先立ち、踏査や試掘調査などの遺跡詳細分布調査を実施しています。

本報告書は、令和3年度に関係事業所からの事業計画聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地における60件の踏査・試掘調査・記録保存調査・工事の立会調査を行った成果をまとめたものです。調査成果が埋蔵文化財保護行政の基礎資料となり、今後の遺跡の保護や開発計画の策定に役立つとともに、県民の皆様に広く活用されることを願います。

結びに、調査に御協力いただいた関係各位に、厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

山形県知事 吉村 美栄子

例　　言

- 1 本書は、令和3年度に山形県が国庫補助を受けて実施した、令和4年度以降の県農林水産部・県
　　県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査と本書の作成は山形県観光文化スポーツ部文化財活用課の竹田純子、稻村圭一、岩崎恒平、
　　山科樹生が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第Ⅰ章に調査の目的と経緯を、第Ⅱ章に調査の概要一覧、試掘調査の結
　　果、記録保存調査の結果、工事立会調査の結果を記した。第Ⅲ章には、令和3年度に通知があった
　　遺跡の範囲等の修正一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行2万5千分の
　　1の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

Tは試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色
部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。
　　遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。
　　なお、以下に調査で使用した検出遺構の略記号を掲載する。
　　S T : 竪穴建物跡 S D : 溝状遺構 S K : 土坑 S P : 柱穴跡・ピット
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関、山形市・長井市及びその他の市町村教育委員会、地権者各位、
　　地元関係者の御協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

目 次

第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的	1
2 調査の経緯	1
3 調査の結果	2
令和3年度県内遺跡詳細分布調査工程表	2
令和3年度県内遺跡詳細分布調査一覧	3

第Ⅱ章 調査の概要

1 令和3年度県内遺跡詳細分布調査概要	6
No. 1～27(県農林事業関係遺跡)	18
No.27～30(県農林・県県土整備事業関係遺跡)	26
No.31～45(県県土整備事業関係遺跡)	27
No.45～49(県県土整備・県教育庁・県警本部事業関係遺跡)	31
No.49～53(県警本部・国土交通省事業関係遺跡)	32
No.53～60(国土交通省事業関係遺跡)	33
2 試掘調査の概要	
(1) 狼沢遺跡	36
(2) 原の内 A 遺跡ほか	38
(3) 塩根川遺跡	49
(4) 唐猫沢遺跡	51
(5) 真室川北部1期地区遺跡可能性地	54
(6) 片杉野遺跡	57
(7) 浅川地区遺跡可能性地1・3	59
(8) 天王遺跡、漆山地区遺跡可能性地2・3・4	62
(9) 成田地区遺跡可能性地1	71
(10) 杉沢前田地区遺跡可能性地	74
(11) 内林遺跡、沢成遺跡	79
(12) 大橋館跡	82
(13) 神矢田遺跡、畠地区遺跡可能性地	85
(14) 馬場田館跡隣接地	96
(15) 清水北遺跡	98

(16) 荷渡遺跡隣接地	101
(17) 野瀬遺跡、遺跡可能性地	103
(18) 山形城三の丸跡	107
(19) 鶴ヶ岡城跡	113
(20) 南台遺跡隣接地	117
(21) 鶴ヶ岡城跡	119
(22) 一般国道13号金山道路遺跡可能性地1	126
(23) 物見峠C遺跡隣接地	128
(24) 谷地之子遺跡	131
(25) 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2	133
3 記録保存調査の概要	
(1) 大橋館跡	135
4 工事立会の概要	
(1) 石田遺跡、谷柏古墳群	143
第III章 遺跡の修正	
1 範囲修正	147
令和3年度範囲修正遺跡一覧	147
掲載遺跡位置図使用図幅一覧	148
報告書抄録	

第Ⅰ章 調査の目的と経緯

1 調査の目的

令和3（2021）年度の遺跡詳細分布調査は、令和4年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

（1）踏査・現地確認調査（A調査）

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲の確認をする。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

（2）試掘調査・遺跡確認調査（B調査）

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

（3）記録保存のための発掘調査（C調査）

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

（4）工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狭小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

2 調査の経緯

山形県では、例年5月に開発関係機間に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7月～8月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も随時行っている。

令和3年度の調査は、「令和3年度県内遺跡詳細分布調査一覧」（3頁）に示した各遺跡の調査を、令和3年4月から令和4年3月まで「令和3年度県内遺跡詳細分布調査工程表」（2頁）の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、令和3年度に山形県が範囲等を修正した遺跡は、第Ⅲ章に示した。

調査の内容と結果については、第Ⅱ章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。分布調査の結果、開発事業実施にあたって記録保存のための発掘調査が避けられないものについては、さらに次節で試掘調査結果の詳細を報告した。

3 調査の結果

踏査、試掘調査、記録保存調査、工事立会調査をした周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地は 60 件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が 27 件、県県土整備部事業が 19 件、県教育庁事業が 2 件、県警察本部事業が 1 件、国土交通省事業が 11 件である。

調査の内訳は、踏査が 36 件、試掘調査が 25 件、記録保存調査が 1 件、工事立会が 4 件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った遺跡は 2 件、試掘調査と記録保存調査の両方を行った遺跡は 1 件、試掘調査と工事立会の両方を行った遺跡は 1 件、踏査と工事立会の両方を行った遺跡は 1 件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、農地整備事業（経営体育成型）に係る原の内 A 遺跡（尾花沢市）、都市計画道路八日町旅籠町線に係る山形城三の丸跡（山形市）、都市計画道路道形黄金線に係る鶴ヶ岡城跡（鶴岡市）、庄内中高一貫校（仮称）整備に係る鶴ヶ岡城跡、一般国道 7 号遊佐象潟道路に係る水林下遺跡（遊佐町）の 5 件である。

令和 3 年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分		令和 3 (2021) 年												令和 4 (2022) 年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
踏査・試掘調査・工事立会	県農林水産部	■	■	■				■■■■			■	■				
	県県土整備部		■	■			■	■■	■	■	■					
	県教育庁				■	■										
	県警察本部	■					■	■	■	■	■					
	国土交通省		■		■	■	■	■	■	■■■						
令和 4 年度以降の埋蔵文化財包蔵地に係る開発事業計画の照会・聴取			■		■■■											
整理作業	出土品・記録の整理										■■■■					
	報告書原稿作成									■■■■■■■■						

令和3年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分		
					踏査	試掘	記録工事 保存立会
農林水産部	1	農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)	南山形地区	石田遺跡(201-327) 谷柏古墳群(201-020)			○
	2	農地整備事業(中山間地域型)	大原南地区	狼沢遺跡(208-034)		○	
	3	農地整備事業(経営体育成型)	鶴子六沢地区	原の内A遺跡(212-029)ほか		○	
	4	農地整備事業(経営体育成型)	真室川北部2・3期地区	塩根川遺跡(364-067)	○	○	
	5	農地整備事業(経営体育成型)	二日町地区	清水城跡(365-010)	○		
	6	農地整備事業(経営体育成型)	沖の原地区	仲ノ原遺跡(363-017) 沖野原遺跡(363-018)	○		
	7	農地整備事業(経営体育成型)	赤坂西地区		○		
	8	農地整備事業(経営体育成型)	作の巻地区	作之巻遺跡(365-007)	○		
	9	農地整備事業(経営体育成型)	清水堰地区		○		
	10	農地整備事業(経営体育成型)	紫山向山地区		○		
	11	農地整備事業(経営体育成型)	三光堰西地区	唐猫沢遺跡(363-031)		○	
	12	農地整備事業(経営体育成型)	真室川北部1期地区	遺跡可能性地		○	
	13	農地整備事業(経営体育成型)	平岡3期地区	片杉野遺跡(364-047)		○	
	14	農地整備事業(機構関連)	浅川地区	遺跡可能性地1 遺跡可能性地3	○	○	
	15	農地整備事業(経営体育成型)	漆山地区	天王遺跡(213-075) 遺跡可能性地2・3・4		○	
	16	農村地防災減災事業(用排水施設等整備事業)	矢子堰地区	潜清水a遺跡(202-528)	○		
	17	農地整備事業(経営体育成型)	成田地区	遺跡可能性地1		○	
	18	農地整備事業(経営体育成型)	草岡地区	手塚館跡(209-141)	○		
	19	農地整備事業(中山間地域型)	中橋地区	谷地橋跡(203-061)	○		
	20	農地整備事業(中山間地域型)	日向中部地区	深沢橋跡(462-057)	○		
	21	農地整備事業(中山間地域型)	笹川左岸上流地区	海谷森遺跡(424-122)	○		
	22	農地整備事業(経営体育成型)	杉沢前田地区	遺跡可能性地	○		

I 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分		
					踏査	試掘	記録保存 工事立会
県農林水産部	23	農地整備事業(経営体育成型)	当山地区	創造神社西窓跡(461-094) 下当切系遺跡(461-095) 内林遺跡(461-101) 沢成遺跡(461-102)	○	○	
	24	農地整備事業(経営体育成型)	大橋地区	大橋館跡(461-151)		○	○
	25	農地整備事業(経営体育成型)	畠地区	神矢田遺跡(461-206) 遺跡可能性地		○	
	26	農地整備事業(経営体育成型)	宝谷地区	宝谷遺跡(425-028)	○		
	27	農地整備事業(経営体育成型)	一本松地区	一本松A遺跡(424-022) 川代山J遺跡(424-030)	○		
県県土整備部	28	道路事業(改築)(主)山形天童線道路改良工事	成生工区		○		
	29	交通安全道路事業(交付金)(主)米沢猪苗代線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡(202-487)			○
	30	道路改築事業(補助)(国)287号 道路改良工事	米沢川西バイパス工区	馬場田館跡(202-312)隣接地	○		
	31	道改事業(交付金)(一)村山大石田線(飯称)村山北①IC 県道改良工事	名取工区	清水北遺跡(208-104)	○		
	32	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新) (主)新庄次年子村山腰老朽橋架替工事	堀内橋工区	荷渡遺跡(363-013)隣接地	○		
	33	道路改築事業(地債)(国)345号道改良工事	北目工区	野瀬遺跡(461-005) 遺跡可能性地	○		
	34	都市計画道路八日町旅籠町線	二期	山形城三の丸跡(201-003)	○		
	35	都市計画道路道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡(203-044)	○		○
	36	須川河川整備補助事業築堤工	山形市沼木～蔵王成沢	鏡ヶ測遺跡(201-218) 若宮館跡(201-228) 成沢遺跡(201-299)	○		
	37	五十川河川整備補助事業築堤工	大石田町今泉	善翁寺裏遺跡(341-018)	○		
	38	濱渕川河川整備補助事業護岸工	遊佐町直世	下山遺跡(461-016) 笛測遺跡(461-017) 日倉神遺跡(461-018)	○		
	39	山辺南沢2 地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	山辺町根際	根際古墳(301-046)	○		
	40	諒訪沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	中山町柳沢	樋堂・樋戸遺跡(302-006)	○		
	41	堆土砂災害対策事業(地すべり)	上山市小白府		○		
	42	橋(3)土砂災害対策事業(砂防自然災害防止急傾斜)	寒河江市白岩	白岩絆塚(206-086)	○		

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分		
					踏査	試掘	記録保存 工事立会
県 県土整備部	43	たてあと沢地域防災力強化型 土砂災害対策事業(防災安全・ 通常砂防)砂防えん堤工	鮎川村京塚	京塚館跡(366-039)	○		
	44	弥吉沢土砂災害対策事業(砂 防自然災害防止)渓流保全工	鮎川村庭月	庭月觀音堂遺跡(366-037) 隣接地 觀音寺遺跡(366-038)隣接地	○		
	45	大沢地域力防災強化型土砂災 害対策事業(防災安全・通常 砂防)砂防えん堤	南陽市新田	館原館跡(213-094)隣接地	○		
	46	東光坊沢土砂災害対策事業(砂 防自然災害防止)砂防えん 堤工	酒田市山谷新田	新山B窓跡(464-016) 山谷新田遺跡(464-023)	○		○
県 教育厅	47	米沢養護学校西置賜校整備	長井市泉	南台遺跡(209-069)隣接地		○	
	48	庄内中高一貫校(仮称)整備	鶴岡市若葉町	鶴ヶ岡城跡(203-044)		○	
県警本部	49	交番・駐在所整備事業天童警 察署干布・荒谷(仮称)駐在所	天童市荒谷		○		
国 土交通省	50	最上川上流大規模関連灾害事 業(河道掘削)	大久保上流地区、 大久保下流地区、 長瀧地区、谷地下 流地区、谷地上流 地区、藏増地区	堰口館跡(321-005)			
	51	最上川上流大規模関連灾害事 業(溝延築堤)	河北町溝延		○		
	52	最上川直轄河川大規模灾害関 連事業(最上川中流)	大石田町横山	横山学校前遺跡(341-023)	○		
	53	最上川直轄河川大規模灾害関 連事業(最上川中流)	新庄市本合海地内、 大蔵村合海地内・ 清水地内		○		
	54	沢内の沢砂防堰堤(角川・鋼 山砂防)	戸沢村角川	沢内遺跡(367-054)隣接地	○		
	55	一般国道13号金山道路	金山町朴山	遺跡可能性地1		○	
	56	一般国道113号小国道路	小国町玉川～松岡(杭 No.302～595)	金毘羅砦跡(401-035) 平林Ⅲ遺跡(401-041) 平林V遺跡(401-043) 平林II遺跡(401-108) 湯ノ花遺跡(401-099)	○		
	57	一般国道112号山形中山道路	山辺町山辺～中 山町達磨寺(杭 No.270～372)	松下屋敷跡(302-015)	○		
	58	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町北目～吹浦	物見岬C遺跡(461-027)隣 接地	○		
	59	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	谷地之子遺跡(461-064)	○		
	60	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	遺跡可能性地2	○		

第Ⅱ章 調査の概要

1 令和3年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	1	農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)	南山形地区	石田遺跡(201-327) 谷柏古墳群(201-020)	山形市谷柏	集落跡 集落跡	奈良・平安時代 古墳時代
	2	農地整備事業(中山間地域型)	大原南地区	狼沢遺跡(208-034)	村山市大久保	散布地	縄文
	3	農地整備事業(経営体育成型)	鶴子六沢地区	原の内A遺跡(212-029)ほか	尾花沢市鶴子・六沢	集落跡	縄文、奈良・平安時代
	4	農地整備事業(経営体育成型)	真室川北部2・3期地区	塩根川遺跡(364-067)	真室川町及位	集落跡	縄文時代
	5	農地整備事業(経営体育成型)	二日町地区	清水城跡(365-010)	大蔵村清水	城館跡	中世
	6	農地整備事業(経営体育成型)	沖の原地区	仲ノ原遺跡(363-017) 沖野原遺跡(363-018)	舟形町舟形	散布地 集落跡	縄文時代 縄文時代
	7	農地整備事業(経営体育成型)	赤坂西地区		新庄市萩野		
	8	農地整備事業(経営体育成型)	作の巻地区	作之巻遺跡(365-007)	大蔵村合海	集落跡	縄文時代
	9	農地整備事業(経営体育成型)	清水堰地区		大蔵村清水		
	10	農地整備事業(経営体育成型)	紫山向山地区		舟形町舟形		
	11	農地整備事業(経営体育成型)	三光堰西地区	唐猫沢遺跡(363-031)	舟形町長者原	集落跡	縄文時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
扇状地、丘陵	田、畠	事業予定地内の側溝入替え工事及び工事用道路設置工事への立会を実施した。石田遺跡の範囲については側溝入替え工事への立会を行った結果、古代の堅穴建物跡及び土坑・ピット等の遺構を検出した。遺物は須恵器・土師器が出土した。谷柏古墳群については、遺跡東端が事業用地に含まれることから、工事用道路建設時に立会を実施した結果、遺構・遺物は確認されなかつた。	堅穴建物跡、土坑、ピット	須恵器 土師器	工事立会
段丘	田	事業地内に4箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかつた。	無し	無し	試掘
河岸段丘	田	事業地に97箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、複数のトレンチで遺構・遺物を検出した。原の内A遺跡の管排水路工については発掘調査が必要となる。その他、設計が未定の箇所については今後、設計協議が必要となる。	溝状遺構・ 土坑・落とし穴・堅穴 建物跡等	縄文土器 石器	試掘
段丘	田・畠	事業地内に4箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかつた。	無し	無し	踏査(3期) 試掘(2期)
台地・段丘	田	事業地内に県指定史跡「清水城跡」の一部が含まれるため、今後、調整が必要となる。大手道推定地付近は過去のほ場整備による変更を受けているものの、大手道の痕跡と清水城跡に関連する何らかの遺構が残存している可能性があることから「遺跡可能性地」とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
段丘	田	事業地は小国川右岸の段丘上。仲ノ原遺跡において土器片を採取した。その他の事業地内で遺構・遺物は確認されなかつた。仲ノ原遺跡・沖野原遺跡の範囲については、今後、試掘調査が必要となる。	無し	縄文土器	踏査
氾濫平野	田	踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
段丘	田・畠	踏査の結果、作之巻遺跡付近で縄文土器片・剥片等を採取した。遺物の散布が確認された範囲について、今後、試掘調査を実施予定。	無し	縄文土器 剥片	踏査
氾濫平野	田	事業地は最上川右岸の氾濫平野上。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたが、最上川舟運に係る遺構の位置等については大蔵村教委に問合せ、対応を検討する。	無し	無し	踏査
河岸段丘	田・畠	事業地は小国川右岸の段丘上。踏査の結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
段丘	田・畠	事業地内に6箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、流れ込みの遺物1点を除き、遺構・遺物は確認されなかつた。	無し	縄文土器	試掘

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	12	農地整備事業(経営体 育成型)	真室川北部1 期地区	遺跡可能性地	真室川町及位		
	13	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡3期地区	片杉野遺跡(364-047)	真室川町平岡	散布地	縄文時代
	14	農地整備事業(機構関 連)	浅川地区	遺跡可能性地1 遺跡可能性地3	米沢市浅川		
	15	農地整備事業(経営体 育成型)	漆山地区	天王遺跡(213-075) 遺跡可能性地2・3・4	南陽市漆山	散布地	奈良・平安 時代
	16	農村地防災減災事業 (用排水施設等整備事業)	矢子堰地区	濁清水a遺跡(202- 528)	米沢市口田沢	集落跡	縄文時代
	17	農地整備事業(経営体 育成型)	成田地区	遺跡可能性地1	長井市成田		
	18	農地整備事業(経営体 育成型)	草岡地区	手塚館跡(209-141)	長井市草岡	城館跡	
	19	農地整備事業(中山間 地域型)	中橋地区	谷地橋跡(203-061)	鶴岡市中橋	城館跡	
	20	農地整備事業(中山間 地域型)	日向中部地区	深沢橋跡(462-057)	酒田市新田	城館跡	
	21	農地整備事業(中山間 地域型)	笛川左岸上流 地区	海谷森遺跡(424-122)	鶴岡市上川代	遺物包蔵 地	縄文時代
22		農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地区	遺跡可能性地	遊佐町杉沢		
		農地整備事業(経営体 育成型)	当山地区	剣童神社西窓跡(461- 094) 下当切添遺跡(461- 095) 内林遺跡(461-101)	遊佐町当山	窓跡 集落跡	平安時代 ・縄文時代
				沢成遺跡(461-102)		散布地	縄文時代
						散布地	平安時代・ 鎌倉時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
段丘	田、畠	事業地内に 11箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、全てのトレーンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
台地	田	事業地内に 5箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、全てのトレーンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
自然堤防、田、畠 氾濫平野		事業地は米沢市指定史跡「戸塚山古墳群」の北側。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、戸塚山の周辺 2か所を遺跡可能性地 1・2とした。また、置賜学園東遺跡から低地を挟んだ対岸を遺跡可能性地 3とした。 令和 3 年度は遺跡可能性地 1・3 の試掘調査を実施したが、いずれも遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 試掘
沖積地、自然堤防	田、畠	天王遺跡及び遺跡可能性地 2・3・4 の試掘調査を実施した。天王遺跡及び遺跡可能性地 2において遺構・遺物が確認されたため、当該地においては今後、設計協議が必要となる。	溝状遺構 土坑 柱穴	土師器 須恵器 陶磁器	試掘
台地・段丘	田	事業地は鬼面川左岸の段丘上。工事用道路建設予定地部分について踏査を行った結果、遺跡への影響は軽微であることから、「慎重工事」を勧告予定。	無し	無し	踏査
扇状地	田	事業地内に 10箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、流れ込みによる遺物を除いて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	土師器	試掘
扇状地	田	農地整備事業に係る工事内容を確認したところ、大半が表土のみの移動であり、遺跡に与える影響はないことを確認した。	無し	無し	踏査
氾濫平野	田	踏査の結果、羽越本線路東側で土師器片 1 点を採集した。当該地付近を「遺跡可能性地」として、今後、試掘調査を実施予定。	無し	土師器	踏査
谷底平野・ 氾濫原、山地	田、畠	事業地は日向川両岸の谷底平野・氾濫原及び山地上。令和 3 年度は日向川右岸及び左岸の事業地西端から黒川橋までの踏査を実施したが、遺物の散布は確認されなかった。日向川左岸の未踏査の事業範囲については、令和 4 年度に踏査を実施予定。	無し	無し	踏査
谷底平野・ 氾濫原、山地	田、畠	事業地は、藤島川両岸の谷底平野・氾濫原及び山地上。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
谷底平野	田	試掘対象地内に 15 箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、トレーンチ 2・3・5において遺構・遺物を検出した。設計協議の結果、遺構・遺物が確認された範囲は掘削が及ばないよう設計変更された。	土坑 ビット	繩文土器	試掘
丘陵	田	事業地内に当切添遺跡と劍竜神社西窓跡が位置するが、遺跡台帳の記載が合致しないことから、2 遺跡とも遺跡地図の位置が誤っているものと考えられ、引き続き対応を検討する。遺物の散布は確認されなかった。また、事業地に内林遺跡・沢成遺跡の範囲が含まれることから、試掘調査を実施した結果、全てのトレーンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査(2期) 試掘(1期)

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	24	農地整備事業(経営体 育成型)	大橋地区	大橋館跡(461-151)	遊佐町小原田 字大橋	城館跡	
	25	農地整備事業(経営体 育成型)	畠地区	神矢田遺跡(461-206) 遺跡可能性地	遊佐町北目	集落跡	縄文時代
	26	農地整備事業(経営体 育成型)	宝谷地区	宝谷遺跡(425-028)	鶴岡市宝谷	遺物包蔵 地	縄文時代
	27	農地整備事業(経営体 育成型)	一本松地区	一本松A遺跡(424- 022) 川代山J遺跡(424- 030)	鶴岡市仙道	遺物包蔵 地 遺物包蔵 地	縄文時代 縄文時代
県県土整備部	28	道路事業(改築)(主) 山形天童線道路改良工 事	成生工区		天童市成生～ 東根市羽生		
	29	交通安全道路事業(交 付金)(主)米沢猪苗代 線交差点改良工事	丸の内工区	米沢城東二の丸跡(202- 487)	米沢市丸の内	城館跡、 集落跡	中世、近世
	30	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢川西バイ バス工区	馬場田館跡(202-312) 隣接地	米沢市六郷町 字桐原		
	31	道改築事業(交付金) (一)村山大石田線 (仮称)村山北①IC県 道改良工事	名取工区	清水北遺跡(208-104)	村山市名取	散布地	縄文時代
	32	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新) (主)新庄次年子村山線 老朽橋架替工事	堀内橋工区	荷渡遺跡(363-013)隣 接地	舟形町堀内		
	33	道路改築事業(地債)(国)345号道改良工事	北目工区	野瀬遺跡(461-005) 遺跡可能性地	遊佐町北目	散布地	平安時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
自然堤防、田 扇状地、氾 濫原	田、烟 田、扇状地	令和2年度に引き続き、事業地内に5箇所のトレーナーを設定して調査を行った結果、流れ込みによる遺物を除いて遺構・遺物は確認されなかった。 また、令和2年度に実施した試掘調査において遺構が検出されたトレーナーとその周辺の範囲について、記録保存調査を実施した結果、柱穴及び溝状遺構を検出した。	柱穴 溝状遺構	須恵器系陶 器、土師器	試掘 記録保存
丘陵、沖積 田、烟 地	田、烟 田、扇状地	神矢田遺跡及びその周辺にトレーナーを47箇所設定して調査を行った結果、複数のトレーナーで遺構・遺物を検出した。遺跡の範囲が広がることが確認されたため、今後、範囲修正が必要になる。また、遺構・遺物が確認された範囲については設計協議が必要となる。 遺跡可能性地内に24箇所のトレーナーを設定して調査を行った結果、流れ込みによる遺物を除いて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	竖穴建物 跡、土坑、 柱穴	土師器 須恵器 繩文土器	試掘
丘陵	田、烟	踏査の結果、事業地の一部で剥片を採取したため、当該範囲を遺跡可能性地として今後、試掘調査を実施予定。宝谷遺跡は事業地外であることを確認した。	無し	剥片	踏査
段丘	田、烟	踏査の結果、遺物の散布は確認されなかった。事業地内に位置する川代山J遺跡については試掘調査が必要である。一本松A遺跡については、遺跡台帳を確認した結果、事業地外（段丘下）と判断した。	無し	無し	踏査
段丘、扇状 地	荒地、果 樹園	杭No.90～181の区間の踏査を行った。遺物の散布は確認されなかったが、地形等から遺跡が存在する可能性がある地点を遺跡可能性地1～4とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
扇状地	宅地、 路用地	道路拡幅に伴う水路工及び集水構設置に係る工事立会を実施した。一部で地山が残存する範囲も確認されたが、擾乱が及んでいる範囲も多く、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	工事立会
扇状地	宅地	事業地南側に馬場田跡が隣接することから、範囲確認のための調査を実施した結果、遺構・遺物は確認されず、遺跡は事業地内まで及ばないものと判断された。	無し	無し	試掘
段丘	烟	事業地内に7箇所のトレーナーを設定して調査を行った結果、全てのトレーナーで遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
段丘	宅地	事業用地の周辺には荷渡遺跡が近接することから、遺跡の有無を確認するための調査を実施した。トレーナー1箇所を設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。用地買収後に継続して調査を実施する。	無し	無し	試掘
沖積地	田	野瀬遺跡及び隣接する範囲の調査を実施した。トレーナー10箇所を設定して調査を行った結果、いずれのトレーナーにおいても遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 県 土 整 備 部	34	都市計画道路八日町旅籠町線	二期	山形城三の丸跡 (201-003)	山形市本町・木の実町	城館跡	中世、近世
	35	都市計画道路事業道形黄金線	鶴岡市馬場町	鶴ヶ岡城跡 (203-044)	鶴岡市馬場町	城館跡	
	36	須川河川整備補助事業築堤工	山形市沼木～藏王成沢	鏡ヶ湖遺跡 (201-218) 若宮館跡 (201-228) 成沢西遺跡 (201-299)	山形市沼木～藏王成沢	集落跡 城館跡 集落跡	奈良・平安時代 平安時代
	37	五十川河川整備補助事業築堤工	大石田町今泉	善翁寺裏遺跡 (341-018)	大石田町今泉	集落跡	縄文時代
	38	流域川河川整備補助事業護岸工	遊佐町直世	下山遺跡 (461-016) 笛洞遺跡 (461-017) 目倉神遺跡 (461-018)	遊佐町直世	集落跡 集落跡 集落跡	縄文時代 縄文時代 縄文時代、平安時代
	39	山辺南沢2地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	山辺町根際	根際古墳 (301-046)	山辺町根際	古墳	奈良時代
	40	諏訪沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	中山町柳沢	樋堂・樋戸遺跡 (302-006)	中山町柳沢	城館跡	
	41	境土砂災害対策事業(地すべり)	上山市小白府		上山市小白府		
	42	桶(3)土砂災害対策事業(砂防自然災害防止急傾斜)	寒河江市白岩	白岩経塚 (206-086)	寒河江市白岩	経塚	近世
	43	たてあと沢地域防災力強化型土砂災害対策事業(防災安全・通常砂防)砂防えん堤工	鮎川村京塚	京塚館跡 (366-039)	鮎川村京塚	城館跡	
	44	弥吉沢土砂災害対策事業(砂防自然災害防止)溪流保全工	鮎川村庭月	庭月銀音堂遺跡 (366-037) 隣接地 銀音寺遺跡 (366-038) 隣接地	鮎川村庭月		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
扇状地	道路用地、宅地	事業地内に 8 箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、4 箇所のトレンチで遺構・遺物を確認した。遺構・遺物が確認された範囲については、記録保存調査が必要となる。	土坑	土師器	試掘
扇状地	道路用地	鶴岡市教育委員会が実施した上下水道に係る工事立会において、鶴ヶ岡城の大手馬出と考えられる石垣の最下段を確認したことから、県・市教委共同で、馬出・堀跡の遺存状況や範囲を確認するためのトレンチ調査を実施した。その結果、鶴ヶ岡城跡の馬出及び堀跡が検出されたことから、当該範囲については記録保存調査が必要となる。	馬出 堀跡	瓦 陶磁器	試掘 工事立会
氾濫平野	河川敷	睦合橋～前明石橋区間について踏査を実施した。同区間にて鏡ヶ瀬遺跡、若宮館跡、成沢西遺跡が所在するが、全て事業地外である。地形から遺跡が所在する可能性がある地点を遺跡可能性地 1～3 とした。今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
氾濫平野	河川	踏査の結果、善翁寺裏遺跡の一部（遺跡の端）が事業地に含まれる事を確認した。事業実施前に文化財保護法第 94 条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
低地	河川	事業地内に下山遺跡・笛瀬遺跡・日貢神遺跡が所在する。護岸工である。事業実施前に文化財保護法第 94 条の通知が必要となる。「工事立会」の勧告予定。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業地は根際古墳が位置する丘陵斜面である。砂防えん堤建設に伴う工事用道路は斜面を切りするものであるが、古墳には影響がないため、「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業地は樺堂・樺戸遺跡の範囲内である。砂防えん堤建設に伴う工事用道路部分について、「工事立会」の勧告予定。	無し	無し	踏査
山地	山林・宅地	踏査の結果、土砂災害箇所（工事箇所）を明確に特定できなかったが、現地の地形等から遺跡が所在する可能性は極めて低く、事業実施に際し文化財保護法に係る手続きは不要と判断された。	無し	無し	踏査
山地	山林・道路用地	白岩経塚は県道 286 号の山の東側斜面に位置している。現地確認の結果、遺跡は事業地外であることを確認した。	無し	無し	踏査
山地	山林	事業地のうち、南側の工事用道路が館跡内もしくは館跡に隣接する。事業実施前に文化財保護法第 94 条の通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。	無し	無し	踏査
氾濫平野	荒地	事業地は庭月觀音寺遺跡と觀音寺遺跡の隣接地であり、事業地内に遺跡は含まれないため、文化財保護法に係る手続きは不要。ただし、事業地が低地であることから流れ込みの遺物が見つかる可能性あるため、その際は当課への連絡が必要。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 県 土 整 備 部	45	大沢地域力防災強化型 土砂災害対策事業(防 災安全・通常砂防)砂 防えん堤	南陽市新田	館平館跡(213-094)隣 接地	南陽市新田		
	46	東光坊沢土砂災害対策 事業(砂防自然災害防 止)砂防えん堤工	酒田市山谷新 田	新山B窯跡(464-016) 山谷新田遺跡(464- 023)	酒田市山谷新 田	窯跡 集落跡	平安時代 縄文時代、 平安時代、 中世
県 教 育 厅	47	米沢義護学校西置賜校 整備	長井市泉	南台遺跡(209-069)隣 接地	長井市泉		
	48	庄内中高一貫校(仮称) 整備	鶴岡市若葉町	鶴ヶ岡城跡(203-044)	鶴岡市若葉町	城館跡	
県 警 本 部	49	交番・駐在所整備事業 天童警察署干布・荒谷(仮称)駐在所	天童市荒谷		天童市荒谷		
国 土 交 通 省	50	最上川上流大規模関連 災害事業(河道掘削)	大久保上流地 区、大久保下 流地区、長瀬 地区、谷地下 流地区、谷地上 流地区、藏 増地区	堀口館遺跡(321-005)	村山市大久保 東根市長瀬 河北町谷地 天童市藏増	城館跡	中世
	51	最上川上流大規模関連 災害事業(溝延築堤)	河北町溝延		河北町溝延		
	52	最上川直轄河川大規模 災害関連事業(最上川 中流)	大石田町横山	横山学校前遺跡(341- 023)隣接地	大石田町横山		
	53	最上川直轄河川大規模 災害関連事業(最上川 中流)	新庄市本合海 地内、大蔵村 合海地内・清水 地内		新庄市本合海、 大蔵村合海・ 清水		

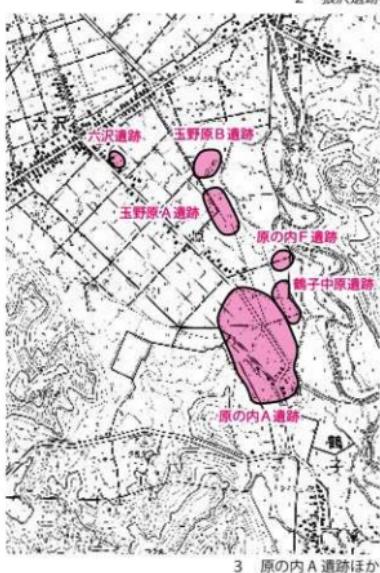
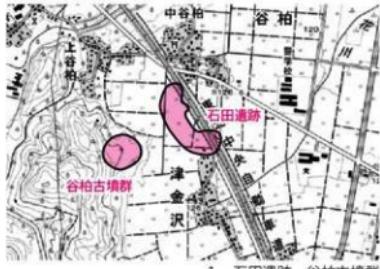
立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地	山林	踏査の結果、館平館跡が隣接するが、事業地に遺跡範囲は含まれないことを確認した。事業実施にあたり、文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査
山地	山林	工事用道路設置箇所に山谷新田遺跡の一部が含まれるほか、えん堤設置箇所には新山B窓跡が隣接する。事業地内の踏査を実施した結果、遺構や遺物は確認されなかった。また、工事用道路設置に際し、山谷新田遺跡の範囲について表土除去時に工事立会を実施した結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 工事立会
氾濫平野	学校用地	事業地内に3箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、流れ込みによる遺物と一部土色変化を確認したが、明確に遺構と判断されるものはなかった。事業地内まで遺跡は及ばないと判断された。	無し	須恵器片	試掘
扇状地	学校用地	事業地内に5箇所のトレーンチを設定して調査を行った結果、校舎増築予定地の中庭において堀跡と考えられる遺構を確認した。また、仮設校舎建設予定地のグラウンドにおいて土坑・ピット等の遺構を検出した。鶴ヶ岡城跡の範囲を拡大修正する。中庭部分については、記録保存調査が必要となる。	堀跡	瓦 陶磁器	試掘
扇状地	荒地	事業地は、立谷川右岸の扇状地上に位置する。駐在所建設予定地の踏査を実施した結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	踏査
氾濫平野	河川	長瀬地区、大久保下流地区、大久保下流地区、大久保上流地区的河道掘削箇所は低位面であるため試掘調査の必要なしと判断された。谷地地区的河道掘削箇所の一部は堀口館跡の範囲内であるが、現地表面から2m前後低い低位面が掘削箇所であるため、遺構が存在する可能性は極めて低く、試掘調査の必要はないものと判断された。ただし、工事着手前に文化財保護法第94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告予定。蔵増地区の樹木伐採・伐根は地形の改變は行わないため、試掘調査の必要なしと判断された。	無し	無し	踏査
氾濫平野、自然堤防	田、畠	事業地は最上川と寒河江川の合流点左岸の氾濫平野、自然堤防に位置する。踏査の結果、遺物の散布は確認されなかったが、旧河川脇の微高地を遺跡可能性地とし、今後、試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
段丘	宅地	事業地は最上川左岸の河岸段丘上に位置する。横山小学校前遺跡が隣接している。事業地全体について、最上川舟運に係る遺構等がないか町教委に聞き取り等を行い、対応を検討する。	無し	無し	踏査
低水敷	河川	新庄市本合海地内は低水敷であり、遺跡は所在しないと判断された。大蔵村合海地内は砂が堆積する氾濫原であり、遺跡は所在しないものと判断された。大蔵村清水地内は低水敷であり、遺跡は所在しないものと判断された。事業実施にあたり、文化財保護法に係る手続きは必要ない。	無し	無し	踏査

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	54	沢内の沢砂防堤(角川・鶴山砂防)	戸沢村角川	沢内遺跡(367-054)隣接地	戸沢村角川		
	55	一般国道13号金山道路	金山町朴山	遺跡可能性地1	金山町朴山		
	56	一般国道113号小国道路	小国町玉川～松岡(杭No.302～595)	金泥羅砦跡(401-035)	小国町玉川～同町松岡	城館跡	
				平林Ⅲ遺跡(401-041)		集落跡	縄文時代
				平林V遺跡(401-043)		集落跡	縄文時代
				平林Ⅱ遺跡(401-108)		集落跡	縄文時代
				湯ノ花遺跡(401-099)		集落跡	旧石器時代、縄文時代
	57	一般国道112号山形中山道路	山辺町山辺～中山町達磨寺(杭No.270～372)	松下屋敷跡(302-015)	山辺町山辺～中山町達磨寺	城館跡	中世
	58	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町北目～吹浦	物見峠C(461-027)遺跡隣接地	遊佐町吹浦字物見峠		
	59	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	谷地之子遺跡(461-064)	遊佐町吹浦字谷地之子	散布地	平安時代
	60	一般国道7号遊佐象潟道路	遊佐町女鹿～県境	遺跡可能性地2	遊佐町吹浦字越坂		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地	山林	事業地は沢内遺跡の範囲に一部含まれる。沢状地形を水田化した際に遺跡部分も改変されており、工事が新たに遺跡に与える影響は極めて少ないと考えられる。事業実施前に文化財保護法第94条通知が必要となる。「慎重工事」の勧告とする。	無し	無し	踏査
氾濫平野	荒地	事業地に3箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。今後も試掘調査を実施予定。	無し	無し	試掘
山地	山林	踏査の結果、事業予定地内において下記遺跡及び遺跡可能性地を確認した。 ・杭No.329～341付近（遺跡可能性地1） ・杭No.310～315付近（遺跡可能性地2） ・杭No.342～347付近（遺跡可能性地3） ・杭No.348～350付近（遺跡可能性地4） ・杭No.353～357付近（遺跡可能性地5） ・杭No.365～374付近（湯ノ花遺跡） ・杭No.386～402付近（遺跡可能性地6） ・杭No.473～478付近（遺跡可能性地7） ・杭No.483～496付近（平林Ⅱ遺跡・平林Ⅲ遺跡） ・杭No.502～506付近（遺跡可能性地8） ・杭No.540～551付近（遺跡可能性地9） ・杭No.552～556付近（金毘羅砦跡） 遺跡可能性地1において、剥片を採取した。上記範囲については、今後、試掘調査を実施予定。	無し	剥片	踏査
沖積地	田・畑	踏査の結果、松下屋敷跡が事業地内に含まれることを確認した。また、須川左岸の自然堤防上及び中山町内の微高地上の地形部分において古代の遺物を採取したことから、当該地をそれぞれ遺跡可能性地1・2とし、今後、松下屋敷跡と併せて試掘調査を実施予定。	無し	須恵器 土師器	踏査
丘陵地	山林	事業地に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、流れ込みの遺物を除いて遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘
丘陵地	山林	事業地に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されなかった。過去の区画整備等により地形が改変されている様子が確認された。	無し	無し	試掘
段丘	山林	事業地に4箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。	無し	無し	試掘

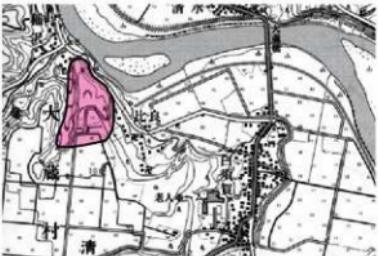
II 調査の概要

* 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する





4 塩根川遺跡(北東から)



5 清水城跡



5 清水城跡(北から)



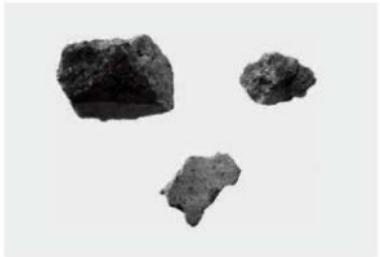
6 仲ノ原遺跡、沖野原遺跡



6 仲ノ原遺跡(北から)



6 沖野原遺跡(南西から)



6 仲ノ原遺跡 表採遺物



7 赤坂西地区



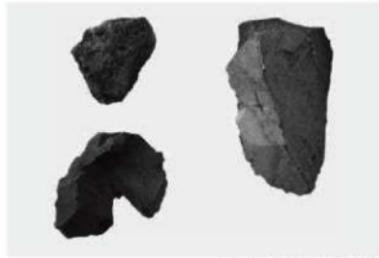
7 赤坂西地区(北から)



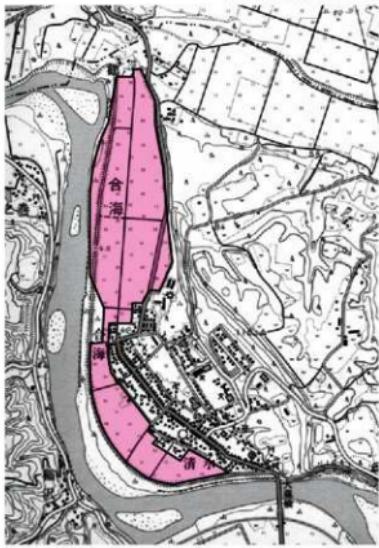
8 作之巻遺跡



8 作之巻遺跡(北西から)



8 作之巻遺跡表探遺物



9 清水堀地区



9 清水堀地区(南から)



10 紫山向山地区



10 紫山向山地区（北から）



11 唐猫沢遺跡（南西から）



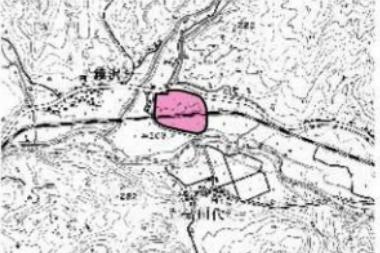
12 真室川北部1期地区 遺跡可能性地（北東から）



13 片杉野遺跡（南西から）



11 唐猫沢遺跡



12 真室川北部1期地区 遺跡可能性地



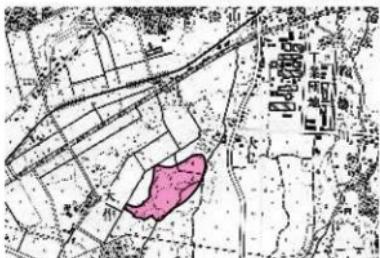
13 片杉野遺跡



14 浅川地区 遺跡可能性地1・3



14 浅川地区 遺跡可能性地 1(北東から)



15 天王遺跡



14 浅川地区 遺跡可能性地 3(西から)



15 天王遺跡 (北西から)



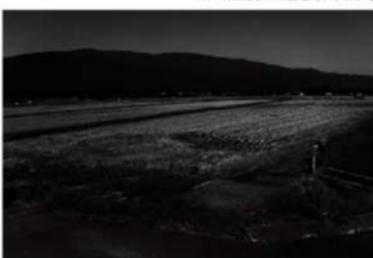
16 潜清水 a 遺跡



16 潜清水 a 遺跡 (西から)



17 成田地区 遺跡可能性地 1



17 成田地区 遺跡可能性地 1(南東から)



18 手塚館跡



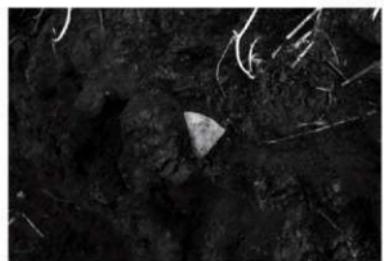
18 手塚館跡(東から)



19 谷地植跡



19 谷地植跡(南西から)



19 中桶地区 遺物散布状況



20 深沢植跡



20 日向中部地区(南西から)



21 海谷森遺跡



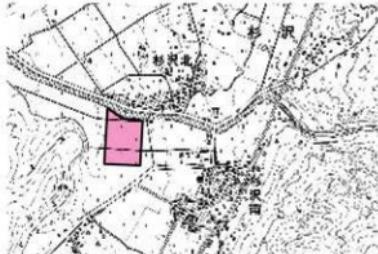
21 海谷森遺跡 (南から)



22 杉沢前田地区 遺跡可能性地 (北から)



23 内林遺跡 (南から)



22 杉沢前田地区 遺跡可能性地



23 内林遺跡、沢成遺跡、剣竜神社西窓跡、下当切添遺跡



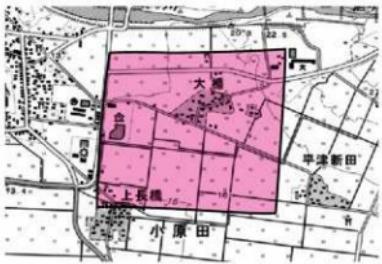
23 沢成遺跡 (南から)



23 剣竜神社西窓跡 (北西から)



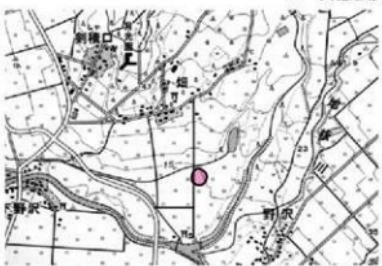
23 下当切添遺跡 (西から)



24 大橋館跡



24 大橋館跡(西から)



25 神矢田遺跡



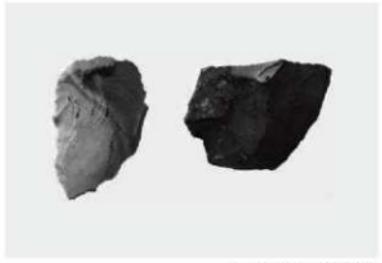
25 神矢田遺跡(南東から)



26 宝谷地区



26 宝谷地区(北から)



26 宝谷地区表探遺物



27 一本松 A 遺跡、川代山 B 遺跡



27 川代山J遺跡(北西から)



28 成生工区(南から)



28 成生工区



29 米沢城東二の丸跡



29 米沢城東二の丸跡工事立会(西から)



30 馬場田館跡



30 馬場田館跡(北から)



31 清水北遺跡



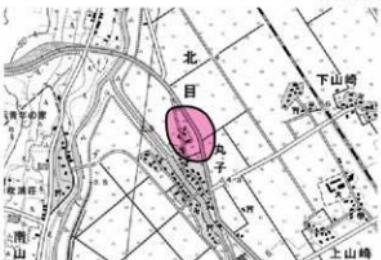
31 清水北遺跡(南から)



32 荷渡遺跡



32 荷渡遺跡隣接地(北東から)



33 野瀬遺跡



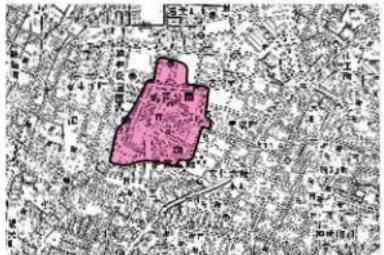
33 野瀬遺跡(西から)



34 山形城三の丸跡



34 山形城三の丸跡(南から)



36 成沢西遺跡付近 (南から)

37 善扇寺裏遺跡



37 善福寺裏遺跡(東から)



38 下山遺跡、苦済遺跡、目倉神遺跡



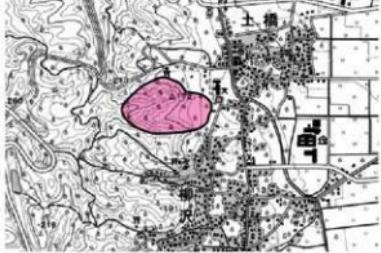
38 目倉神遺跡付近(南西から)



39 根際古墳



39 根際古墳(東から)



40 桶堂・桶戸遺跡



40 桶堂・桶戸遺跡(東から)



41 境土砂災害対策事業(地すべり)



41 境土砂災害対策事業（地すべり）（南西から）



42 白岩経塚（南西から）



43 京塚館跡（北西から）



44 弥吉沢土砂災害対策事業渓流保全工（東から）



42 白岩経塚



43 京塚館跡



44 庭月觀音堂遺跡、觀音寺遺跡



45 館平館跡



45 大沢地域力防災強化型土砂対策事業(東から)



46 山谷新田遺跡工事立会(北東から)



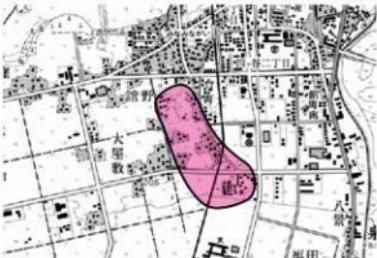
47 南台遺跡隣接地(北から)



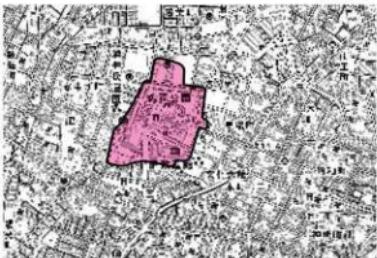
48 鶴ヶ岡城跡(南東から)



46 新山B窯跡・山谷新田遺跡



47 南台遺跡



48 鶴ヶ岡城跡



49 天童警察署干布・荒谷(仮称)駐在所



49 天童警察署干布・荒谷（仮称）駐在所（西から）



50 堀口館遺跡（南西から）



51 最上川上流大規模関連災害事業（溝延築堤）（南から）



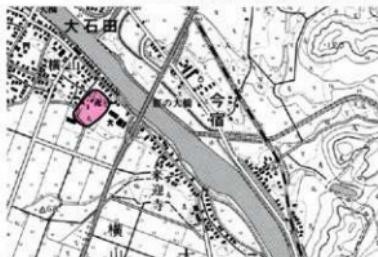
52 横山学校前遺跡（東から）



50 堀口館遺跡



51 最上川上流大規模関連災害事業（溝延築堤）



52 横山学校前遺跡



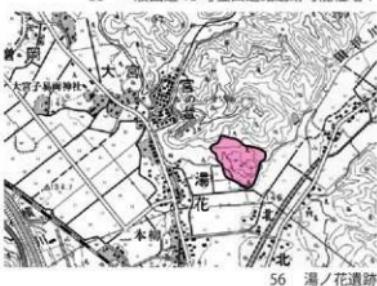
53 最上川直轄河川大規模災害関連事業（最上川中流）



53 最上川直轄河川大規模災害関連事業（最上川中流）



53 最上川直轄河川大規模災害関連事業（本合海）（北から）





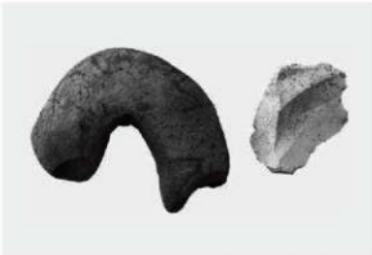
56 金毘羅岩跡



56 湯ノ花遺跡遠景(東から)



56 平林II遺跡、平林III遺跡付近(南から)



56 小国道路表探遺物



57 松下屋敷跡



57 一般国道112号山形中山道路(南から)



57 国道112号中山道路遺跡可能性地1 遺物散布状況



58 物見峠C遺跡隣接地



58 物見峠 C 遺跡隣接地（東南から）



59 谷地之子遺跡（南東から）



60 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2（南から）



59 谷地之子遺跡



60 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2

2 試掘調査の概要

(1) 狼沢遺跡

所在地 山形県村山市大久保字東浦

調査員 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和3年10月12日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）大原南地区

遺跡立地 標高：約110～108m 立地：段丘 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレント4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 40.8m²

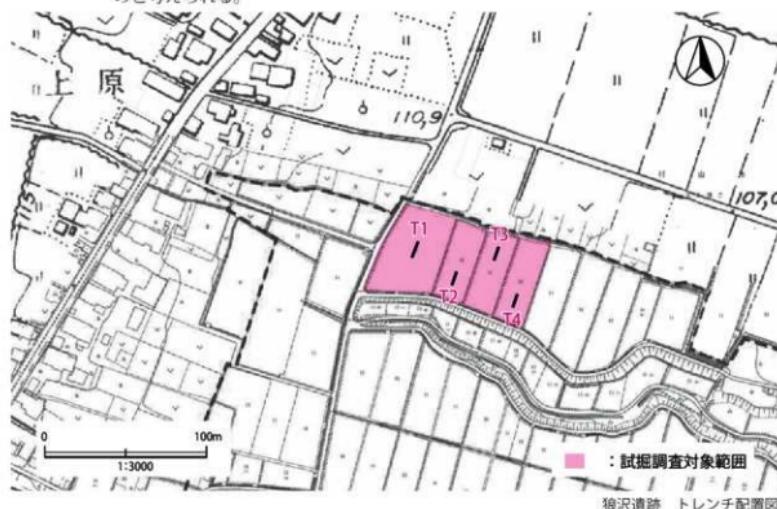
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 繩文時代

所見 試掘対象地は最上川左岸の河岸段丘上に位置する。令和2年度に事業地全体の踏査を実施しており、事業地内に狼沢遺跡が所在することから試掘調査を実施したもの。

事業地内に4箇所のトレントを設定して調査を行ったところ、いずれのトレントにおいても狼沢遺跡に伴うと考えられる遺構・遺物は確認されなかった。旧地形は、過去のほ場整備等で大きく改変を受けている状況が確認された。当遺跡も大きく削平を受けたものと考えられる。



T1 (cm)	
1	10
2	25
3	含む(盛土) 3.灰白色粘土、砂利を含む

T3 (cm)	
1	-15
2	-25
3	35
4	1.黒褐色シルト(耕作土) 2.褐色粘質シルト、小礫・炭化物粒を 含む(盛土) 3.暗褐色シルト、砂礫・黄褐色土が 混ざる(盛土) 4.灰白色粘土、砂利を含む

T2 (cm)	
1	10
2	20
3	3.灰白色粘土、砂利を含む

T4 (cm)	
1	-15
2	-25
3	35
4	1.黒褐色シルト(耕作土) 2.褐色粘質シルト、小礫・炭化物粒 を含む(盛土) 3.暗褐色シルト、砂礫・黄褐色土が 混ざる(盛土) 4.灰白色粘土、砂利を含む

狼沢遺跡 土層図



T 1 全景(南から)



T 1 土層断面(東から)



T 2 全景(南から)



T 2 土層断面(東から)



T 4 全景(南から)



T 4 土層断面(東から)

(2) ~~原の内A~~ 遺跡ほか

所在地 山形県尾花沢市鶴子・六沢

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生 阿部明彦

調査期日 令和3年6月15・25・30日、7月5・8・15・21日、10月29日、11月5・12・16・19・22・26・30日、12月3・7・10・14・17日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）鶴子六沢地区

遺跡立地 標高：約210～235m、立地：河岸段丘、地目：田

試掘区 事業予定地に97箇所（トレーナー4～100）の試掘トレーナーを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 1065.20m²

検出遺構 溝状遺構・土坑・落とし穴・竪穴建物跡・ピット・遺物包含層

出土遺物 繩文土器、石器

時代 繩文時代

所見 試掘対象地は、丹生川左岸の河岸段丘上である。令和元年11月に実施した踏査の結果、原の内A遺跡、鶴子中原遺跡、原の内F遺跡、玉野原A遺跡、玉野原B遺跡、六沢遺跡、遺跡可能性地において事業実施前に試掘調査が必要と判断されたことから、調査を行ったものである。なお、令和2年度にも原の内A遺跡の一部（事業地南端）について試掘調査を実施している。

事業地に97か所の調査区（トレーナー4～100）を設定し、遺構・遺物の有無を精査した。原の内A遺跡・鶴子中原遺跡・原の内F遺跡、遺跡可能性地が位置する事業地南側では、トレーナー4～11・17・18・26～29・35～39・40～44・47・48・51・60・75・78・79・84・86において、溝状遺構・土坑・落とし穴・竪穴建物跡・ピットなどの遺構と遺物包含層を確認した。遺物は、繩文土器のほか、磨製石斧や石皿等の石器・石製品が出土した。

トレーナー26・35・36など、原の内A遺跡の南側において特に遺構の密度が高く、遺構又は遺物包含層からは繩文時代中期の大木7・8式土器を主体とする大量の繩文土器が出土した。

鶴子中原遺跡・原の内F遺跡の範囲では、遺構の密度は低いものの、繩文時代早期に比定される土器片が出土しており、繩文時代早期の散布地として登録されている両遺跡の内容を裏付ける結果となった。

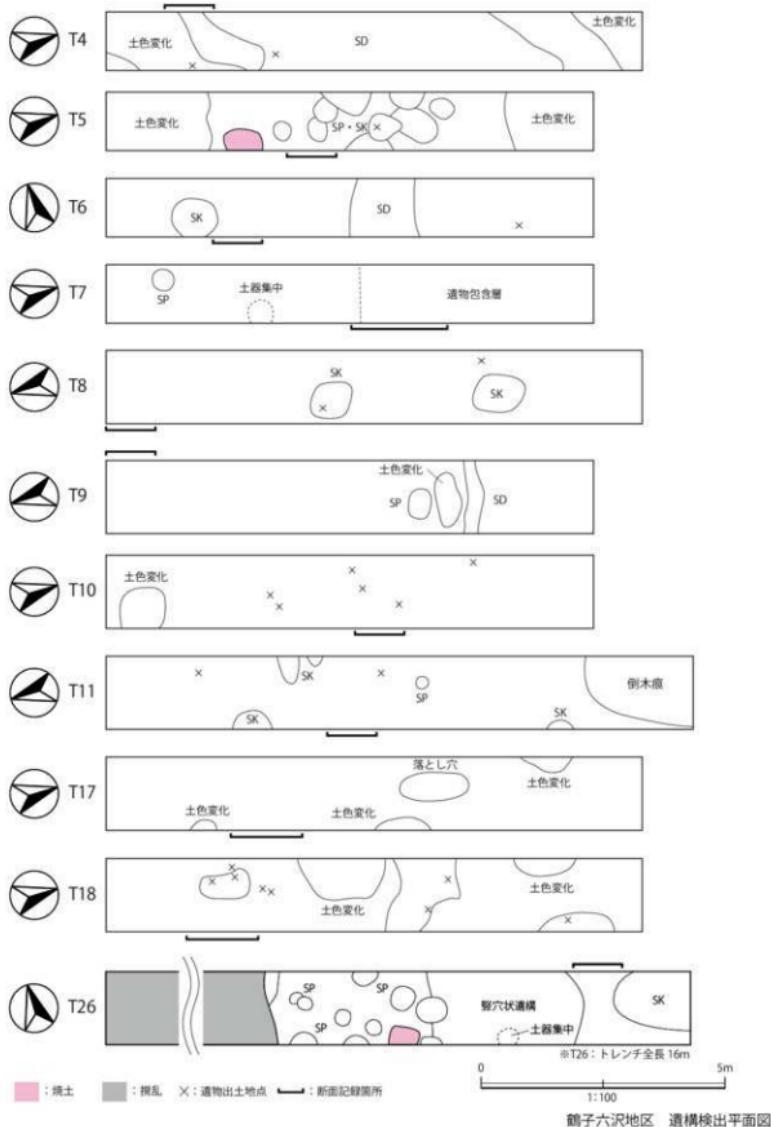
玉野原A遺跡・玉野原B遺跡、遺跡可能性地が位置する事業地中央部では、トレーナー94から繩文土器が出土したが、遺構は確認されなかった。

六沢遺跡の範囲については、過去の区画整備等により削平されており、遺構・遺物は確認されなかった。

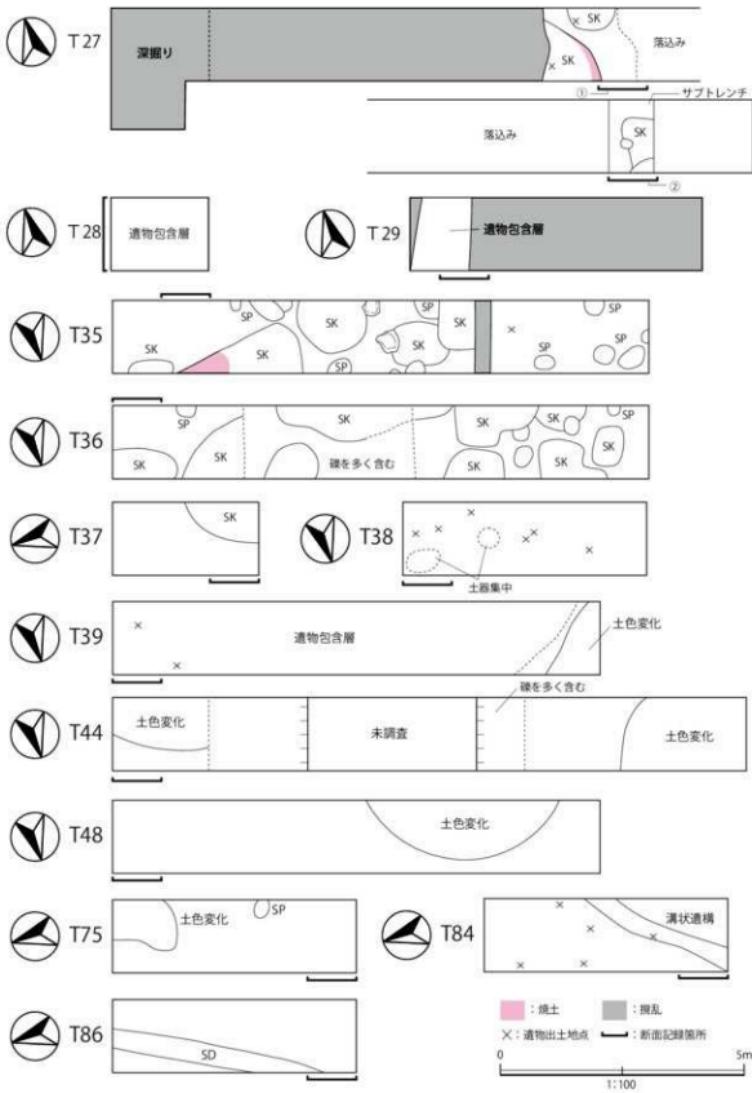




鶴子六沢地区 トレンチ配置図(北側)



II 調査の概要



鶴子六沢地区 遺構検出平面図

T4 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.明黄褐色微砂質土 2.40	T11 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.黒褐色シルト 3.40 3.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色シルト • $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む
T5 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.暗褐色シルト、しまり強い、小礫を含む 3.暗褐色微砂質土、遺物・にぶい黄褐色 土ブロック・ $\phi \sim 3\text{cm}$ の軽石を含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 3\text{cm}$ 軽石を含む 4.40	T12 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.暗褐色シルト、酸化鉄を含む 3.暗褐色シルト、細礫を含む 4.暗褐色シルト、にぶい黄褐色 微砂質土を含む 5.にぶい黄褐色微砂質土 5.40
T6 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む 3.灰色シルト 4.褐灰色シルト、酸化鉄を含む、しまり強い 5.明黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 5.35	T17 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、しまり強い、酸化鉄・ 3.褐灰色シルト、炭化物・酸化鉄・ 4.黒褐色微砂質土、にぶい黄褐色微砂 質土ブロック・炭化物を含む 5.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色シルト • $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 5.35
T7 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、しまり強い、酸化鉄を含む 3.灰黄褐色シルト、炭化物・遺物を含む (遺物包含層) 4.灰黄褐色シルト、にぶい黄褐色シルト を多量に含む(遺物包含層) 5.明黄褐色シルト、やや粘性あり 5.35	T18 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、酸化鉄・細礫を含む 3.黒褐色シルト、明黄褐色土・炭化物 • 細礫を含む 4.暗褐色微砂質土、黒褐色シルト・遺物 • $\phi \sim 1\text{cm}$ の軽石含む 5.にぶい黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ 軽石を含む 5.35
T8 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、黄褐色土ブロックを含む 3.黒褐色シルト、2層との間に酸化鉄を含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色シルト • $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 4.45	T21 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、黄褐色土ブロック・ 酸化鉄・細礫を含む 3.黒褐色微砂質土、明黄褐色微砂質土 ブロック、細礫を含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 4.45
T9 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む 3.黒褐色シルト、黄褐色土ブロックを含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色シルト • $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 4.50	T26 (cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、黄褐色土粒を含む、 しまり強い 3.黒褐色シルト 4.にぶい黄褐色微砂質土、細礫を含む 4.45
T10 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、暗褐色シルト・ $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫を含む 3.黒褐色シルト 4.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色シルト • $\phi \sim 5\text{cm}$ の軽石を含む 4.45	T27①(cm) 1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、炭化物・細礫を含む 3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト ブロックを含む 3.35

鶴子六沢地区 土層図

T 27(2) (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、細礫を含む、しまり強い 3.黒褐色シルト、明黄褐色土粒・炭化物 4.を含む、遺物を多層に含む(遺物包含層) 5.にぶい黄橙色シルト、黒褐色シルト 6.ブロックを含む、遺物を含む	T 38 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、酸化鉄を含む 3.黒褐色シルト、遺物を含む(遺構覆土)
T 28 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、しまり強い 3.褐色シルト、細礫を含む 4.褐色シルト、黄褐色シルト 5.ブロックを含む 6.黒褐色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む、 遺物を含む(遺物包含層)	T 39 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、黒褐色シルトを含む 3.黒褐色シルト、遺物を含む(遺物包含層)
T 29 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト 3.褐色シルト、黒褐色シルト・ 黄褐色土を含む 4.にぶい黄橙色・黒褐色土が混じる、 $\phi \sim 20\text{cm}$ の礫を含む(擾乱層) 5.黒褐色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫を含む、 遺物を含む(遺物包含層)	T 44 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.灰黄褐色シルト、小礫を含む 3.明黄褐色シルト
T 33 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、細礫を含む 3.暗褐色シルト、にぶい黄橙色土 4.ブロック・ $\phi \sim 1\text{cm}$ の軽石を含む 4.にぶい黄橙色微砂質土、暗褐色シルト・ $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む	T 48 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、灰色シルトブロック・ 酸化鉄を含む 3.にぶい黄橙色微砂質土
T 35 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、酸化鉄を含む 3.にぶい黄橙色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の 軽石を含む	T 68 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト 3.黑色シルト、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、黑色シルト・ $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む
T 36 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、酸化鉄を含む 3.にぶい黄橙色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の 軽石を含む	T 75 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、にぶい黄褐色土 3.ブロックを含む 3.黑色シルト、軽石を含む 4.にぶい黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の 軽石を多く含む
T 37 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、小礫を含む 3.灰黄褐色シルト、小礫を含む 4.灰色シルト、小礫を含む 5.灰黄褐色シルト、明黄褐色土を含む 6.黒褐色シルト、にぶい黄橙色土を含む 7.にぶい黄橙色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の 軽石を含む	T 78 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む 3.褐色シルト、細礫を含む 4.黒褐色シルト、上面に酸化鉄を帯状 に含む、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の軽石を含む 5.にぶい黄褐色微砂質土、黑色シルト・ $\phi \sim 3\text{cm}$ の軽石を含む
		T 84 (cm)	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐色シルト、酸化鉄を含む 3.にぶい黄褐色微砂質土、黑色シルト・ $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む

鶴子六沢地区 土層図

T 86 (cm)

1	10	1.灰黄褐色シルト(耕作土) 2.褐灰色シルト、 $\phi \sim 1\text{cm}$ の礫を含む
2	25	3.褐灰色シルト、酸化鉄を帯状に含む
3	30	4.にぶい黄褐色微砂質土、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の 軽石を含む
4	35	

T 88 (cm)

1	15	1.灰黄褐色シルト(耕作土)
2	45	2.灰黒色土と明黄褐色土ブロックが 混ざる(盛土)
3	65	3.黒色シルト、細礫を含む
4	75	4.黒褐色微砂質土
5		5.にぶい黄褐色微砂質土、黒褐色微砂 質土を含む

T 90 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-50	2.暗褐色シルト、 $\phi \sim 1\text{cm}$ の礫を含む
3	85	3.黒色シルト、 $\phi \sim 1\text{cm}$ の礫を含む
4		4.にぶい黄褐色微砂質土、黒色シルト、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の軽石を含む

T 94 (cm)

1	-20	1.灰黄褐色シルト(耕作土)
2	-30	2.褐灰色シルト、黒色シルトブロック・ $\Phi \sim 1\text{cm}$ の軽石を含む
3	-45	3.黒色シルト、 $\phi \sim 1\text{cm}$ の軽石を含む
4	-60	4.黒褐色シルト、 $\phi \sim 1\text{cm}$ の軽石を含む
5	-75	5.明黄褐色微砂質土、軽石を多量に含む

鶴子六沢地区 土層図



原の内 A 遺跡 T 4 全景(南から)



原の内 A 遺跡 T 4 土層断面(東から)



原の内 A 遺跡 T 5 全景(南東から)



原の内 A 遺跡 T 5 土層断面(西から)



原の内 A 遺跡 T 5 遺構検出状況(南から)



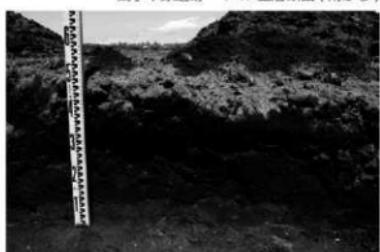
鶴子中原遺跡 T 17 落とし穴断ち割り状況(南東から)



鶴子中原遺跡 T 17 土層断面(南から)



原の内 A 遺跡 T 26 全景(東から)



原の内 A 遺跡 T 26 土層断面(南から)



原の内 A 遺跡 T 26 遺構検出状況(北西から)



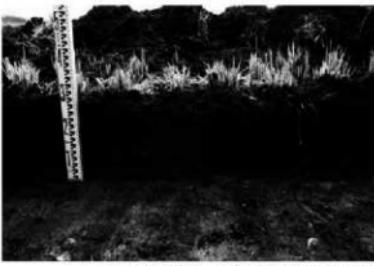
六沢遺跡 T 33 全景(北東から)



六沢遺跡 T 33 土層断面(北西から)



原の内 A 遺跡 T 35 全景(西から)



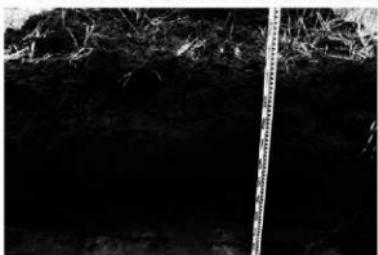
原の内 A 遺跡 T 35 土層断面(北から)



原の内 A 遺跡 T 35 東側遺構検出状況 (北西から)



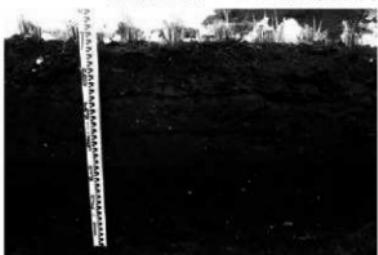
遺跡可能性地 T 68 全景 (東から)



遺跡可能性地 T 68 土層断面 (南から)



原の内 F 遺跡 T 78 全景 (西から)



原の内 F 遺跡 T 78 土層断面 (南から)



原の内 A 遺跡 T 84 全景及び溝状遺構検出状況 (南から)



原の内 A 遺跡 T 84 土層断面 (南から)



原の内 A 遺跡 T 84 遺物出土状況 (北東から)



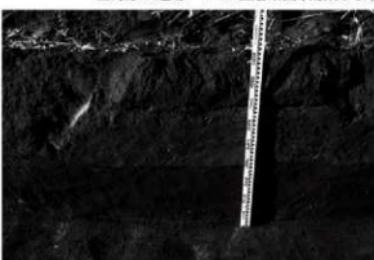
玉野原 B 遺跡 T 90 全景(南東から)



玉野原 B 遺跡 T 90 土層断面(南東から)



玉野原 A 遺跡 T 90 全景(北東から)



玉野原 A 遺跡 T 90 土層断面(東南から)



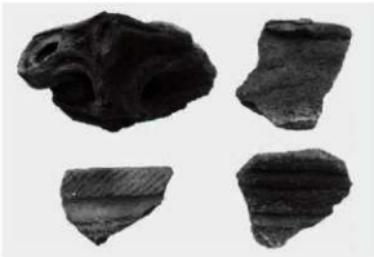
鶴子中原遺跡 T 10 出土遺物



原の内 A 遺跡 T 28 遺物包含層出土遺物



原の内 A 遺跡 T 38 土器集中箇所出土遺物



原の内 A 遺跡 T 40 遺物包含層出土遺物

(3) 塩根川遺跡

所在 地 山形県真室川町及位

調査員 竹田純子

調査期日 令和4年1月17日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）真室川町北部2期地区

遺跡立地 標高：約73～76m 立地：段丘 地目：田、畠

試掘区 事業予定地内にトレント4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 64.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代

所見 事業地は真室川右岸の氾濫原または低位段丘上に位置する。令和2年度に実施した踏査時に遺物の散布は確認されなかったが、事業地内に塩根川遺跡が位置することから、遺跡範囲とその周辺について試掘調査を実施したもの。

試掘対象地内に4箇所のトレントを設定して調査を行った結果、いずれのトレントにおいても遺構・遺物は検出されなかった。特にトレント3・4では耕作土直下で地山層が確認され、広範囲に削平されている状況が確認された。試掘調査を実施した範囲については、過去の区画整備の影響を大きく受けしており、遺跡はほとんど残っていないものと判断された。



II 調査の概要

T1 (cm)	
1	15 1.耕作土
2	2 2.暗褐色シルト
3	30 3.灰白色シルト
4	35 4.黄褐色シルト、砂・礫を含む（地山）

T2 (cm)	
1	10 1.耕作土
2	2 2.暗褐色シルト、黄褐色シルトブロック ・礫を含む
3	30 3.黄褐色シルト ※2層と3層の間に部分的に灰白色シルトを含む

T3 (cm)	
1	12 1.耕作土
2	2 2.黄褐色砂礫層（地山）

T4 (cm)	
1	14 1.耕作土
2	2 2.黄褐色シルト、礫を含む

塩根川遺跡 土層図



T 1 全景(南から)



T 1 土層断面(南西から)



T 3 全景(北西から)



T 3 土層断面(北東から)



T 4 全景(北西から)



T 4 土層断面(南西から)

(4) 唐猫沢遺跡

所在 地 山形県舟形町長者原

調査員 岩崎恒平

調査期日 令和3年11月18日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）三光堰西地区

遺跡立地 標高：約73～76m 立地：段丘 地目：田、畠

試掘区 事業予定地内にトレンチ6箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

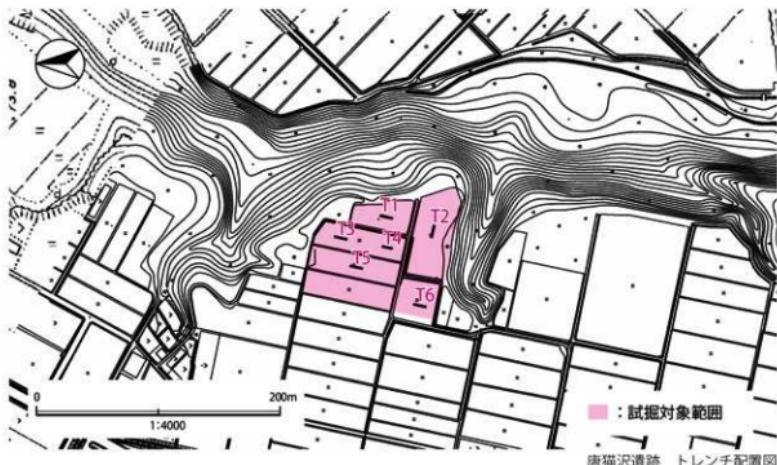
試掘面積 58.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 繩文時代

所見 試掘対象地は小国川の右岸、最上川と小国川が合流する地点の北側の段丘上に位置する。事業地内に6箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチ3の盛土中より繩文土器片1点が出土したが、他のトレンチから遺構・遺物は確認されなかった。試掘対象地北側に向かって地山面までの土層の堆積が厚くなっていること、北側に傾斜する自然地形に部分的に盛土している状況が確認された。また、トレンチ2・6が位置する試掘対象地南側では、表土直下で地山層が確認され、全体的に削平されている状況が確認された。



II 調査の概要

T 1 (cm)	
1	-10
2	-25
3	-50
4	-

- 1.褐灰色シルト（耕作土）
- 2.黒褐色シルト
- 3.黒色シルト
- 4.にぶい黄褐色シルト

T 2 (cm)	
1	-10
2	-20
3	-

- 1.褐灰色シルト（耕作土）
- 2.黒色シルト、灰白色粘質土ブロックを含む
- 3.灰白色粘質シルト

T 4 (cm)	
1	-15
2	-40
3	-

- 1.褐灰色シルト（耕作土）
- 2.褐灰色シルト、にぶい黄褐色土粒を含む
- 3.黒色シルト
- 4.にぶい黄褐色シルト

T 3 (cm)	
1	-15
2	-35
3	-40
4	-55
5	-
6	-95

- 1.褐灰色シルト（耕作土）
- 2.黒褐色シルト、細礫・ビニール片を含む（盛土）
- 3.黒褐色シルト、にぶい黄褐色土粒を含む
- 4.暗褐色シルト
- 5.黒色シルト
- 6.にぶい黄褐色シルト

T 6 (cm)	
1	-20
2	-

- 1.褐灰色シルト（耕作土）
- 2.灰白色粘質シルト

唐猫沢遺跡 土層図



T 1 全景 (北西から)



T 1 土層断面 (西から)



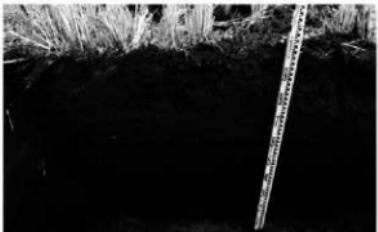
T 4 全景 (北から)



T 4 土層断面 (西から)



T3 全景 (北から)



T3 土層断面 (西から)



T4 全景 (北から)



T4 土層断面 (西から)



T5 全景 (北から)



T5 土層断面 (西から)



T6 全景 (北西から)



T6 土層断面 (東から)

(5) 真室川北部1期地区遺跡可能性地

所在地 山形県真室川町及位

調査員 竹田純子 阿部明彦

調査期日 令和3年12月23日、27日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）真室川町北部1期地区

遺跡立地 標高：約208～210m 立地：段丘 地目：田、畠

試掘区 事業予定地内にトレンチ11箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 83.2m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 当該地は、平成30年度に実施した踏査の結果、真室川右岸の河岸段丘上の畠地に多量の石器片が散布していることが確認され、この地点に遺跡が所在する可能性があることから「遺跡可能性地」とし、遺跡の有無を確認するための調査を実施したものである。試掘対象地内に11箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。部分的に大きく削平されている箇所や粘土層が厚く堆積している状況が確認され、当地に遺跡は所在しないものと判断された。踏査時に散布が確認された遺物は、過去の場整備等の客土に含まれていた可能性がある。線路を挟んだ南側の範囲については、令和4年度に試掘調査を実施予定。

T1 (cm)	
1 -20	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -35	2.黒褐色粘質シルト、黄褐色シルト粒を少量含む
3	3.にぶい橙色粘土

T2 (cm)	
1 -20	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -37	2.黒褐色粘質シルト、黄褐色シルト粒・礫を含む
3	3.にぶい橙色砂礫

T3 (cm)	
1 -20	1.褐灰色シルト（耕作土）
2	2.にぶい橙色粘土

T4 (cm)	
1 -18	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -26	2.黒褐色シルト
3 -38	3.黒褐色シルト、にぶい橙色土・黒色土を少量含む
4	4.にぶい橙色砂礫

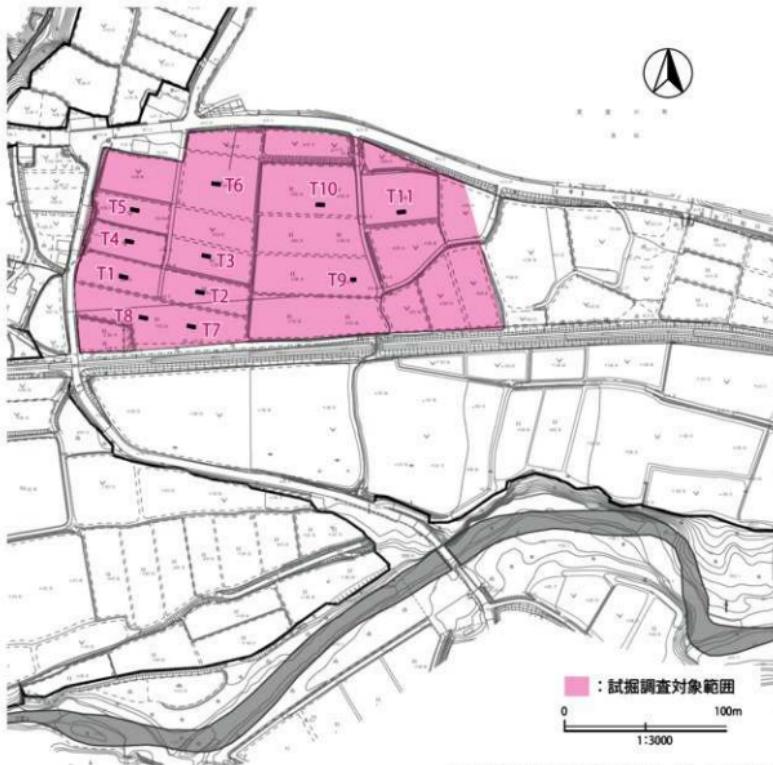
T5 (cm)	
1 -15	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -28	2.褐灰色シルト、にぶい黄褐色土粒を含む
3	3.にぶい橙色粘土、部分的に搅乱（黒色土）が入る

T6 (cm)	
1 -18	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -30	2.黒褐色シルト、にぶい橙色土を含む
3	3.にぶい橙色粘土

T7 (cm)	
1 -15	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -25	2.黒褐色シルト、礫を含む
3	3.灰白色粘土

T8 (cm)	
1 -20	1.褐灰色シルト（耕作土）
2 -25	2.黒褐色シルト、礫を含む
3	3.灰白色粘土

真室川北部1期地区遺跡可能性地 土層図①



真室川北部1期地区遺跡可能性地 トレンチ配置図

T9 (cm)

1	-20	1.褐灰色粘質シルト、礫を含む（耕作土）
2	-35	2.褐灰色粘質シルト、黄褐色シルトが混ざる
3	-55	3.黒褐色シルト、礫を含む
4	-75	4.黒褐色粘土
5		5.灰白色粘土

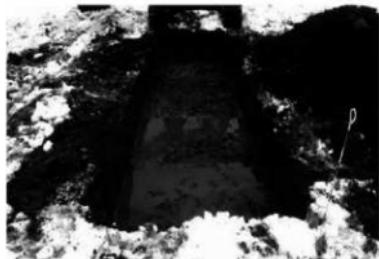
T11 (cm)

1	-20	1.褐灰色粘質シルト（耕作土）
2	-45	2.黒褐色シルト、礫を含む
3	-70	3.褐色粘土・植物根を含む
4		4.灰白色粘土

T10 (cm)

1	-20	1.褐灰色粘質シルト（耕作土）
2	-45	2.黒褐色粘質シルト、礫を含む
3	-70	3.黒褐色シルト、黒褐色粘土・灰白色粘土が 混じる、暗渠入る
4		4.灰白色粘土

真室川北部1期地区遺跡可能性地 土層図②



T 1 全景(西から)



T 1 土層断面(南から)



T 6 全景(東から)



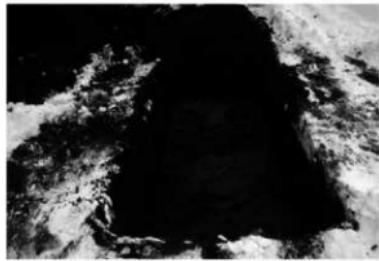
T 6 土層断面(北から)



T 7 全景(東から)



T 7 土層断面(北から)



T 9 全景(西から)



T 9 土層断面(南東から)

(6) 片杉野遺跡

所在地 山形県真室川町平岡

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和3年10月21日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）平岡3期地区

遺跡立地 標高：約110m 立地：台地 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 65.6m²

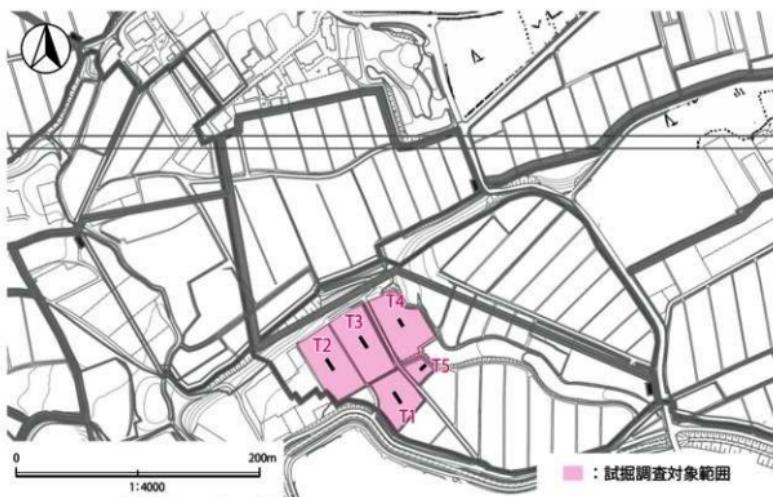
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代

所見 試掘対象地は金山川左岸の台地上に位置する水田であり、過去のほ場整備によりて切盛土がされている。事業予定地内に5箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、全てのトレンチにおいて遺構・遺物は確認されなかった。

トレンチ1～3においては、耕作土及び水田基盤層が20cmほど堆積し、その直下で地山層を確認した。トレンチ4～5では、耕作土以下1m以上にわたり盛土されていた。各トレンチの状況から、試掘対象地の西側は全体的に削平されており、東側は沢状の地形を埋め立てている状況が確認された。



II 調査の概要

T 1 (cm)

1	-20	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-30	2. 灰色シルト、灰白色粘土・ $\phi \sim 20\text{cm}$ の礫を含む（造成土）
3		3. 灰黄色粘質シルト（地山）

T 2 (cm)

1	-15	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-20	2. 灰色シルト、灰白色粘土・ $\phi \sim 20\text{cm}$ の礫を含む（造成土）
3		3. 灰黄色粘質シルト（地山） ※南側は $\phi \sim 15\text{cm}$ の礫を多量に含む

T 3 (cm)

1	-15	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-25	2. 青灰色シルト、 $\phi \sim 15\text{cm}$ の礫を含む（造成土）
3		3. にぶい黄褐色土ブロック（地山）

T 4 (cm)

1	-20	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-100	2. 黒褐色粘質シルト、木の根・ゴミ・礫を含む（盛土） ※盛土の深さ不明のため、100cmで掘削を中止

T 5 (cm)

1	-20	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-110	2. 黒褐色粘質シルト、灰白色粘土プロック・礫を含む（盛土） ※盛土の深さ不明のため、110cmで掘削を中止

片杉野遺跡 土層図



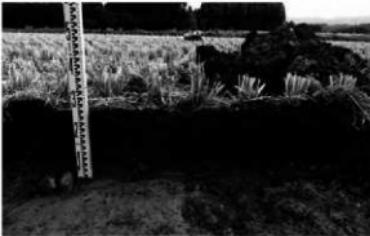
T 1 全景（南東から）



T 1 土層断面（北東から）



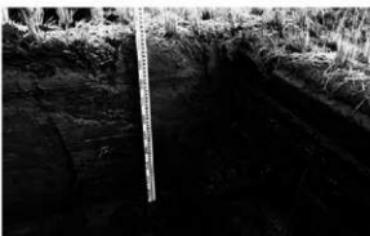
T 2 全景（北西から）



T 2 土層断面（南西から）



T 4 全景（南東から）



T 4 土層断面（西から）

(7) 浅川地区遺跡可能性地 1・3

所在地 山形県米沢市浅川

調査員 竹田純子

調査期日 令和4年3月8日、15日、23日

起因事業 農地整備事業（機構関連）浅川地区

遺跡立地 標高：約226m 立地：自然堤防、氾濫平野 地目：田、畠

試掘区 事業予定地内にトレーナー4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 45m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 事業地は最上川と天王川に挟まれた自然堤防及び氾濫平野上である。事業地のすぐ南側には約200基の古墳が点在し、米沢市指定史跡に指定されている「戸塚山古墳群」が位置する。

令和3年4月に実施した踏査の結果、事業地内で遺物の散布は確認されなかったが、戸塚山周辺の2箇所を遺跡可能性地1・2とした。また、置賜学園東遺跡から低地を挟んだ対岸を遺跡可能性地3とし、遺跡の有無を確認するための調査を実施した。

令和3年度は遺跡可能性地1及び3の試掘調査を実施した。遺跡可能性地1の範囲に2箇所のトレーナーを設定して調査を行った結果、トレーナー2の南端で土色変化を確認した。一部掘り下げたが遺物は出土せず、性格が不明であることから、周辺について引き続き令和4年度に試掘調査を実施することとした。

遺跡可能性地3については、対象範囲内に2箇所のトレーナーを設定して調査を行った結果、遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)	
1	6
2	15
3	25
4	45

1. 黒褐色シルト（耕作土）
2. 黒褐色シルト、黄褐色土ブロックを少量含む
3. 黒褐色シルト、黄褐色土ブロック・炭・酸化鉄を含む
4. 黄褐色砂質シルト

T2 (cm)	
1	10
2	22
3	35

1. 黒褐色シルト（耕作土）
2. 黒褐色シルト、植物根を多く含む
3. 黄褐色砂質シルト

浅川地区地区遺跡可能性地1 土層図

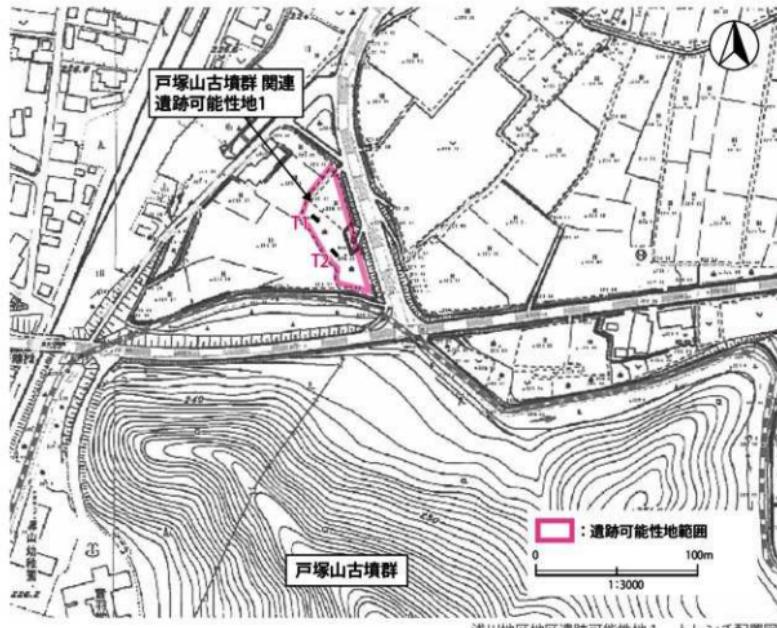
T1 (cm)	
1	30
2	45
3	70
4	90
5	110

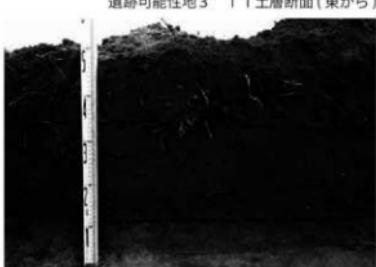
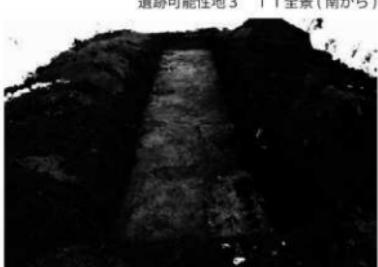
1. 黒褐色シルト（耕作土）
2. 黒褐色シルト、黄褐色砂が混じる
3. 黄褐色砂
4. 黄褐色粗砂
5. 黄褐色粘土
※部分的に5層まで攪乱が及ぶ

T2 (cm)	
1	20
2	35
3	40
4	55

1. 黒褐色シルト（耕作土）
2. 黒褐色砂質シルト
3. 黄褐色砂質シルト
4. 黄褐色砂
※部分的に4層まで攪乱が及ぶ

浅川地区地区遺跡可能性地3 土層図





(8) 天王遺跡、漆山地区遺跡可能性地2・3・4

所 在 地 山形県南陽市漆山

調 査 員 竹田純子 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和3年9月10日・15日、10月26日、12月13日・16日・21日、令和4年3月2日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）漆山地区

遺跡立地 標高：約219～225m 立地：沖積地、自然堤防 地目：田・畠

試 挖 区 事業予定地内にトレーナー28箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 306.0m²

検出遺構 溝跡・土坑・ビット（柱穴）

出土遺物 縄文土器、須恵器、土師器、陶磁器

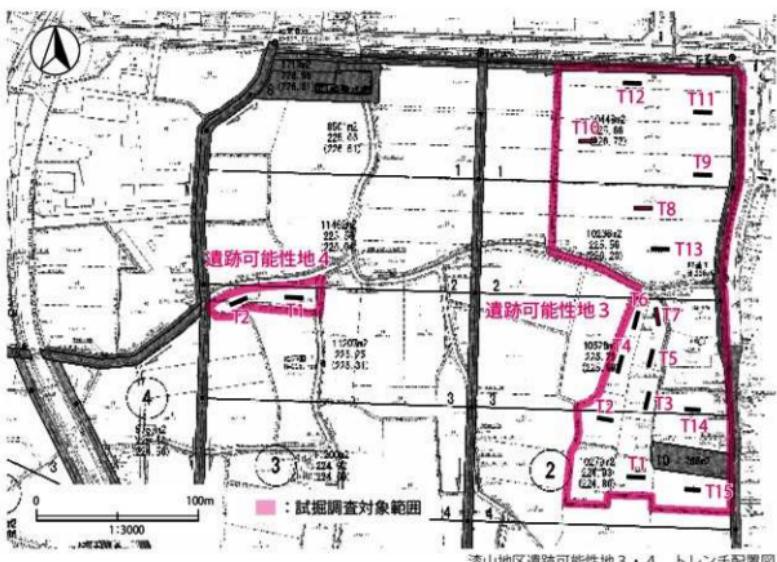
時 代 奈良・平安時代

所 見 事業地内には、周知の埋蔵文化財包蔵地である「天王遺跡」の一部が含まれる。また、令和2年3月に実施した踏査において遺物を採取した地点を「遺跡可能性地2・3」、近世の遺構である「備後塚」が位置したと想定される地点を「遺跡可能性地4」とし、遺跡の有無を確認するための試掘調査を実施した。

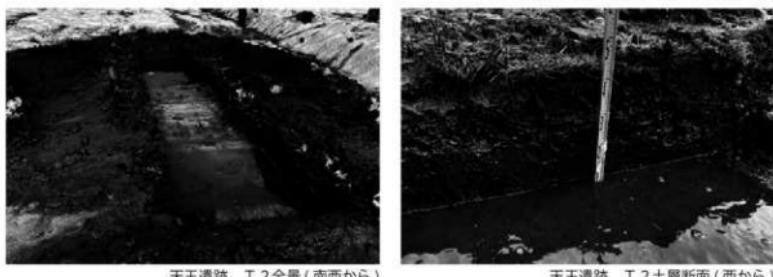
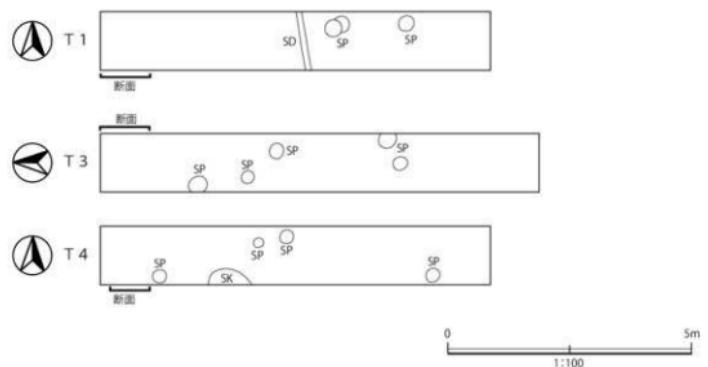
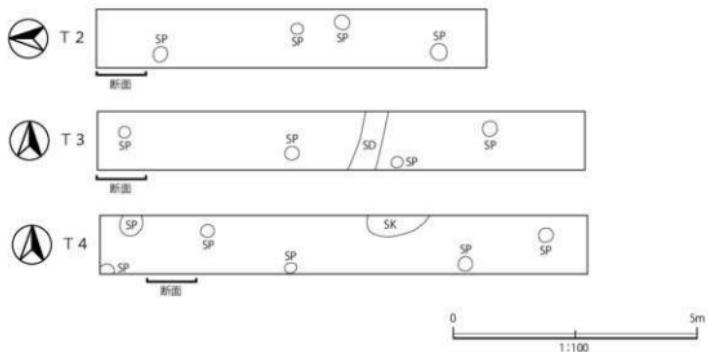
天王遺跡の範囲に含まれる部分は、平成18～19年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した一般国道113号赤湯バイパスの北側に隣接している。

トレーナー4箇所を設定して調査を実施した結果、トレーナー2～4において、ビット（柱穴）・土坑・溝跡を確認した。遺物は、須恵器片・陶器片が出土し、埋蔵文化財センターが行った発掘調査の成果と同様に、古代や中世の遺跡が広がっていることを確認した。遺跡可能性地2については、7箇所のトレーナーを設定して調査を実施したところ、トレーナー1・3～5において柱穴や土坑等の遺構を確認した。遺構を確認したトレーナーは、全て西側に所在する天王遺跡に隣接する部分であり、遺跡が所在する微高地状の地形の裾部にあたるため、天王遺跡の範囲が広がるものと判断された。東側に設定したトレーナー2・6・7は河川堆積状の土層を呈し、遺跡の範囲が及ばないことを確認した。また、トレーナー1から土師器片が出土したが、出土状況から流れ込みによるものと判断された。遺跡可能性地3については、15箇所のトレーナーを設定して調査を実施したところ、トレーナー7・8・10において遺物（縄文土器、土師器、陶磁器等）が出土したが、出土状況から流れ込みによるものと判断された。遺構は確認されなかった。その他のトレーナーからは、遺構・遺物は確認されなかった。全てのトレーナーにおいて、扁状地形に起因する砂層が厚く堆積する状況が確認された。

遺跡可能性地4については、2箇所のトレーナーを設定して調査を実施したところ、遺構・遺物は確認されなかった。両トレーナーともに、扁状地形に起因する砂層が厚く堆積しており、「備後塚」に関連する遺構は認められなかった。



II 調査の概要



T1 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫が混入する。 4.褐色土粒少量含む 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)	T3 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.黒褐色土、砂利混入 3.褐色砂質土(基盤層)
T2 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫が混入する。 4.褐色土粒少量含む 4.褐色砂質土(基盤層)	T4 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.黒褐色砂質土、砂利・小礫が混入する。 褐色土粒少量含む 3.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)

天王遺跡 土層図

T1 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫が混入する。 褐色土粒少量含む 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)	T5 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.黒褐色砂質土、灰色土塊混入(盛土) 3.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)
T2 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入。 褐色土粒少量含む 4.褐色砂利層(河川堆積)	T6 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)
T3 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入。 褐色土粒少量含む 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)	T7 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)
T4 (cm)	1.耕作土(黒褐色土) 2.褐色砂質土、砂利混入(盛土) 3.黒褐色砂質土、砂利・小礫混入。 褐色土粒少量含む 4.にぶい黄褐色砂質土(基盤層)		

漆山地区遺跡可能性地2 土層図

T1 (cm)	1.耕作土(暗褐色土) 2.暗褐色粘質土、砂利・鉄分混入、雲母 3.多い、1層より綿まり強い 4.50 5.3.2層より粘性が強い 6.4.褐色砂(洪流水堆積層) 7.5.黒色粘土、砂礫・鉄分混入(泥炭層)	T2 (cm)	1.耕作土(暗褐色土) 2.暗褐色粘質土、砂利・鉄分混入、雲母 3.多い、1層より綿まり強い 4.60 5.3.2層より粘性が強い 6.90 7.4.褐色砂(洪流水堆積層) 8.5.黒色粘土、砂礫・鉄分混入(泥炭層) 9.125 10.6.灰色粘土、均質(基盤層)
---------	---	---------	---

漆山地区遺跡可能性地4 土層図

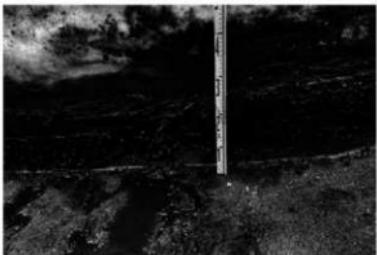
T1	(cm)		T8	(cm)
1	-15	1.耕作土（暗褐色砂質土）	1	耕作土（黑褐色砂質土）
2	-35	2.暗褐色砂質土、砂利混入する、1層	2	褐色砂、均質（洪水堆積層）
3	-	より締まり強い	3	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
4	-70	3.暗褐色砂、均質（洪水堆積層）		
		4.黑色粘土、有機物混入（泥炭層）		
T2	(cm)		T9	(cm)
1	-10	1.耕作土（黒褐色土）	1	耕作土（暗褐色砂質土）
2	-25	2.黒褐色土、砂利混入する、1層より	2	褐色砂質土、砂利混入（盛土）
3	-	締まり強い	3	褐色砂、均質（洪水堆積層）
4	-50	3.褐色砂（洪水堆積層）	4	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
5	-65	4.灰色粘土		
		5.黑色粘土、有機物混入（泥炭層）		
T3	(cm)		T10	(cm)
1	-20	1.耕作土（暗褐色砂質土）	1	耕作土（暗褐色砂質土）
2	-30	2.暗褐色砂質土、砂利混入する、1層	2	褐色砂質土、砂利混入（盛土）
3	-	より締まり強い	3	褐色砂、均質（洪水堆積層）
4	-80	3.褐色・灰色砂、均質（洪水堆積層）	4	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
		4.灰色粘土、有機物混入（泥炭層）	5	灰色粘土（基盤層）
T4	(cm)		T11	(cm)
1	-20	1.耕作土（暗褐色砂質土）	1	耕作土（暗褐色砂質土）
2	-30	2.暗褐色砂質土、砂利混入、1より	2	褐色砂、均質（洪水堆積層）
3	-	締まり強い	3	褐色粘質土、砂利混入
4	-75	3.褐色・灰色砂、均質（洪水堆積層）	4	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
		4.灰色粘土（基盤層）		
T5	(cm)		T12	(cm)
1	-20	1.耕作土（黒褐色土）	1	耕作土（黒褐色砂質土）
2	-45	2.黒褐色土、砂利混入する、1層より	2	褐色砂、均質（洪水堆積層）
3	-	締まり強い	3	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
4	-60	3.黒褐色砂、褐色砂含む、（洪水堆積層）		
5	-90	4.褐色・灰色砂、明黃褐色砂含む		
		5.灰色粘土（基盤層）		
T6	(cm)		T13	(cm)
1	-15	1.耕作土（暗褐色砂質土）	1	耕作土（黒褐色砂質土）
2	-35	2.暗褐色砂質土、砂利混入、1より	2	褐色砂、均質（洪水堆積層）
3	-	締まり強い	3	黒色粘土、有機物混入（泥炭層）
4	-55	3.暗褐色砂、均質（洪水堆積層）		
		4.黑色粘土、有機物混入（泥炭層）		
T7	(cm)		T14	(cm)
1	-15	1.耕作土（暗褐色砂質土）	1	耕作土（暗褐色砂質土）
2	-35	2.暗褐色砂質土、砂利混入、1より	2	褐色砂、均質（洪水堆積層）
3	-	締まり強い	3	黒褐色土、砂利・褐色土・黄褐色土
4	-55	3.黒褐色土、粘質性あり	4	混入（泥炭層）
		4.褐色砂、均質（洪水堆積層）		
			4.にぶい黄褐色粘質土、固く締まる（基盤層）	
T15	(cm)			
1	-15	1.耕作土（暗褐色砂質土）		
2	-35	2.褐色砂、均質（洪水堆積層）		
3	-	3.黒褐色土、砂利・褐色土・黄褐色土		
4	-95	4.にぶい黄褐色粘質土、固く締まる（泥炭層）		



天王遺跡 T2 遺構検出状況(東から)



天王遺跡 T4 全景(東から)



天王遺跡 T4 土層断面(北から)



天王遺跡 T4 遺構検出状況(西から)



遺跡可能性地2 T1 全景(西から)



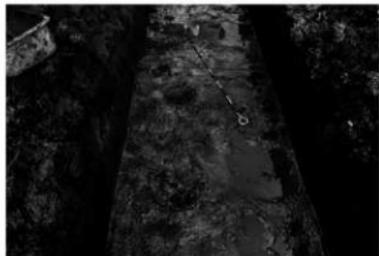
遺跡可能性地2 T1 土層断面(北から)



遺跡可能性地2 T1 遺構検出状況(南東から)



遺跡可能性地2 T3 全景(南東から)



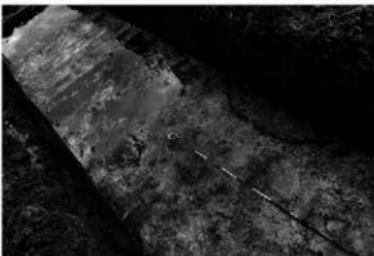
遺跡可能性地2 T3遺構検出状況(南から)



遺跡可能性地2 T4全景(西から)



遺跡可能性地2 T4土層断面(西から)



遺跡可能性地2 T4遺構検出状況(西から)



遺跡可能性地2 T5全景(南から)



遺跡可能性地2 T5土層断面(西から)



遺跡可能性地2 T7全景(東から)



遺跡可能性地2 T7土層断面(南から)



遺跡可能性地3 T1全景(西から)



遺跡可能性地3 T1土層断面(北から)



遺跡可能性地3 T3全景(北から)



遺跡可能性地3 T3土層断面(北東から)



遺跡可能性地3 T7全景(北から)



遺跡可能性地3 T7土層断面(南から)



遺跡可能性地3 T8全景(東から)



遺跡可能性地3 T8土層断面(南から)



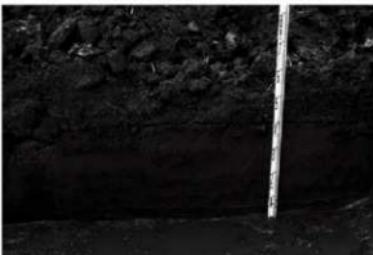
遺跡可能性地3 T 10 全景(西から)



遺跡可能性地3 T 10 土層断面(南から)



遺跡可能性地3 T 12 全景(西から)



遺跡可能性地3 T 12 土層断面(南から)



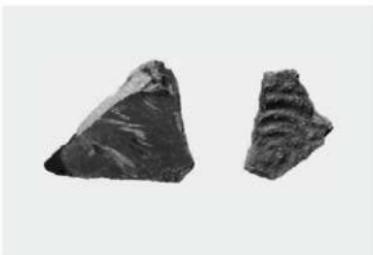
遺跡可能性地4 T 1 全景(北から)



遺跡可能性地4 T 1 土層断面(南から)



天王遺跡 T 3 出土遺物



天王遺跡 T 4 出土遺物

(9) 成田地区遺跡可能性地 1

所在地 山形県長井市成田

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和4年1月24日、27日、31日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）成田地区

遺跡立地 標高：約200m 立地：扇状地 地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ10箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 120.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 土師器

時代 一

所見 試掘対象地は、平成28年度に実施した踏査で土器片を採取しており、周辺を遺跡可能性地1として試掘調査を実施したもの。令和元年度にも試掘調査を実施している。飯沢北館跡の南西部分が遺跡可能性地1に僅かに重複する。

遺跡可能性地内で切土が予定されている範囲に10箇所のトレンチを設定して調査を実施した。試掘調査の結果、全てのトレンチにおいて遺構は確認されなかった。

遺物はトレンチ2の3層から古代の土師器片が出土したが、原位置を留めておらず、過去のほ場整備時の影響により混入したものと考えられる。当地に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-22	2.褐灰色シルト
3	-29	3.褐灰色シルト、砂を含む
4	-45	4.灰色粘質シルト
5	-65	5.暗灰色粘質シルト
6		6.灰色シルト、砂・細礫を多量に含む

T2 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.暗褐色シルト
3	-35	3.黒褐色シルト
4	-40	4.青灰色砂質シルト

T3 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-20	2.褐灰色シルト、橙色土ブロックを含む
3	-25	3.灰色シルト、黒色土ブロックを含む
4	-35	4.暗灰色シルト
5	-35	5.灰色砂質シルト

T4 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-27	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-60	3.黒褐色シルト、青灰色砂質シルトを含む
4		4.灰色砂質シルト

T5 (cm)

1	-15	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-45	2.黒褐色シルト
3		3.青灰色砂質シルト

T6 (cm)

1	-10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-15	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-35	3.黒褐色シルト、青灰色砂質シルトを含む
4		4.青灰色砂質シルト

T7 (cm)

1	-15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.黒褐色シルト、青灰色砂質シルトを含む
3		3.青灰色砂質シルト

成田地区遺跡可能性地1 土層図①

II 調査の概要

T8 (cm)	
1	15
2	20
3	35
4	65
5	5

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3.灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
4.暗灰色シルト
5.オリーブ灰色砂質シルト

T9 (cm)	
1	15
2	25
3	40
4	40

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3.黒褐色シルト、オリーブ灰色砂質シルト
4.オリーブ灰色砂質シルト

T10 (cm)	
1	15
2	25
3	55
4	55

1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3.黒褐色シルト、オリーブ灰色砂質シルト
4.オリーブ灰色砂質シルト





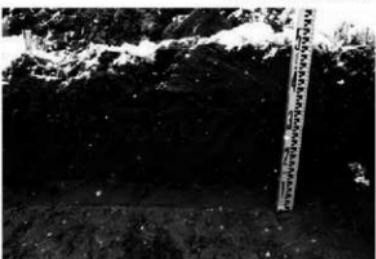
T 2 全景 (南から)



T 2 土層断面 (西から)



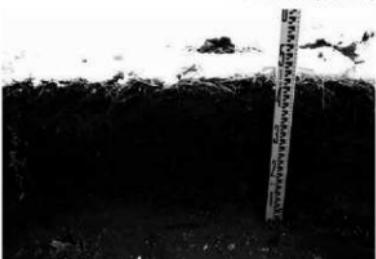
T 5 全景 (南から)



T 5 土層断面 (西から)



T 7 全景 (南から)



T 7 土層断面 (東から)



T 9 全景 (西から)



T 9 土層断面 (北から)

(10) 杉沢前田地区遺跡可能性地

所在地 山形県遊佐町杉沢

調査員 竹田純子 稲村圭一

調査期日 令和4年1月13日、18日、21日、28日、2月4日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）杉沢前田地区

遺跡立地 標高：約78m、立地：谷底平野、地目：田

試掘区 事業予定地に15箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 163.2m²

検出遺構 土坑、ピット

出土遺物 繩文土器

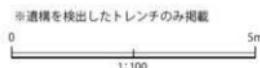
時代 —

所見 事業地は庄内熊野川の左岸。試掘調査の対象とした遺跡可能性地の標高は約75～78mで、東から西に向かって緩やかに傾斜する。

試掘対象地東側の範囲については令和元年度から試掘調査を実施しており、杉沢C遺跡の範囲のうち、遺構・遺物が検出された範囲については令和2・3年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施している。

遺跡可能性地内に15箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、トレンチ2・3・5において遺構・遺物（縄文土器等）を確認した。トレンチ2・3においては縄文土器が出土した。トレンチ5においてはピット・土坑等の遺構が確認された。その他のトレンチでは、砂礫層や粘土質の土壤が広がっており、遺構・遺物は確認されなかった。

当事業実施にあたり設計協議を行い、遺構・遺物が見つかった範囲については掘削が及ぼないよう設計が変更された。



杉沢前田地区 遺構検出平面図



T1 (cm)			T8 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -35	2.褐灰色シルト、小礫を含む		2 -25	2.褐灰色シルト
3 -60	3.黒褐色シルト		3 -40	3.にぶい赤褐色シルト
4 -95	4.黒褐色シルト、φ～10cmの礫を多く含む		4 -50	4.青灰色粘質シルト、砂・赤褐色シルトを含む
			5 -65	5.青灰色粘質シルト、砂・赤褐色シルトを含む
			6 -80	6.青灰色粘土。上面に酸化鉄を帶状に含む
T2 (cm)			T9 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -40	2.褐灰色シルト、小礫を含む		2 -25	2.褐灰色シルト
3 -	3.灰黄色砂質シルト、酸化鉄を含む		3 -35	3.暗灰色粘土
T3 (cm)			4 - <td>4.褐灰色粘土</td>	4.褐灰色粘土
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）			
2 -25	2.褐灰色シルト、灰白色粘土を含む			
3 -55	3.灰色粘土			
4 -	4.明緑灰色粘質シルト			
T4 (cm)			T10 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -35	2.褐灰色シルト、砂を含む		2 -20	2.褐灰色シルト
3 -55	3.灰色粘土		3 -40	3.にぶい黄褐色シルト、砂・礫を含む 部分的にグライ化する
4 -75	4.灰色粘土、灰白色粘土を含む			
5 -	5.明緑灰色粘質シルト			
T5 (cm)			T11 (cm)	
1 -10	1.褐灰色シルト（耕作土）		1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -17	2.褐灰色シルト、小礫を含む		2 -20	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3 -22	3.褐灰色シルト、φ～10cmの礫を含む		3 -60	3.青灰色粘質シルト、酸化鉄を含む
4 -40	4.にぶい黄褐色砂質シルト		4 -	4.にぶい黄褐色粘質シルト
T6 (cm)			T12 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -35	2.褐灰色シルト、小礫を含む		2 -30	2.褐灰色シルト
3 -50	3.褐灰色粘質シルト		3 -	3.暗褐色シルト、φ～20cmの礫を多量に含む
4 -65	4.暗灰色粘土			
5 -90	5.灰色粘土、φ～40cmの礫を含む			
6 -115	6.明緑灰色砂礫層			
T7 (cm)			T13 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -25	2.褐灰色シルト、小礫を含む		2 -15	2.褐灰色シルト
3 -55	3.暗褐色粘質シルト		3 -40	3.暗褐色粘質シルト、酸化鉄を含む
4 -90	4.灰色粘土		4 -	4.褐色シルト
5 -	5.褐色シルト、礫を含む			
T8 (cm)			T14 (cm)	
1 -15	1.灰黄褐色シルト（耕作土）		1 -10	1.灰黄褐色シルト（耕作土）
2 -30	2.褐灰色シルト、酸化鉄・礫を多量に含む		2 -15	2.灰黄褐色シルト、礫を多量に含む
3 -50	3.青灰色粘質シルト		3 -40	3.青灰色粘質シルト
4 -65	4.褐色シルト、青灰色粘質シルトを含む		4 -	4.青灰色粘土
5 -80	5.褐色砂礫層			

杉沢前田地区遺跡可能性地 土層図



T 1 全景 (北から)



T 1 土層断面 (北西から)



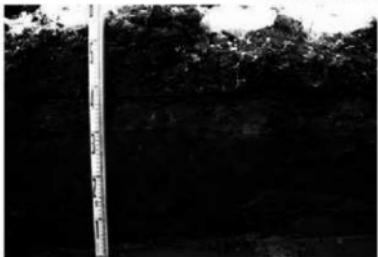
T 2 全景 (北から)



T 2 土層断面 (西から)



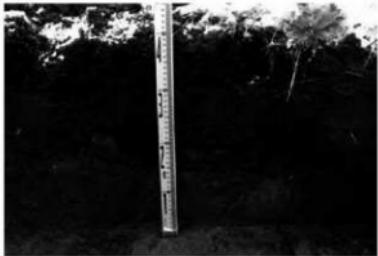
T 3 全景 (南から)



T 3 土層断面 (西から)



T 5 全景 (南から)



T 5 土層断面 (東から)



T 5 遺構検出状況(北から)



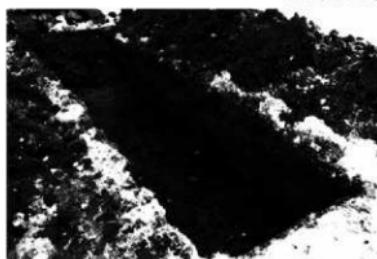
T 9 全景(北から)



T 11 全景(東から)



T 11 土層断面(南から)



T 15 全景(南西から)



T 15 土層断面(北西から)



T 2 出土遺物



T 3 遺物包含層出土遺物

(11) 内林遺跡、沢成遺跡

所在地 山形県遊佐町当山字森ノ下

調査員 竹田純子 阿部明彦

調査期日 令和3年12月24日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）当山地区

遺跡立地 標高：約22～28m、立地：丘陵、地目：田

試掘区 事業予定地内のうち、内林遺跡の範囲に2箇所、沢成遺跡の範囲に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 内林遺跡：16m²、沢成遺跡：16m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 内林遺跡：縄文時代

沢成遺跡：平安時代・鎌倉時代

所見 平成30年度に実施した踏査の結果、事業地内に内林遺跡及び沢成遺跡の一部が含まれることを確認したため、試掘調査を実施したものである。両遺跡は隣接しており、鳥海山南側の山麓南端部に位置する。現況は水田となっており、過去の区画整備等の影響により、切盛土されている様子が見て取れる状況であった。

内林遺跡の範囲に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、両トレンチとも遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1では、3層（地山）が礫を含む黄褐色粘土層が確認されたが、南側に設定したトレンチ2では灰色粘土層が厚く堆積している状況であった。

沢成遺跡の範囲についても同様に2箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、両トレンチとも遺構・遺物は確認されず、粘土層が厚く堆積している状況が確認された。

T1 (cm)	
1	耕作土
2	灰色粘土、黄褐色粘土が混じる
3	黄褐色粘土または礫層（地山）

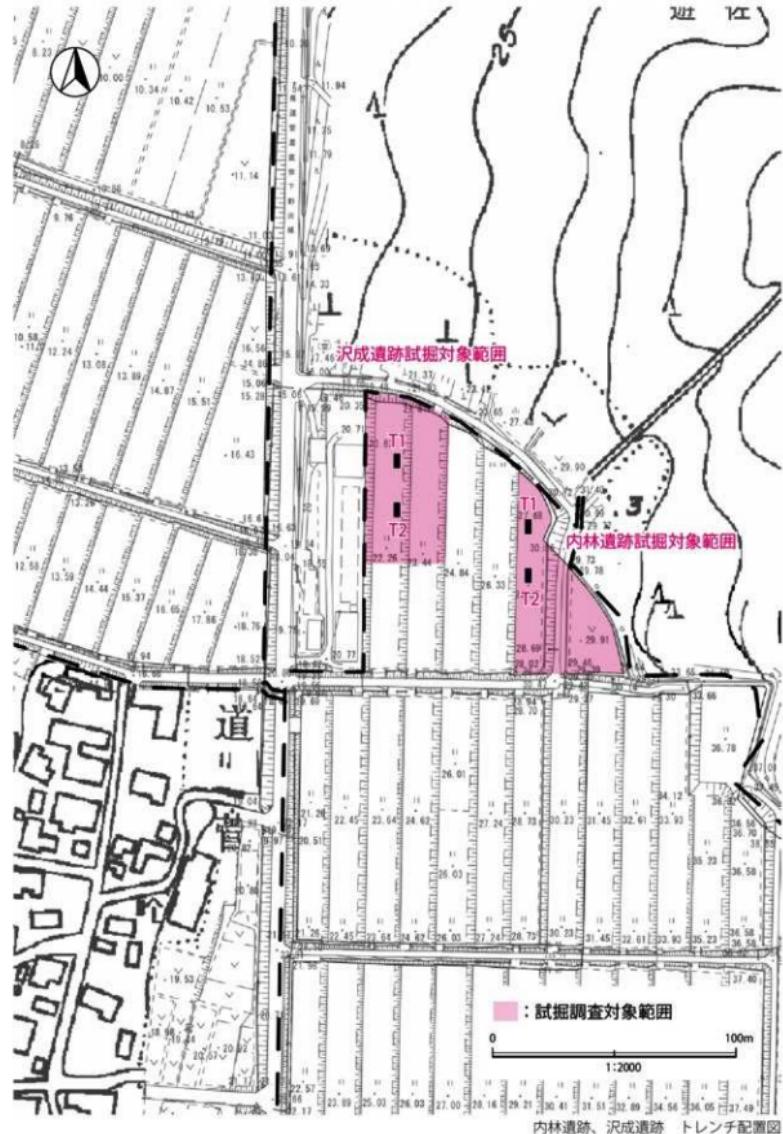
T2 (cm)	
1	耕作土
2	灰色粘土、灰白色粘土が混じる

内林遺跡 土層図

T1 (cm)	
1	耕作土
2	灰色粘土シルト、灰白色粘土シルトを含む
3	黄褐色粘土（地山）

T2 (cm)	
1	耕作土
2	灰色粘土、黒褐色粘土と黄褐色粘土が混じる
3	灰白色粘土 ※2層と3層の境界から暗渠管破片が出土

沢成遺跡 土層図





内林遺跡 T 1 全景 (北東から)



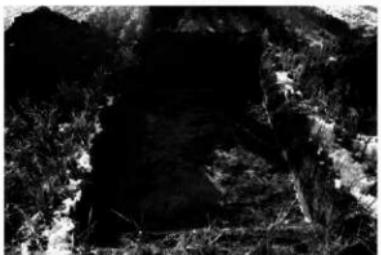
内林遺跡 T 1 土層断面 (東から)



内林遺跡 T 2 全景 (南から)



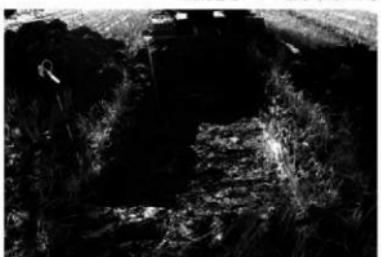
内林遺跡 T 2 土層断面 (西から)



沢成遺跡 T 1 全景 (北から)



沢成遺跡 T 1 土層断面 (西から)



沢成遺跡 T 2 全景 (北から)



沢成遺跡 T 2 土層断面 (西から)

(12) ~~おおだて~~ 大柄館跡

所 在 地 山形県遊佐町小原田字大柄

調 査 員 竹田純子 阿部明彦

調査期日 令和3年12月21日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）大柄地区

遺跡立地 標高：約15m、立地：自然堤防、扇状地、氾濫原、地目：田

試 挖 区 事業予定地に5箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 37.5m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時 代

所 見 試掘対象地は月光川左岸の扇状地の扇端部、自然堤防の微高地に位置している。事業地が大柄館跡の範囲に含まれることから、令和2年度から試掘調査を実施しているもの。令和2年度は町道杉沢本線のすぐ南側の範囲について試掘調査を実施しており、事業予定地内に15箇所のトレンチを設定して調査を行った結果、トレンチ2において遺構・遺物が確認されたことから、当該トレンチの周辺については今年度、記録保存調査を実施している。なお、記録保存調査の結果については、次節に詳細を記している。

令和3年度は、令和2年度対象地の更に南側の範囲において試掘調査を実施した。試掘対象範囲に5箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、全てのトレンチにおいて遺構は確認されなかった。各トレンチとも、砂層や粘土質の土壤が広がっている状況が確認された。遺物は、トレンチ5の2層中から小型の曲げ物蓋が出土したが、出土層位から流れ込みであるものと判断された。その他のトレンチから遺物は出土しなかった。

T1 (cm)

1	-10
2	-20
3	-60

- 1.耕作土
- 2.暗褐色粘質シルト
- 3.褐灰色粘質シルト

T4 (cm)

1	-12
2	-35

- 1.暗褐色粘質シルト
- 2.褐灰色粘質シルト

※写真は1層目のみ

T2 (cm)

1	-17
2	-35

- 1.暗褐色粘質シルト
- 2.褐灰色粘質シルト

T5 (cm)

1	-25
2	

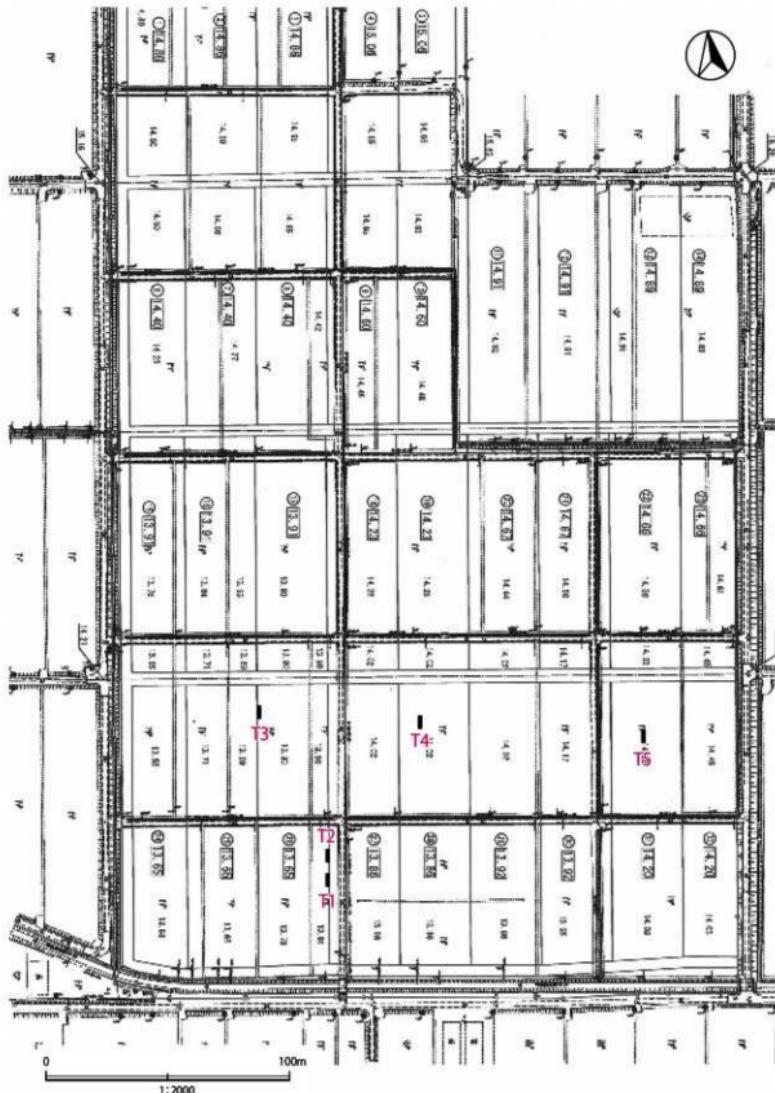
- 1.暗褐色粘質シルト
- 2.褐灰色粘質シルト

T3 (cm)

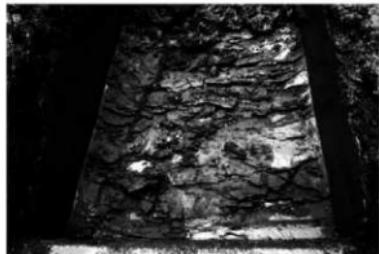
1	-10
2	-20
3	-60
4	4.褐灰色砂

- 1.耕作土
- 2.暗褐色粘質シルト
- 3.褐灰色粘質シルト
- 4.褐灰色砂

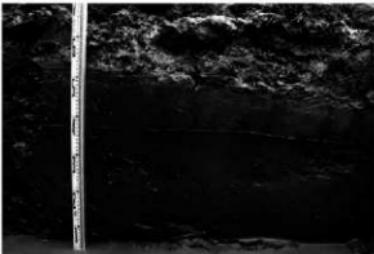
大柄館跡 土層図



大柄館跡 トレンチ配置図



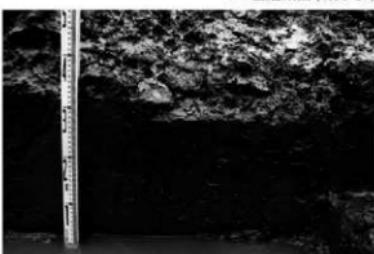
T1 全景 (南から)



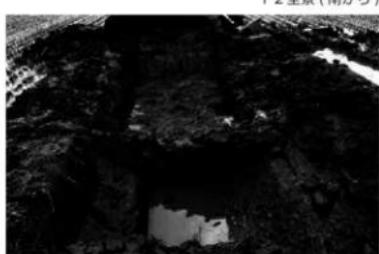
T1 土層断面 (東から)



T2 全景 (南から)



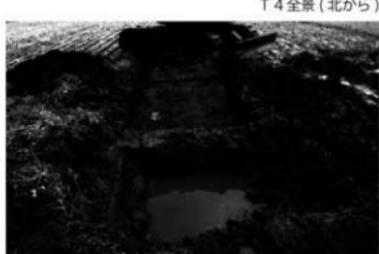
T2 土層断面 (西から)



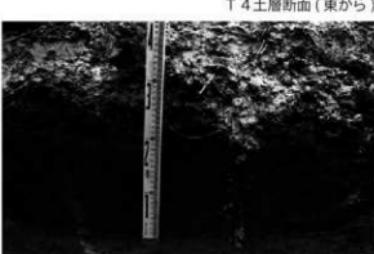
T4 全景 (北から)



T4 土層断面 (東から)



T5 全景 (北から)



T5 土層断面 (東から)

(13) 神矢田遺跡、畠地区遺跡可能性地

所在 地 山形県遊佐町北目字畠

調査員 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和3年10月6日・15日・18日・21日・25日、11月1日・4日・16日・18日・29日、12月6日・10日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）畠地区

遺跡立地 標高：約13～23m、立地：（火山）扇状地、沖積地、地目：田、畠

試掘 区 神矢田遺跡及び周辺に47箇所、遺跡可能性地に23箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 神矢田遺跡：454.2m²、遺跡可能性地：330.6m²

検出遺構 竪穴建物跡、溝状遺構、土坑、柱穴

出土遺物 繩文土器、石器、須恵器

時代 繩文時代、弥生時代

所見 事業地は高瀬川の左岸に位置し、東西に走る北目堰を境として、北半は鳥海山起源の土石流や火山泥流などにより形成された砂礫質の堆積地である古期火山麓扇状地の南側緩斜面であり、南半は比較的平坦な沖積地である。

神矢田遺跡は、昭和43～45年に行われた「遊佐町畠地区区画整理事業」により発見され、それに起因して遊佐町教育委員会による発掘調査が3次に渡って行われた。その結果、縄文時代後～晩期に至る良好な集落跡が確認され、その成果により一部が町史跡に指定されている。

【神矢田遺跡】

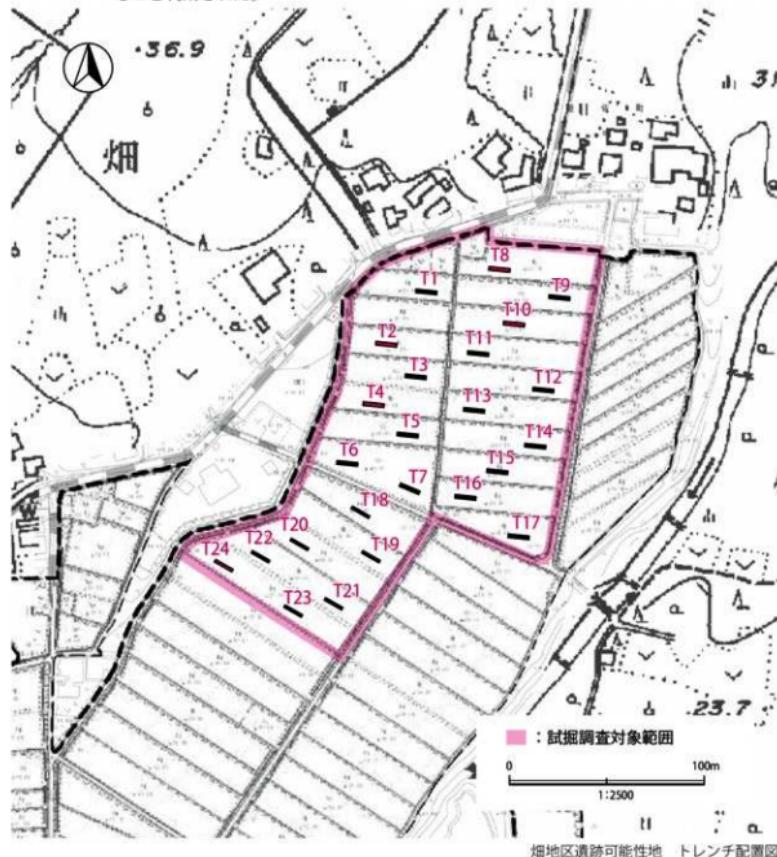
事業地内にトレンチを47ヶ所設定して調査を行った結果、北目堰から北側については、過去の区画整理事業による大規模な削平を受け、旧地形が大きく改変されている状況を確認した。トレンチ4・8・9から出土した縄文土器や須恵器片は、削平された際に生じた盛土中から出土したもので、周辺の遺構も消滅したと思われるのに対し、トレンチ10・11より南側の範囲については改変深度が比較的浅かったため、幸うじて遺構が残存している状況を確認した。トレンチ12～14からは縄文時代の遺物を含む層（遺物包含層）、トレンチ16・17からは同時代のピット（柱穴）、土坑を確認したことから、付近にも縄文時代の遺構が遺存している可能性が高い。

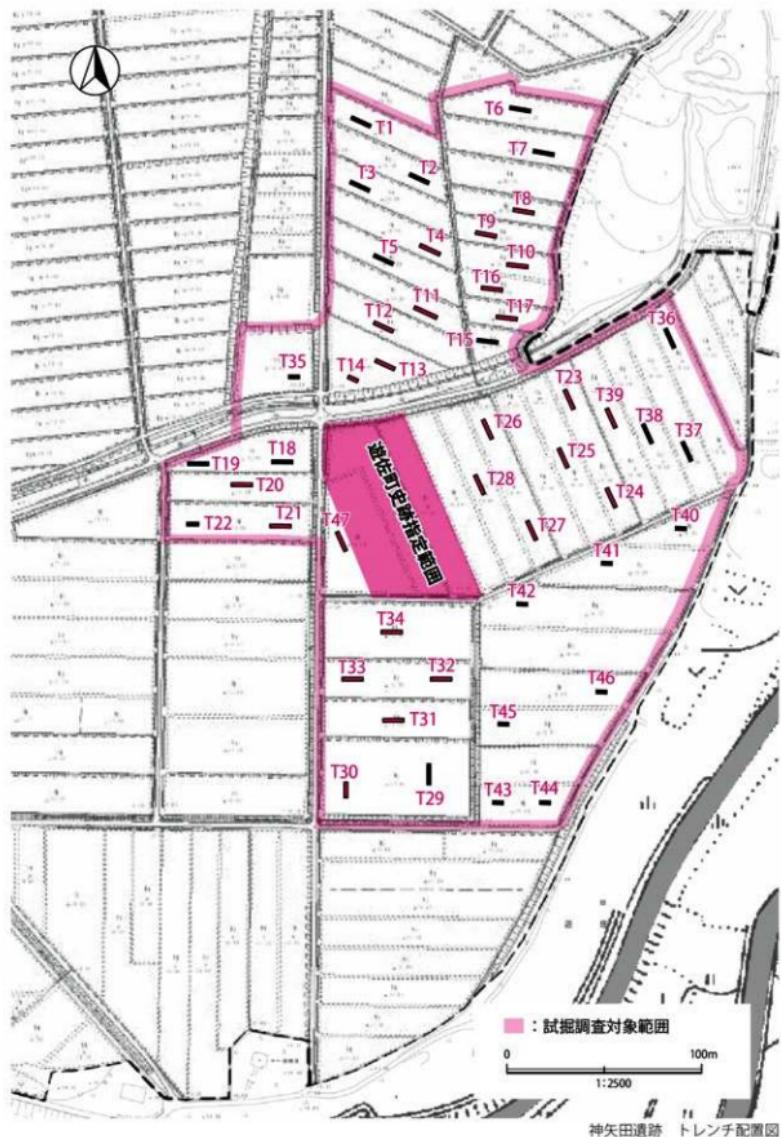
北目堰から南側については、町史跡指定区域を中心に、縄文時代の遺構が良好に保存されている状況を確認した。特に、遺物包含層を確認した各トレンチからは多量の縄文土器・石器が出土しており（トレンチ23～28・47）、縄文時代の竪穴建物跡（トレンチ28）や土坑等の遺構（トレンチ24・27）を確認した。また、町史跡区域より南側の区域では、古代の土師器・須恵器片が多く出土し、当地ではこれまで確認されなかった古代の遺跡があることが判明した。トレンチ33・34を中心とした範囲からは古代の土坑・溝跡・柱穴等を多く確認した。ほかの範囲については、区画整理事業による旧地形の削

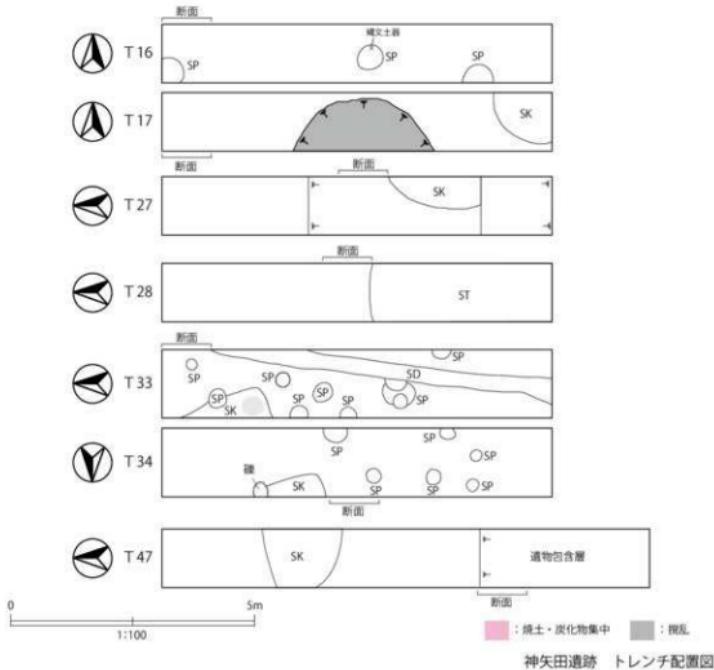
平のほか（トレンチ 29・32）、昭和期に鳥海石の採石作業を行ったという地元の方々の情報を裏付ける大規模な擾乱が認められ、旧地形が大きく改変されている状況を確認した（トレンチ 40～46）。

【遺跡可能性地】

調査対象地内にトレンチを 24 ケ所設定し遺構・遺物の有無について精査した結果、過去のほ場整備の影響により、旧地形が大きく削平されている状況が確認された。T 2・4・8・10・24 から古代の遺物が出土したが、いずれも摩滅しており流れ込みによるものである。また、いずれのトレンチでも遺構は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。







T1 (cm)	
1	-10
2	20
3	30
4	50

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 褐灰色土、褐色土・小礫混入 (盛土)
3. 褐灰色粘質土、鉄分含む (盛土)
4. にぶい黄褐色粘質土、礫が多量に混入する (基盤層)

T4 (cm)	
1	-15
2	20
3	30
4	50

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 褐灰色土、褐色土・小礫混入 (盛土)
3. 灰黃褐色土、炭化物混入 (自然)
4. 黄褐色粘質土、砂礫多量混入 (基盤層)

T8 (cm)	
1	-15
2	20
3	30
4	45
5	55

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 黑褐色土と褐色土の混合層、礫含む、炭化物混入 (盛土)
3. 褐灰色粘質土、礫混入 (盛土)
4. 褐色土 (漸移層)
5. にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入 (基盤層)

T9 (cm)	
1	-15
2	20
3	30
4	40
5	50

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 黑褐色土と褐色土の混合層、礫含む、炭化物混入 (盛土)
3. 褐灰色粘質土、礫混入 (盛土)
4. 褐色土 (漸移層)
5. にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入 (基盤層)

T10 (cm)	
1	-15
2	20
3	30
4	40
5	45

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 黑褐色土と褐色土の混合層、礫含む、炭化物混入 (盛土)
3. 褐灰色粘質土、礫混入 (盛土)
4. 褐色土 (漸移層)
5. にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入 (基盤層)

T11 (cm)	
1	-15
2	20
3	25
4	40
5	45

1. 耕作土 (黒褐色土)
2. 褐灰色粘質土、礫混入 (盛土)
3. 褐灰色粘質土 (2層より暗い)、鉄分・小礫混入 (盛土)
4. にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入 (基盤層)

神矢田遺跡 土層図

T12 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.黒褐色土と褐色土の混合層、礫含む、
2	-40	炭化物混入（盛土）
3	-50	3.褐灰色粘質土、鉄分・小礫混入（盛土）
4	-55	4.褐色粘質土（漸移層）、遺物含む
5		5.にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入（基盤層）

T13 (cm)

1	-30	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、有機物・鉄分・礫 混入（盛土）
2	-70	3.暗褐色粘質土、砂利混入（盛土）
3	-90	4.にぶい黄褐色粘質土、砂礫混入（基盤層）
4		

T14 (cm)

1	-30	1.耕作土（黒褐色土） 2.青灰色砂（盛土）
2	-45	3.褐灰色土と褐色土の混合層、礫・ 有機物・鉄分混入（盛土）
3	-150	4.黒褐色粘質土、小礫・炭化物混入 (旧表土)、繩文土器含む
4	-170	5.にぶい黄褐色粘質土、砂礫少ない (基盤層)
5		

T15 (cm)

1	-10	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、黒褐色土と褐色土混入、 砂礫含む（盛土）
2	-30	3.灰褐色粘質土、砂礫・鉄分混入（盛土）
3	-45	4.暗褐色土、小礫混入（旧表土）、遺物含む
4	-55	5.黄褐色粘質土、砂礫多く含む（基盤層）
5		

T16 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、黒褐色土と褐色土混入、 砂礫含む（盛土）
2	-40	3.灰褐色粘質土、砂礫・鉄分混入（盛土）
3	-55	4.暗褐色土、小礫混入（旧表土）、遺物含む
4	-70	5.褐色土、砂礫混入（漸移層）、遺物含む
5	-75	6.黄褐色粘質土、砂礫多く含む（基盤層）
6		

T17 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、黒褐色土と褐色土混入、 砂礫含む（盛土）
2	-40	3.灰褐色粘質土、砂礫・鉄分混入（盛土）
3	-55	4.暗褐色土、小礫混入（旧表土）、遺物含む
4	-70	5.褐色土、砂礫混入（漸移層）、遺物含む
5	-75	6.黄褐色粘質土、砂礫多く含む（基盤層）
6		

T20 (cm)

1	-10	1.耕作土（黒褐色土） 2.灰褐色粘質土と黒褐色・褐色土の混合層、 礫・鉄分混入（盛土）
2	-30	3.褐灰色砂礫層（盛土）
3	-60	4.褐灰色粘質土、鉄分含む、砂礫が多量 に混入する（基盤層）
4		

T21 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.灰褐色粘質土と黒褐色・褐色土の混合層、 礫・鉄分混入（盛土）
2	-55	3.褐灰色粘質土、砂利・有機物混入（漸移層）
3		

T23 (cm)

1	-30	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐色土、砂礫多く含む（盛土）
2	-55	3.褐灰色土、砂礫・炭化物混入、土器を 多く含む（遺物包含層）
3	-105	4.褐色土、小礫混入、遺物含む
4	-115	5.黄褐色粘質土、砂礫多く含む（基盤層）
5		

T24 (cm)

1	-25	1.耕作土（黒褐色土） 2.黄褐色土、砂礫多く含む（盛土）
2	-45	3.砂礫層
3	-65	4.灰褐色粘質土、小礫・炭化物混入、 土器を多く含む（遺物包含層）
4	-90	5.黄褐色粘質土、砂礫多く含む（基盤層）
5		

T25 (cm)

1	-40	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐色土、砂礫多く含む（盛土）
2	-65	3.褐色土、砂礫混入、遺物少量含む
3	-90	4.砂礫層（旧河川堆積土）、遺物含む
4		

T26 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐色土、砂礫多く含む（盛土）
2	-50	3.砂礫層（旧河川堆積土）、遺物含む
3		

T27 (cm)

1	-40	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、砂礫多く含む（盛土）
2	-65	3.橙色土、鉄分多い（盛土）
3	-75	4.灰褐色粘質土、小礫・炭化物混入、 土器を多く含む（遺物包含層）
4	-110	5.にぶい黄褐色粘質土、砂礫多く含む (基盤層)
5		

T28 (cm)

1	-25	1.耕作土（黒褐色土） 2.褐灰色粘質土、砂礫多く含む（盛土）
2	-50	3.橙色土、鉄分多い（盛土）
3	-65	4.灰褐色粘質土、小礫・炭化物混入、 土器を多く含む（遺物包含層）
4	-95	5.にぶい黄褐色粘質土、砂礫多く含む (基盤層)
5		

T30 (cm)

1	-15	1.耕作土（黒褐色土） 2.灰褐色粘質土、褐色土混入、鉄分 ・小礫多含む（盛土）
2	-35	3.黄色粘質土、遺物含む（旧表土）
3	-50	4.灰褐色粘質土、固くしまる（基盤層）
4		

T31 (cm)

1	-25	1.耕作土（黒褐色土） 2.灰褐色粘質土、褐色土混入、鉄分 ・小礫多含む（盛土）
2	-45	3.褐色土、砂礫・有機物混入、遺物 含む（湿地状堆積土）
3	-65	4.灰褐色粘質土、固くしまる（基盤層）
4		

神矢田遺跡 土層図

II 調査の概要

T 32 (cm)		T 39 (cm)	
1 -25	1.耕作土(黒褐色土)	1 -15	1.耕作土(黒褐色土)
2 -50	2.灰黄褐色粘質土、褐色土混入、鉄分・小礫多含む(盛土)	2 -55	2.砂礫層、巨石・遺物含む(沢堆積土)
3 -75	3.灰黄褐色粘質土、固くしまる(基盤層)	3 -70	3.砂層、巨石・遺物含む(沢堆積土)
4	4.礫層	4	4.褐色砂、均質(沢堆積土)
T 33 (cm)		T 42 (cm)	
1 -15	1.耕作土(黒褐色土)	1 -15	1.耕作土(黒褐色土)
2 -40	2.灰黄褐色粘質土、褐色土混入、鉄分・小礫多含む(盛土)	2 -115	2.褐色砂礫層、瓦礫多く含む(盛土)
3 -50	3.黄灰色粘質土、遺物多く含む、(旧表土)	3	3.青灰色砂礫層、瓦礫多く含む(盛土)
4	4.灰黄褐色粘質土、固くしまる(基盤層)		
T 34 (cm)		T 47 (cm)	
1 -30	1.耕作土(黒褐色土)	1 -20	1.耕作土(黒褐色土)
2 -40	2.黄灰色粘質土、褐色土混入、鉄分・小礫多含む(盛土)	2 -35	2.褐色砂質土、小礫含む(遺構検出面)
3	3.灰黄褐色粘質土、固くしまる(基盤層)	3 -50	3.褐灰色砂質土、褐色土混入、小礫含む
		4 -70	4.黒褐色粘質土、炭化物混入、小礫含む 遺物多く含む(遺物包含層)
		5	5.にぶい黄褐色砂質土、砂礫多く含む (基盤層)
T 1 (cm)			神矢田遺跡 土層図
1 -15	1.耕作土(黒褐色土)		
2 -35	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)		
3	3.黄褐色砂礫(基盤層)		
T 2 (cm)		T 13 (cm)	
1 -20	1.耕作土(黒褐色土)	1 -15	1.耕作土(黒褐色土)
2 -40	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)	2 -40	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)
3	3.黄褐色土(基盤層)	3	3.黄褐色粘質土と礫の混合層(基盤層)
T 4 (cm)		T 15 (cm)	
1 -20	1.耕作土(黒褐色土)	1 -15	1.耕作土(黒褐色土)
2 -35	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)	2 -25	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)
3 -70	3.褐灰色粘質土、砂礫混入(盛土)	3 -40	3.褐灰色粘質土、炭化物・砂礫混入(盛土)
4	4.黄褐色粘質土(基盤層)	4	4.黄褐色土(基盤層)
T 6 (cm)		T 17 (cm)	
1 -10	1.耕作土(黒褐色土)	1 -15	1.耕作土(黒褐色土)
2 -30	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)	2 -50	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)
3	3.黄褐色砂礫(基盤層)	3 -60	3.黒褐色土(旧表土)
T 8 (cm)		4 -70	4.褐色土(漸移層)
1 -15	1.耕作土(黒褐色土)	5	5.黄褐色土(基盤層)
2 -35	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)		
3	3.黄褐色土、均質(基盤層)		
T 10 (cm)		T 18 (cm)	
1 -10	1.耕作土(黒褐色土)	1 -20	1.耕作土(黒褐色土)
2 -25	2.暗褐色粘質土、礫混入(盛土)	2 -50	2.褐灰色粘質土、褐色土・小礫混入(盛土)
3 -30	3.褐色土(漸移層)	3 -60	3.にぶい黄褐色粘土、小礫混入
4	4.黄褐色土(基盤層)	4	4.黄褐色土(基盤層)
T 21 (cm)		T 24 (cm)	
1 -30	1.耕作土(黒褐色土)	1 -20	1.耕作土(黒褐色土)
2	2.黄褐色粘土、礫多い(基盤層)	2 -40	2.褐灰色粘質土、褐色土・小礫混入(盛土)
		3	3.黄褐色粘土(基盤層)

畠地区遺跡可能性地 土層図



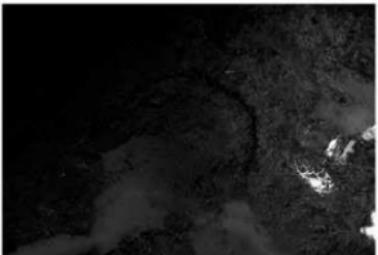
神矢田遺跡 T 1 全景(東から)



神矢田遺跡 T 16 全景(西から)



神矢田遺跡 T 16 土層断面(南から)



神矢田遺跡 T 16 遺構検出状況(北西から)



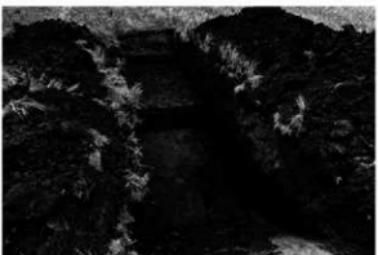
神矢田遺跡 T 20 全景(東から)



神矢田遺跡 T 23 全景(北から)



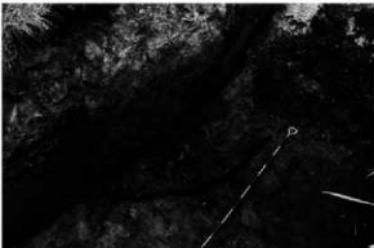
神矢田遺跡 T 23 土層断面(西から)



神矢田遺跡 T 27 全景(南から)



神矢田遺跡 T 27 土層断面(西から)



神矢田遺跡 T 27 遺構検出状況(北西から)



神矢田遺跡 T 30 土層断面(北から)



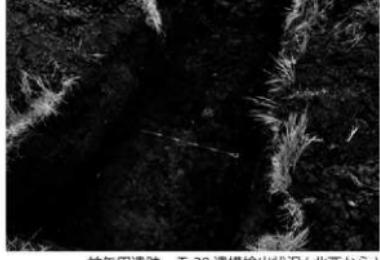
神矢田遺跡 T 30 土層断面(東から)



神矢田遺跡 T 28 全景(南から)



神矢田遺跡 T 28 土層断面(東から)



神矢田遺跡 T 28 遺構検出状況(北西から)



神矢田遺跡 T 33 全景及び遺構検出状況(西から)



神矢田遺跡 T 33 土層断面（西から）



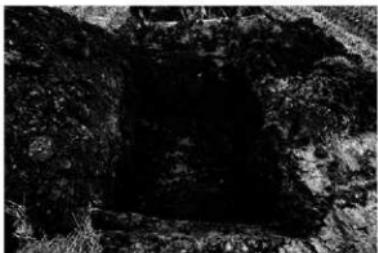
神矢田遺跡 T 34 全景（東から）



神矢田遺跡 T 34 土層断面（南から）



神矢田遺跡 T 34 遺構検出状況（東から）



神矢田遺跡 T 42 全景（東から）



神矢田遺跡 T 46 全景（東から）



神矢田遺跡 T 46 土層断面（南から）



神矢田遺跡 T 47 全景（南から）



神矢田遺跡 T 47 土層断面(東から)



神矢田遺跡 T 47 遺構検出状況(南東から)



畠地区遺跡可能性地 T 2 全景(西から)



畠地区遺跡可能性地 T 2 土層断面(南から)



畠地区遺跡可能性地 T 8 土層断面(東から)



畠地区遺跡可能性地 T 8 土層断面(南から)



畠地区遺跡可能性地 T 15 全景(西から)



畠地区遺跡可能性地 T 15 土層断面(北から)



畠地区遺跡可能性地 T 18 全景(北西から)



畠地区遺跡可能性地 T 18 土層断面(南西から)



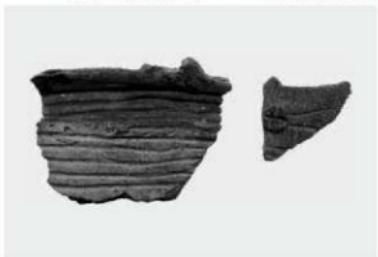
畠地区遺跡可能性地 T 24 全景(西から)



畠地区遺跡可能性地 T 24 土層断面(南から)



神矢田遺跡 T 23 出土遺物



神矢田遺跡 T 24 出土遺物



神矢田遺跡 T 28 出土遺物



神矢田遺跡 T 34 出土遺物

(14) 馬場田館跡隣接地

所在地 山形県米沢市六郷町字桐原

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和3年6月18日

起因事業 道路改築事業（補助）（国）287号道路改良工事

遺跡立地 標高：約225m、立地：扇状地、地目：宅地

試掘区 事業予定地内にトレーニング3箇所を設定した。

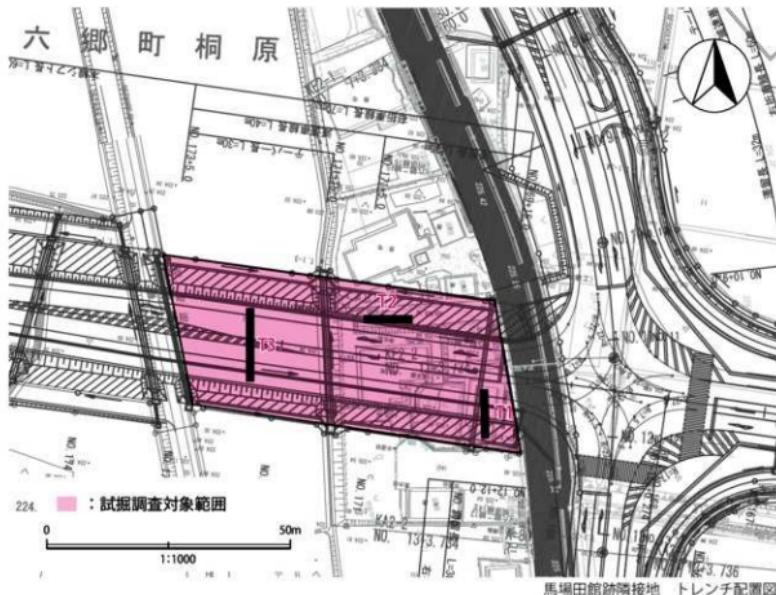
試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 56.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は、鬼面川左岸の扇状地上に位置し、平成30年度に踏査を実施している。事業用地の南側に馬場田館跡が隣接するが、遺跡の範囲を示す堀は消滅しており遺跡範囲が明確でないことから、遺跡範囲を確認するため試掘調査を実施したもの。
事業地内にトレーニングを3箇所設定して調査を行った結果、いずれのトレーニングにおいても遺構・遺物は確認されなかった。堀跡等、馬場田館跡に関する遺構は確認されなかつたため、遺跡範囲は明らかではないが、遺跡は事業地内まで及ばないと判断された。



T1 (cm)

1	10	1.表土
2	80	2.灰黄褐色シルト、細礫を含む(盛土)
3	90	3.黒褐色シルト、酸化鉄を含む
4	100	4.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
5		5.灰色砂質シルト、酸化鉄・砂を含む

T2 (cm)

1	15	1.表土
2	40	2.灰黄褐色シルト、細礫を含む(盛土)
3	45	3.黒褐色シルト、酸化鉄を含む
4	50	4.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
5	55	5.褐灰色シルト、酸化鉄を含む、4層に比してやや暗い
6		6.灰色砂質シルト、酸化鉄を含む

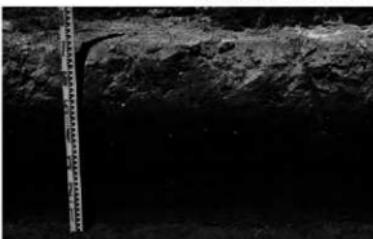
T3 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-40	2.灰色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫を含む (造成土)
3	-50	3.暗灰色粘土
4	-65	4.灰色粘質シルト
5		5.灰白色砂質シルト

馬場田館跡隣接地 土層図



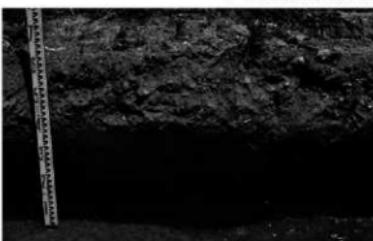
T 1 全景(南から)



T 1 土層断面(東から)



T 2 全景(西から)



T 2 土層断面(南から)



T 3 全景(南から)



T 3 土層断面(西から)

(15) 清水北遺跡

所在地 山形県村山市名取

調査員 竹田純子 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和3年5月14日

起因事業 (一) 村山大石田線(仮称) 村山北① IC 県道改良工事

遺跡立地 標高: 約 111 m、立地: 丘陵、地目: 畑

試掘区 事業予定地内にトレンチ7箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 15.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は、最上川右岸に広がる河島山丘陵の裾部にあたる。事業地内に7箇所のトレンチを設定して調査を実施したところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。

試掘対象範囲のさらに南側の部分については事業範囲が狭小であるため、当初は工事立会を予定していたが、今回の試掘調査結果を受けて、事業地南側部分も含め全体について、慎重工事の勧告とすることとした。

T1 (cm)	
1 -30	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -40	2.灰黄褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
3 -50	3.明黄褐色シルト
4 -60	4.黒褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
5 -80	5.黒褐色シルト
6 -100	6.黒色シルト
7	7.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト・ 軽石を含む

T2 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -40	2.灰黄褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
3 -45	3.黒褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
4 -50	4.黒色シルト
5 -55	5.にぶい黄褐色シルト、軽石を含む

T3 (cm)	
1 -50	1.灰黄褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
2 -100	2.黒色シルト
3	3.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・ 軽石を含む

T4 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -40	2.灰黄褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
3 -60	3.黒褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
4	4.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・ 軽石を含む

T5 (cm)	
1 -20	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -40	2.灰黄褐色シルト、明黄褐色土粒を含む
3 -60	3.黒褐色シルト、にぶい黄褐色シルト を含む
4	4.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・ 軽石を含む

T6 (cm)	
1 -10	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -30	2.黒褐色シルト、植物根を多く含む
3	3.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・ 軽石を含む

T7 (cm)	
1 -30	1.灰黄褐色シルト(表土)
2 -60	2.黒褐色シルト、植物根を多く含む
3	3.にぶい黄褐色シルト、黒色シルト・ 軽石を含む

清水北遺跡 土層図





T 1 全景 (南から)



T 1 土層断面 (西から)



T 3 全景 (南から)



T 3 土層断面 (東から)



T 5 全景 (南から)



T 5 土層断面 (西から)



T 6 全景 (北から)



T 6 土層断面 (西から)

(16) 荷渡遺跡隣接地

所 在 地 山形県舟形町堀内

調 査 員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和3年10月14日

起因事業 (主) 新庄次年子村山線老朽橋架替工事

遺跡立地 標高: 約 56 m、立地: 河岸段丘、地目: 宅地

試 挖 区 事業予定地内にトレント1箇所を設定した。

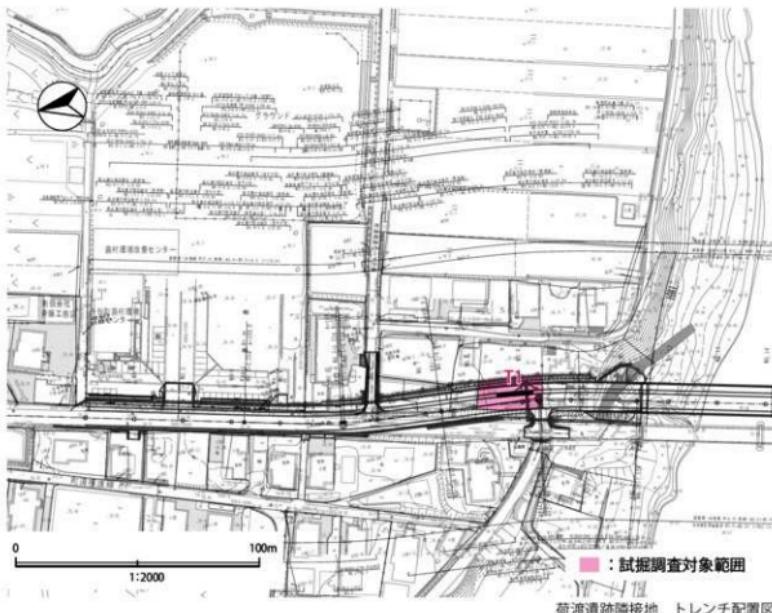
試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 14.5m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所 見 当該地は、最上川右岸の河岸段丘上、小国側との合流点から南西約700mの地点に位置する。事業用地の周辺には荷渡遺跡、轟遺跡、ホーヤ沢遺跡など多くの遺跡が近接しており、当該地にも遺跡が所在する可能性があることから、試掘調査を実施したもの。事業地内にトレント1箇所を設定して調査を行ったところ、遺構・遺物は確認されなかつた。次年度以降、更に南側の事業用地の試掘調査を実施予定。



T 1 (cm)

1	-20	1. 黒褐色シルト（耕作土）
2	-60	2. 黒色シルト、植物根を多く含む
3		3. 明黄褐色微砂質土、黒色シルト・軽石を含む（地山）

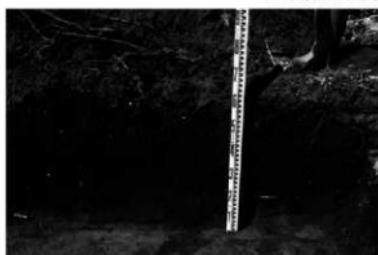
荷渡遺跡隣接地 土層図



T 1 全景（北東から）



T 1 全景（南から）



T 1 土層断面（東から）



調査状況

(17) 野瀬遺跡・遺跡可能性地

所在地 山形県遊佐町北目字田屋敷

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和3年10月19日、11月4日

起因事業 道路改築事業（地債）（国）345号道路改良工事

遺跡立地 標高：約3m、立地：沖積地、地目：田

試掘区 事業予定地に10箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 139.5m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 平安時代

所見 当地は庄内高瀬川右岸の沖積地であり、一帯は平成4年に県営ほ場整備が実施されている。事業地が接続する現在建設中の日本海沿岸東北自動車道では、事業実施前の試掘調査によって新たに野田遺跡が確認され、平成29年度に発掘調査が実施されている。事業地内にトレンチを10箇所設定して調査を行った結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ1～4を設定した県道345号線側の水田については、比較的安定した地盤であるものの、野瀬遺跡の範囲を含めて、過去のほ場整備時に削平されたと考えられ、遺構は確認できなかった。トレンチ5～10を設定した事業地東側については、後背湿地と考えられる粘土質の地盤が確認され、「遺跡可能性地」とした範囲に遺跡は所在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	20	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	60	2.青灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
3		3.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄を多く含む

T4 (cm)

1	-20	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-45	2.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.にぶい黄橙色シルト、黒褐色シルト ブロック・酸化鉄を含む

T2 (cm)

1	-13	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-20	2.褐灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
3		3.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄を多く含む

T5 (cm)

1	-15	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄・ ø～1cmの礫を含む
3	-50	3.褐灰色シルト、黒色粘質土・酸化鉄 を含む
4	-55	4.黒色粘質シルト
5	-60	5.灰白色粘土、植物遺体・酸化鉄・ 灰白色火山灰を含む

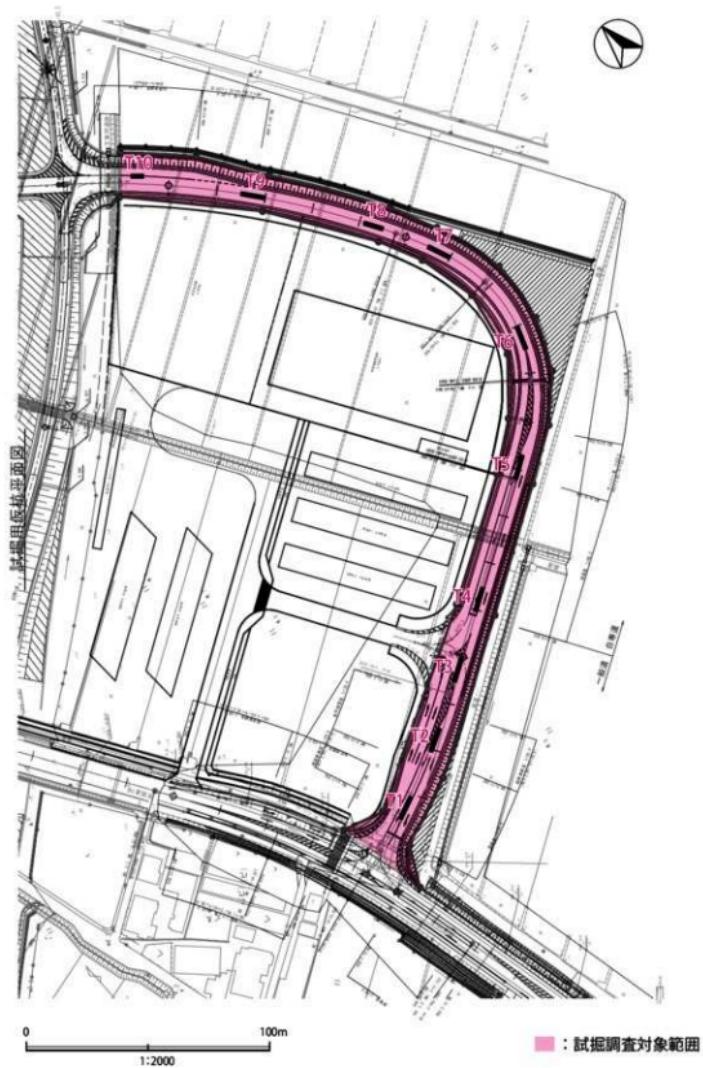
T3 (cm)

1	-20	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む
3	-40	3.褐灰色シルト、灰黄褐色シルト・ 酸化鉄を含む
4	-45	4.灰黄褐色砂質シルト、酸化鉄を多く含む

T6 (cm)

1	-15	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.青灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
3	-60	3.褐灰色シルト、炭化物・灰白色粘質 シルトを含む
4		4.灰白色粘質シルト

野瀬遺跡・遺跡可能性地 土層図



野瀬遺跡・遺跡可能性地 トレンチ配置図

T7	(cm)	
1	-15	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-40	2.青灰色砂質シルト、酸化鉄を含む
3	-60	3.褐灰色シルト、炭化物・灰白色粘質シルトを含む
4	-	4.灰白色粘質シルト

T8	(cm)	
1	-20	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.褐灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-40	3.灰色粘土
4	-45	4.灰黄色粘質シルト

T9	(cm)	
1	-15	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-25	2.灰黄褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-42	3.にぶい黄褐色シルト、酸化鉄を含む
4	-50	4.灰黄褐色粘質シルト、酸化鉄を含む、一部グライ化する

T10	(cm)	
1	-25	1.暗褐色シルト（耕作土）
2	-35	2.青灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-60	3.褐灰色シルト、灰白色シルトを含む
4	-70	4.灰白色粘質シルト

野瀬遺跡・遺跡可能性地 土層図



T 1全景 (南西から)



T 1土層断面 (南東から)



T 2全景 (南西から)



T 2土層断面 (南東から)



T 3全景 (東から)



T 3土層断面 (南東から)



T5 全景 (南西から)



T5 土層断面 (西から)



T6 全景 (南から)



T6 土層断面 (東から)



T8 全景 (南東から)



T8 土層断面 (西から)



T9 全景 (南東から)



T9 土層断面 (南西から)

(18) 山形城三の丸跡

所 在 地 山形県山形市本町・木の実町

調 査 員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 令和4年2月16日、21日

起因事業 都市計画道路事業 旅籠町八日町線

遺跡立地 標高：約142m、立地：扇状地、地目：道路用地

試掘 区 事業予定地に8箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 110.0m²

検出遺構 土坑

出土遺物 土師器片

時 代 奈良・平安時代、中世、近世

所 見 都市計画道路事業旅籠町八日町線（第2期）に起因して、事業予地において試掘調査を実施した。試掘調査は令和2年度より実施しており、令和3年度に、（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録保存のための発掘調査を実施した。また、平成26～28年度にも第1期に係る発掘調査を実施し、平成30年度に調査報告書を刊行している。

事業予定地に、8箇所のトレンチを設定して遺構・遺物の有無を確認した。トレンチ名は、昨年度の試掘調査に続きトレンチ12～19とした。

トレンチ12は、河川堆積層と考えられる砂礫層が確認された。トレンチ13・14は、近世以降と考えられる整地層を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。トレンチ15は、近代（最近）の埋め立て状況が確認された。トレンチ16は、南側で遺構を確認した。トレンチ17は、遺物包含層（または遺構）から土師器片が出土した。トレンチ南側では河川堆積層を確認した。トレンチ18は、遺構と河川堆積層が確認された。トレンチ19は、遺構が確認された。トレンチ16・18・19で確認された遺構は、トレンチ17から奈良・平安時代の遺物である土師器片が出土したことから、同時期の遺構と考えられる。

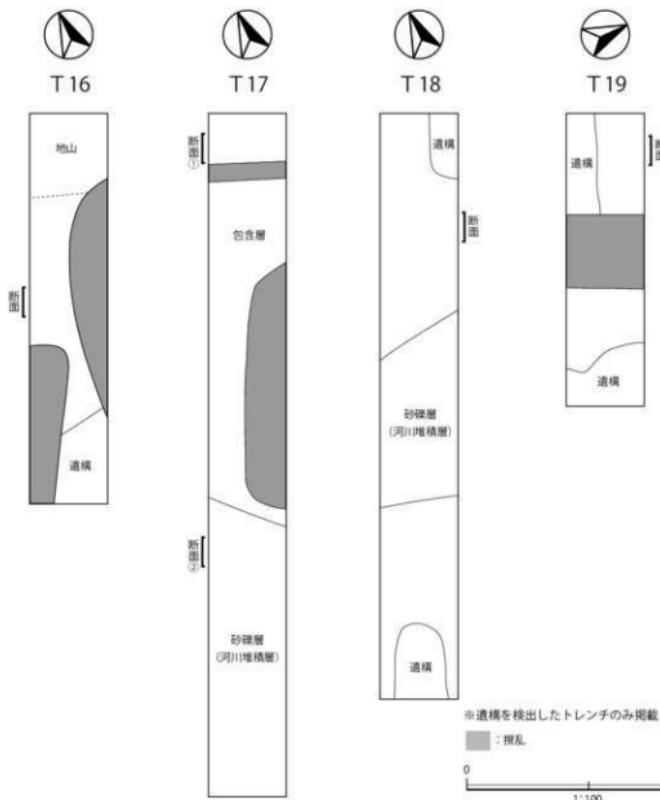
試掘調査の結果、トレンチ16・17・18・19において遺構や遺物が確認された。遺構・遺物が確認された範囲については、記録保存調査が必要である。

また、令和3年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが記録保存調査を実施した1区と2区の間の土地については、試掘調査は実施していないが、記録保存調査の結果から1・2区と同様に遺構・遺物が確認されることが想定されるため、当地についても記録保存調査が必要と判断された。

なお、事業地のうち試掘調査未実施の範囲については、次年度以降、継続して試掘調査を実施予定。



山形城三の丸跡 トレンチ配置図



山形城三の丸跡 道構検出平面図



T 12 全景 (南西から)



T 13 全景 (南東から)

T 12 (cm)

1	-5	1.アスファルト
2	-30	2.灰黄褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
3	-110	3.暗褐色シルト、 ϕ 10~20cmの礫を含む(盛土)
4	-120	4.にぶい黄褐色砂、 ϕ 5~20cmの礫を含む

T 16 (cm)

1	-10	1.砂利層
2	-40	2.灰黄褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
3	-65	3.暗灰黄色シルト
4	-80	4.にぶい黄褐色シルト

T 13 (cm)

1	-5	1.アスファルト
2	-15	2.砂利層
3	-35	3.黒褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
4	-55	4.暗褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
5	-75	5.暗褐色シルト、 ϕ 5cmの礫を少量含む (整地層)

T 14 (cm)

1	-10	1.砂利層
2	-30	2.淡黄色シルト、礫を多量に含む(盛土)
3	-50	3.黒褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
4	-70	4.灰黄褐色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
5	-110	5.にぶい黄褐色砂質シルト(整地層)
6	-130	6.暗褐色砂質シルト(整地層)
7	-160	7.にぶい黄褐色砂、 ϕ 5~20cmの礫を含む

T 17①(cm)

1	-15	1.砂利層
2	-35	2.黒褐色シルト、黄褐色シルトが混じる(攪乱)
3	-70	3.黒褐色シルト(遺物包含層)

T 17②(cm)

1	-10	1.砂利層
2	-70	2.黒褐色シルト、 ϕ 10~20cmの礫を含む
3		3.にぶい黄褐色砂、 ϕ 5~30cmの礫を含む

T 18 (cm)

1	-35	1.砂利層
2	-65	2.浅黄色シルト、 ϕ 5~10cmの礫を含む(盛土)
3	-95	3.黒褐色シルト、4層よりしまり強い
4	-130	4.黒褐色シルト
5		5.暗褐色シルト

T 15 (cm)

1	-10	1.砂利層
2	-160	2.褐灰色シルト、 ϕ ~30cmの礫を含む(盛土)

T 19 (cm)

1	-15	1.砂利層
2	-35	2.黒褐色シルト
3		3.にぶい黄褐色シルト

山形城三の丸跡 土層図



T 13 土層断面(東から)



T 14 全景(北から)



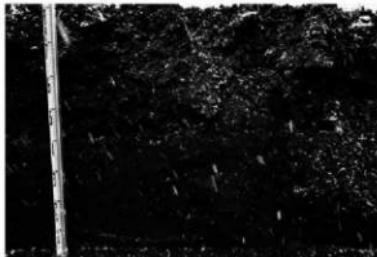
T 14 土層断面 (西から)



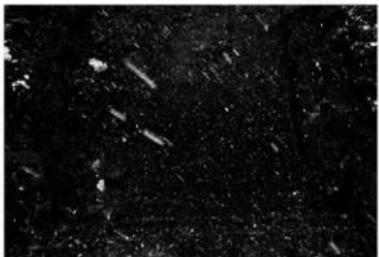
T 15 全景 (北東から)



T 16 全景 (北から)



T 16 土層断面 (東から)



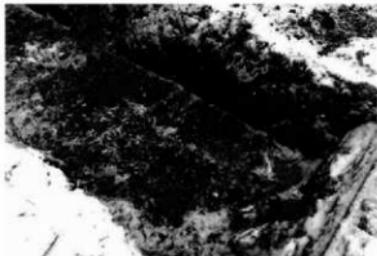
T 16 南側遺構検出状況 (北から)



T 17 全景 (北から)



T 17 土層断面① (東から)



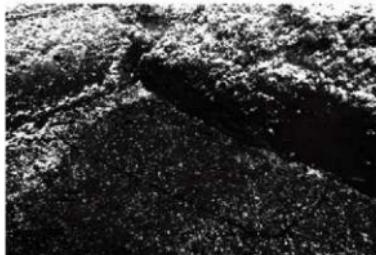
T 17 北側遺構検出状況 (北東から)



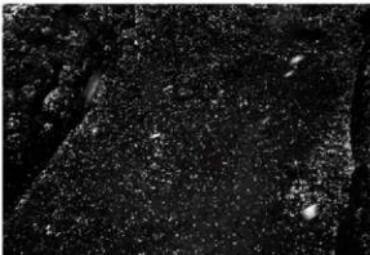
T 18 全景 (北から)



T 18 土層断面 (西から)



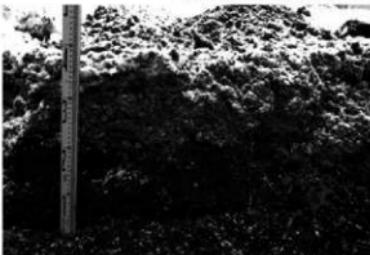
T 18 北側遺構検出状況 (南西から)



T 18 南側遺構検出状況 (北東から)



T 19 全景 (東から)



T 19 土層断面 (南から)



T 19 東側遺構検出状況 (西から)



T 17 出土遺物

(19) 鶴ヶ岡城跡

所在地 山形県鶴岡市馬場町

調査員 竹田純子 岩崎恒平 阿部明彦

調査期日 令和3年11月1日・2日・15日・16日、令和4年1月12日

起因事業 街路整備事業（防災・安全交付金）3・6・1号道形黄金線

遺跡立地 標高：約15m、立地：扇状地（河川堆積による微高地）、地目：道路用地

試掘区 事業予定地に6箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 71.2m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 街路整備事業（防災・安全交付金）3・6・1号道形黄金線に起因して、遺跡と遺跡隣接地において試掘調査を実施した。そのうちトレンチ2・3は、鶴岡市教育委員会が上下水道に係る工事立会を実施した結果、鶴ヶ岡城跡大馬出の一部と考えられる石垣の最下段を確認したことから、馬出・堀跡の範囲や遺存状況を確認することを目的に設置したトレンチである。

調査の結果、トレンチ2・3において堀跡を確認した。堀幅は約17mである。トレンチ1では、土塁または馬出と考えられる土層を確認し、さらにその上層の下から切り込む土色変化も確認した。さらに下層で地山面を確認した。同地区で実施した市教委の工事立会では、地山面で溝跡や柱穴を検出し、青磁片が出土した。トレンチ4～6では、遺構・遺物は確認されなかった。以上の結果から、馬出及び堀跡が確認された範囲について令和4年度に記録保存調査を実施する。

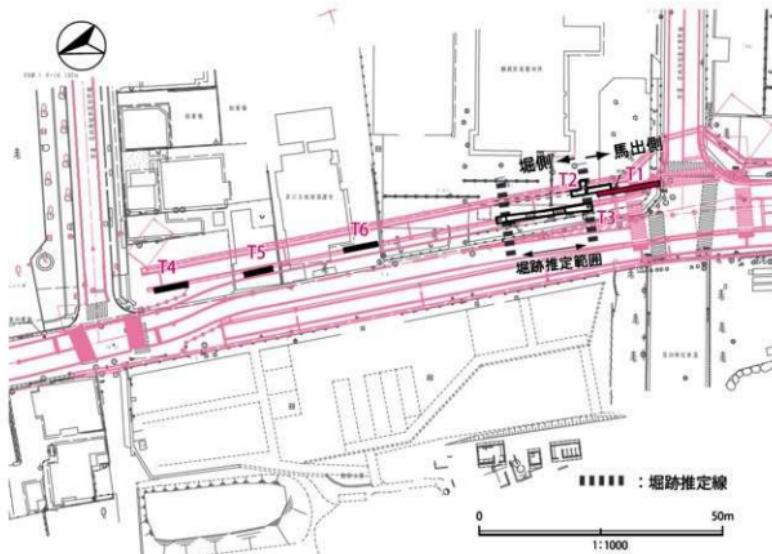
なお、市教委の工事立会で確認された石垣の周辺（約52m²）については、県・市教委共同で工事立会を実施した（令和3年12月13～17日、20・21日）。この他、排水構造物工・電線共同溝工に係る工事立会を工事進捗に合わせて実施した。



T1全景(南東から)



T1土層断面(西から)



鶴ヶ岡城跡 トレーンチ配置図

T1 (cm)	
1	-50
2	-90
3	-130
4	-150

1.褐灰色シルト、礫を含む(盛土)
2.褐灰色シルト、にぶい黄褐色砂質
シルト・酸化鉄を多く含む
3.黒褐色シルト、にぶい黄褐色砂質
シルトを含む
4.にぶい黄褐色砂質シルト、酸化鉄を含む

T4 (cm)	
1	-20
2	-80
3	-100
4	-120

1.砂利層
2.褐灰色シルト、礫を含む(盛土)
3.褐灰色シルト、炭化物・ゴミを
含む(盛土)
4.にぶい黄褐色砂質シルト

T2 (cm)	
1	-35
2	

1.砂利層
2.褐色シルト、にぶい黄橙色シルト・
炭化物・ ϕ 3~5cmの礫を含む

T5 (cm)	
1	-20
2	-60
3	-120
4	-180
5	-200

1.砂利層
2.にぶい黄橙色シルト、灰白色土
ブロックを含む、しまり強い
3.にぶい黄橙色シルト、粘性やや有り、
炭化物を含む
4.青灰色シルト、粘性あり
5.青灰色砂

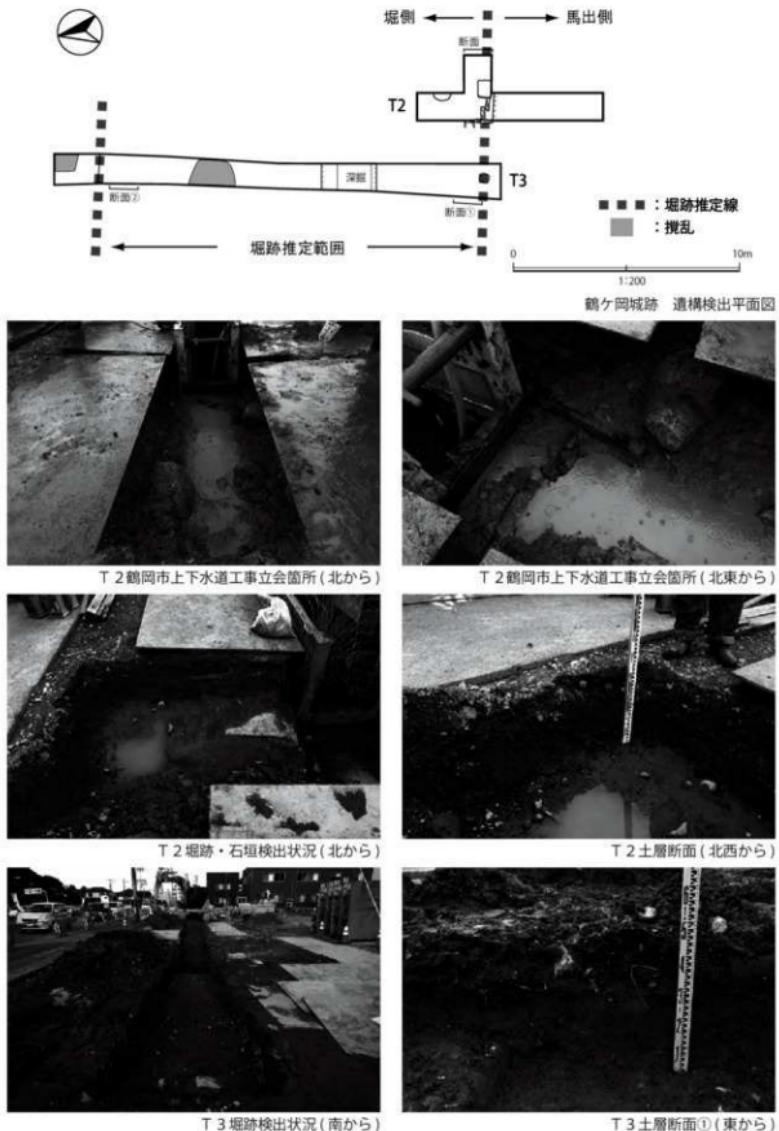
T3① (cm)	
1	-20
2	-50

1.褐灰色シルト、礫を含む(盛土)
2.褐色シルト、にぶい黄橙色シルト・
炭化物・ ϕ 3~5cmの礫を含む

T6 (cm)	
1	-20
2	-60
3	-120
4	-140
5	-240

1.砂利層
2.にぶい黄橙色シルト、灰白色土
ブロックを含む、しまり強い
3.にぶい黄橙色シルト、粘性やや有り、
炭化物を含む
4.青灰色シルト、粘性あり
5.褐色シルト

鶴ヶ岡城跡 土層図





T 3 土層断面② (南東から)



T 3 深掘り箇所土層断面 (東から)



T 4 全景 (北西から)



T 4 土層断面 (東から)



T 5 全景 (南から)



T 5 土層断面 (南東から)



T 6 全景 (南から)



T 1 出土遺物

(20) 南台遺跡隣接地

所在地 山形県長井市泉

調査員 竹田純子 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和3年7月29日、8月24日

起因事業 米沢養護学校西置賜校整備

遺跡立地 標高：約205m、立地：氾濫平野、地目：学校用地

試掘区 事業予定地に3箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

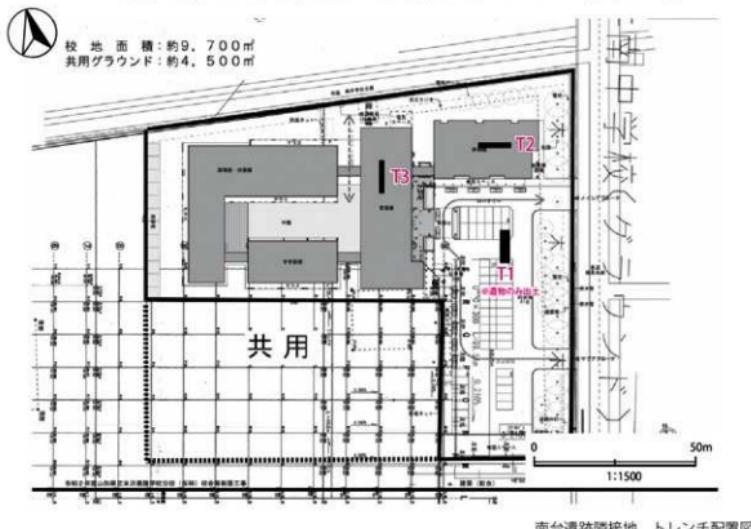
試掘面積 60.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 須恵器・土師器

時代 一

所見 当該地は最上川左岸の氾濫平野上に位置する。南台遺跡が立地する自然堤防はグランド北側の住宅地まであり、グランドまでは延びないと考えられたが、遺跡登録した長井市より中学校建設時に遺物が出土したとの話があることから、試掘調査を実施したもの。事業地内に3箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチ1において流れ込みの遺物が出土した。また、同トレンチ内において土色変化が確認されたため、半裁して精査したところ、明確に遺構と判断されるものはなかった。トレンチ2・3においては遺物は確認されず、事業地内まで遺跡範囲は及ばないと判断された。



II 調査の概要

T1 (cm)	
1 -20	1.にぶい黄褐色砂
2 -140	2.褐灰色シルト、礫・ゴミを含む(盛土)
3 -160	3.暗灰色シルト
4 -160	4.青灰色砂質シルト(地山)

T2 (cm)	
1 -25	1.にぶい黄褐色砂
2 -115	2.褐灰色シルト、礫・ゴミを含む(盛土)
3 -155	3.灰色粘質シルト、ø~5cmの砾を含む(盛土)
4 -170	4.暗灰色シルト
5 -	5.青灰色砂質シルト(地山)

T3 (cm)	
1 -10	1.にぶい黄褐色砂
2 -20	2.明黄橙色砂(盛土)
3 -145	3.灰色粘質シルト、礫・ゴミを含む(盛土)
4 -185	4.灰色粘質シルト、灰白色粘土を含む
5 -	5.砂礫層(河川堆積層)

南台遺跡隣接地 土層図



T1全景(北から)



T1土層断面(北東から)



T2全景(東から)



T2土層断面(北西から)



T3全景(北から)



T3土層断面(東から)

(21) 鶴ヶ岡城跡

所在地 山形県鶴岡市若葉町

調査員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和3年8月5日・10日・20日

起因事業 庄内中高一貫校（仮称）整備

遺跡立地 標高：約16m、立地：扇状地（内川・青龍寺川間の微高地）、地目：学校用地

試掘区 事業予定地に5箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 48.57m²

検出遺構 堀跡、柱穴

出土遺物 陶磁器片・瓦片

時代 一

所見 当地は、鶴ヶ岡城跡二の丸（遺跡登録済）の北側に隣接する七ツ蔵跡・家中屋敷跡（遺跡未登録）であり、現在は県立鶴岡南高等学校敷地となっている。庄内中高一貫校（仮称）整備事業に係り、校舎増築予定地及び仮設校舎建設予定地について試掘調査を実施した。調査地点は、中庭及びグランド南東隅である。仮設校舎はグランド中央に建設予定であるが、当該地を掘削すると授業等への影響が生じることから、南東隅で調査を実施した。

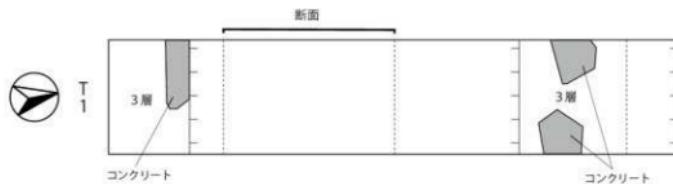
トレンチを5箇所設定して調査を実施したところ、校舎増築予定地の中庭において、トレンチ2～4で堀跡と考えられる遺構を確認した。トレンチ1はコンクリート等の埋設物により掘削可能な範囲が限られたが、トレンチ2～4同様に堀跡の範囲内に含まれるものと推測される。堀跡は、絵図に描かれる七ツ蔵の外堀と考えられる。堀跡からは陶磁器片・瓦片等が出土した。

トレンチ5では、グランド面から40～70cm下で溝跡、柱穴等の遺構を確認した。遺構内から遺物が出土しなかったことから、各遺構の時期は不明であるが、当地に家中屋敷が位置していた事を考えれば、家中屋敷に関係する遺構の可能性が高い。

試掘調査の結果、校舎増築予定地では七ツ蔵の堀跡と考えらえる遺構を確認したため、鶴ヶ岡城跡の遺跡範囲を七ツ蔵堀跡まで範囲拡大（修正）する。事業実施にあたっては、校舎増築については事前に記録保存調査が必要となる。仮設校舎建設については掘削等がグランド造成土内に納まることから、「慎重工事」の勧告とする。また、仮設校舎の配管埋設については、「工事立会」の勧告とする。



鶴ヶ岡城跡 トレンチ配置図



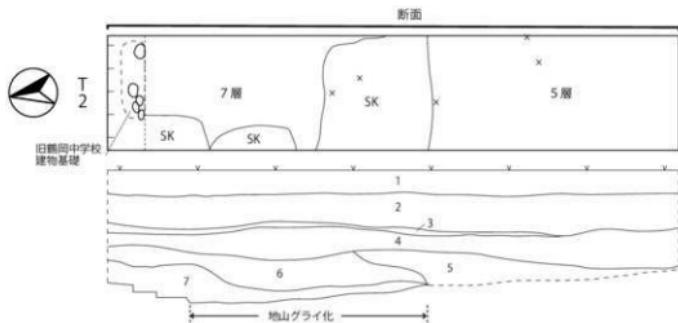
T1	(cm)
1	20
2	50
3	60
4	140
5	190
6	230
7	

T 1 西壁断面

1. 褐色砂
2. にぶい黄褐色細砂、灰色粘土・ $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む（盛土）
3. 灰色粘土、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫・ゴミ等を含む（盛土）
4. 灰色粘土、青灰色粘土を含む
5. 灰色粘土、青灰色粘土を多く含む
6. 青灰色砂、灰色粘土を帶状に含む
7. 青灰色砂質シルト

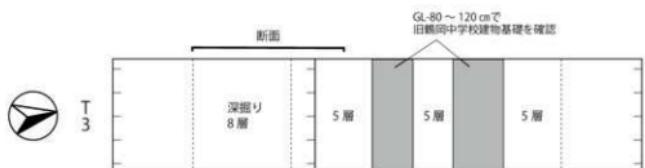


鶴ヶ岡城跡 遺構検出平面図

**T 2 東壁断面**

1. 褐色砂
2. にふい黄褐色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む (盛土)
3. 褐灰色シルト、青灰色砂を含む (盛土)
4. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む、ガラス片混入 (盛土)
5. 褐灰色シルトと青灰色砂が互層となる
6. 褐灰色粘質シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫・炭化物・遺物を含む
7. 青色砂質シルト、酸化鉄を含む (地山)

※トレンチ北側はグライ化していない (にふい黄橙色砂質シルト)

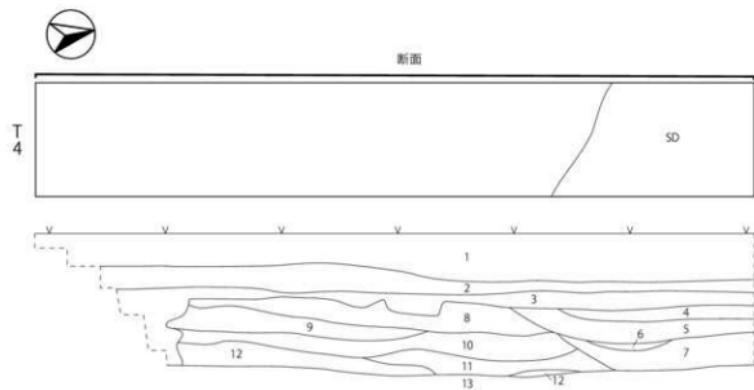
**T 3 西壁断面**

- | T1 (cm) | |
|---------|-----|
| 1 | 20 |
| 2 | 55 |
| 3 | 85 |
| 4 | 125 |
| 5 | 220 |
| 6 | 260 |
| 7 | 340 |
1. 褐色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む (表土)
 2. にふい黄褐色細砂、 $\phi 10 \sim 30\text{cm}$ の礫・コンクリート片を含む (盛土)
 3. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫・ゴミ等を含む (盛土)
 4. 灰色粘質シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を少量含む、遺物を含む
 5. 暗灰色粘土、遺物を含む
 6. 黒色粘質シルト、自然木・植物遺体を含む
 7. 灰色粘土
 8. 灰色砂

× : 遺物出土地点
■ : 掘乱

0 2m
1:60

鶴ヶ岡城跡 遺構検出平面図



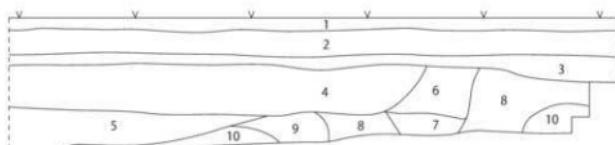
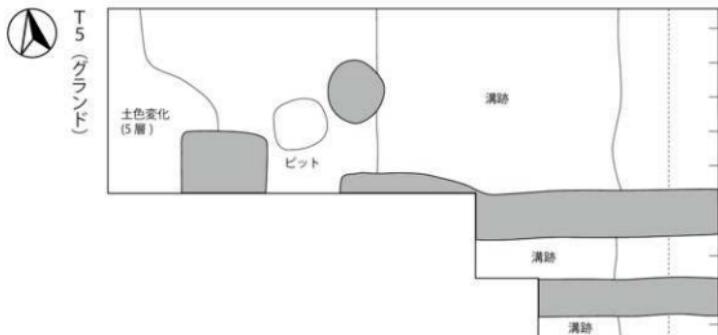
T 4 西壁断面

1. 褐色シルト、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む（表土）
2. にぶい黄褐色細砂、 $\phi \sim 10\text{cm}$ の礫を含む
3. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む、しまり強い（盛土）
4. 黄灰色シルト、灰白色砂を帶状に含む、炭化物を含む
5. 灰色シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫・灰白色粘土ブロック、炭化物を含む
6. 灰色粘土、灰色砂を含む、5層に比して明るい
7. 灰色粘土、砂・炭化物、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を含む、6層に比して暗い
8. 褐灰色シルト、にぶい黄橙色シルト・灰色粘土を斑状に含む、しまり強い
9. 灰色粘質シルト、砂・ $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫、灰白色粘土ブロックを含む
10. 褐灰色粘質シルト、 $\phi \sim 5\text{cm}$ の礫を少量含む
11. 灰色粘質シルト、灰白色粘土ブロックを少量含む
12. 灰色粘質シルト、灰白色粘土ブロックを多量に含む
13. 青灰色砂質シルト、灰色粘土を含む



鶴ヶ岡城跡 遺構検出平面図





T5北壁断面(グランド)

1. 褐色砂
2. 砂利
3. 灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫を含む（盛土）
4. 灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫・炭化物・灰白色シルトブロックを含む
5. 褐灰色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫・炭化物・砂・灰色シルトを含む
6. 灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 3\text{cm}$ の礫・炭化物・灰色シルトを含む
7. 灰黄褐色シルト、砂・炭化物・灰白色シルトブロックを多く含む
8. 灰黄褐色シルト、 $\phi \sim 2\text{cm}$ の礫・炭化物を含む
9. 灰黄褐色シルト、灰黄色土ブロックを含む
10. 浅黄色砂質シルト（山土）

■ : 掘削

0
1:40
2m

鶴ヶ岡城跡 遺構検出平面図



T1 土層断面 (南東から)



T2 全景 (北から)



T 2 土層断面 (南西から)



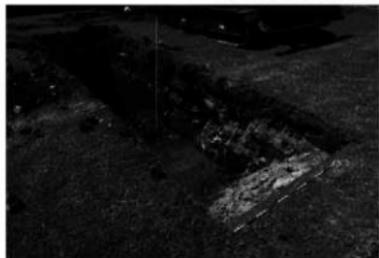
T 2 北側土層断面 (北西から)



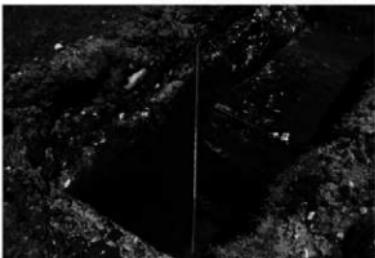
T 2 遺構検出状況 (北東から)



T 2 西壁遺構付近土層断面 (南東から)



T 3 全景 (北東から)



T 3 土層断面 (南東から)



T 3 旧校舎基礎跡 (西壁)



T 4 全景 (南北から)



T 4 土層断面 (南東から)



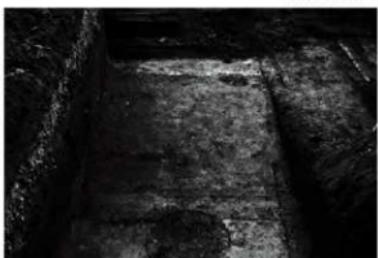
T 4 北側土層断面 (南東から)



T 5 全景 (東から)



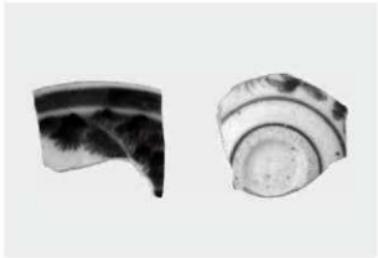
T 5 土層断面 (南東から)



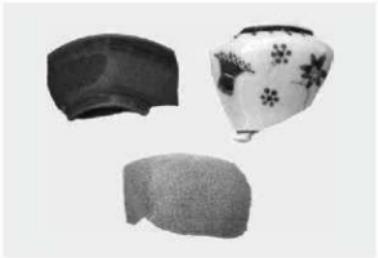
T 5 溝状遺構検出状況 (西から)



T 5 西側遺構検出状況 (東から)



T 2 出土遺物



T 3 出土遺物

(22) 一般国道 13 号金山道路遺跡可能性地 1

所在 地 山形県金山町朴山

調査員 竹田純子

調査期日 令和 3 年 10 月 8 日

起因事業 一般国道 13 号新庄金山道路

遺跡立地 標高：約 161 m、立地：氾濫平野、地目：畑

試掘区 事業予定地に 3箇所の試掘トレーンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 42.08m²

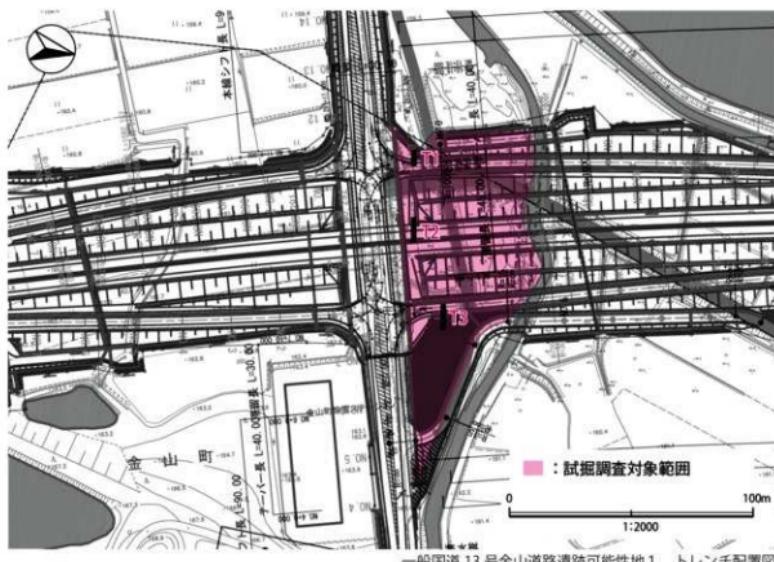
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 一

所見 遺跡可能性地は、令和元年 10 月に実施した踏査において確認されたもので、国道 344 号線の北側の畑（金山道路の起点）で土師器の小片を採取したことから、畑と畑の北側に隣接する杉林を「遺跡可能性地 1」とし、試掘調査を実施したもの。

畑部分にトレーンチ 3 箇所を設定して調査を実施したところ、各トレーンチとも遺構・遺物は確認されなかった。今後、杉林についても試掘調査を実施予定。



T1 (cm)	
1	-10
2	-22
3	
1.表土(旧耕作土) 2.黄褐色粘質シルト(地山)に黒褐色 シルト・根が多く混じる 3.黄褐色粘質シルト(地山)	
T2 (cm)	
1	-12
2	-27
3	-52
4	-72
1.表土(旧耕作土) 2.黒褐色シルト 3.黒色粘質シルト、下部に鉄分混じる 4.黒色粘質シルト・黄褐色粘質シルト が混じる 5.黄褐色粘質シルト(地山)	

T3 (cm)	
1	-12
2	-44
3	-62
4	-102
5	-122
6	
1.表土(旧耕作土) 2.暗褐色シルトに礫混じる 3.黒褐色シルト 4.黒色粘質シルト、礫が少量混じる 5.黒色粘質シルト・黄褐色粘土が混じる 6.黄褐色粘土に礫が混じる	

一般国道13号金山道路遺跡可能性地1 土層図



T1全景(西から)



T1土層断面(南から)



T2全景(東から)



T2土層断面(北から)



T3全景(東から)



T3土層断面(北東から)

(23) 物見峠C遺跡隣接地

所在地 山形県遊佐町吹浦字物見峠

調査員 竹田純子 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和3年10月1日、7日

起因事業 一般国道7号 遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約20～30m、立地：丘陵、地目：山林

試掘区 事業予定地内にトレンチ5箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 64.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 繩文土器片

所見 当該地はJR羽越本線吹浦駅から東に直線で約700m、物見峠と呼ばれる丘陵に位置する。令和元年度に当地のすぐ南側にあたる物見峠C遺跡の試掘調査を実施した際に、丘陵上からの流れ込みの可能性がある遺物が確認されたため、台地上を遺跡可能性地とし、遺跡の有無を確認するために調査を実施したもの。

当該地の東には小山崎遺跡（縄文時代・国指定史跡）、南西には吹浦遺跡（縄文時代・県指定史跡）が位置している。現況は杉林である。

事業地に5箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、トレンチ1の表土中から縄文土器片が出土したが、遺構は確認されず、周辺の状況から流れ込みによるものと判断された。その他のトレンチからは、遺構・遺物は確認されなかった。

未買取地については今回試掘調査を実施できなかったが、試掘調査の結果、遺構・遺物が確認される可能性は低く、今後の試掘調査は不要と判断した。

T1 (cm)

1	-10	1.表土 2.黒褐色シルト、植物根を含む
2	-20	3.にぶい黄褐色シルト、黒褐色シルト を含む
3	-30	

T4 (cm)

1	-25	1.表土 2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	-60	3.明黄褐色シルト
3		

T2 (cm)

1	-20	1.表土 2.黒褐色シルト、植物根を含む
2	-40	3.明黄褐色シルト
3		

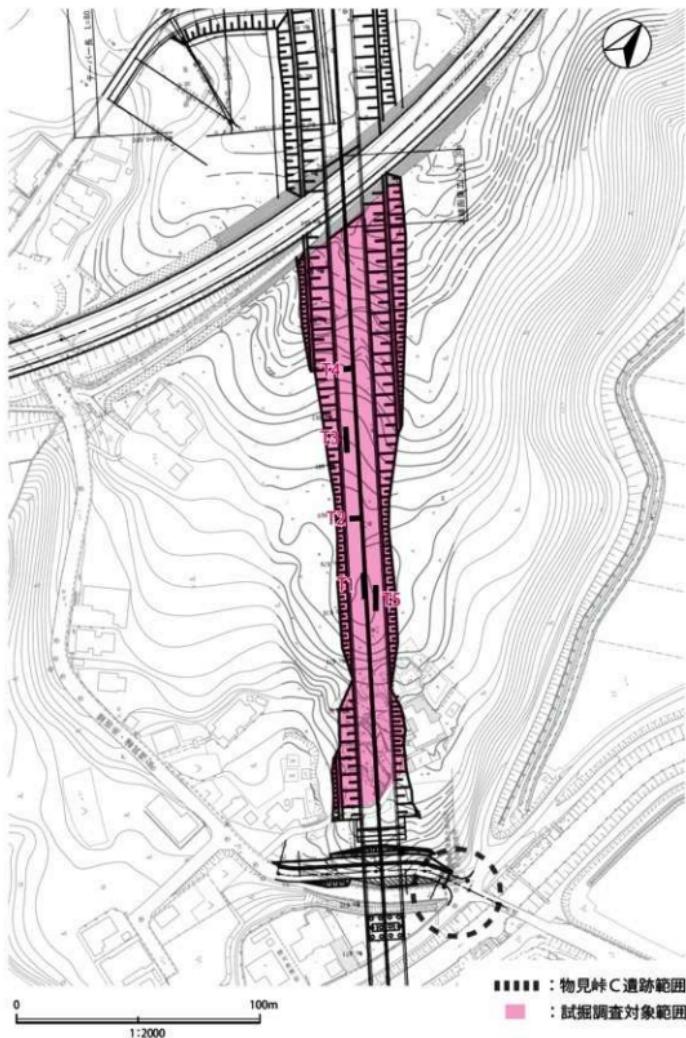
T5 (cm)

1	-10	1.表土 2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	-20	3.明黄褐色粘質シルト
3	-40	

T3 (cm)

1	-20	1.表土 2.暗褐色シルト、植物根を含む
2	-40	3.黒褐色シルト、植物根を含む
3	-50	4.明黄褐色粘質シルト
4	-55	

物見峠C遺跡隣接地 土層図



物見峠C遺跡階接地 トレンチ配置図



T1 全景 (南から)



T1 土層断面 (西から)



T2 全景 (南から)



T2 土層断面 (西から)



T3 全景 (南から)



T3 土層断面 (西から)



T4 全景 (南北から)



T4 土層断面 (東から)

(24) 谷地之子遺跡

所在地 山形県遊佐町吹浦字谷地之子

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和3年8月3日

起因事業 一般国道7号 遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約55m、立地：段丘、地目：田

試掘区 事業予定地内にトレンチ2箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 16.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地の地目は田（休耕田）となっているが、調査時は草が繁茂する状況となっていた。

遺跡範囲のうち東側の一部が事業地に含まれるが、令和2年度に行った踏査の段階で、対象地は削平されている様子が確認されている。

事業地に2箇所のトレンチを設定して調査を行ったところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。今回の試掘調査範囲については、過去の区画整備等により地形が改変されている様子が確認され、谷地之子遺跡に関係する遺構は残っていないものと判断された。



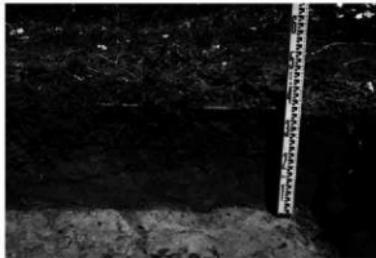
T1全景(東から)



T1土層断面(南から)



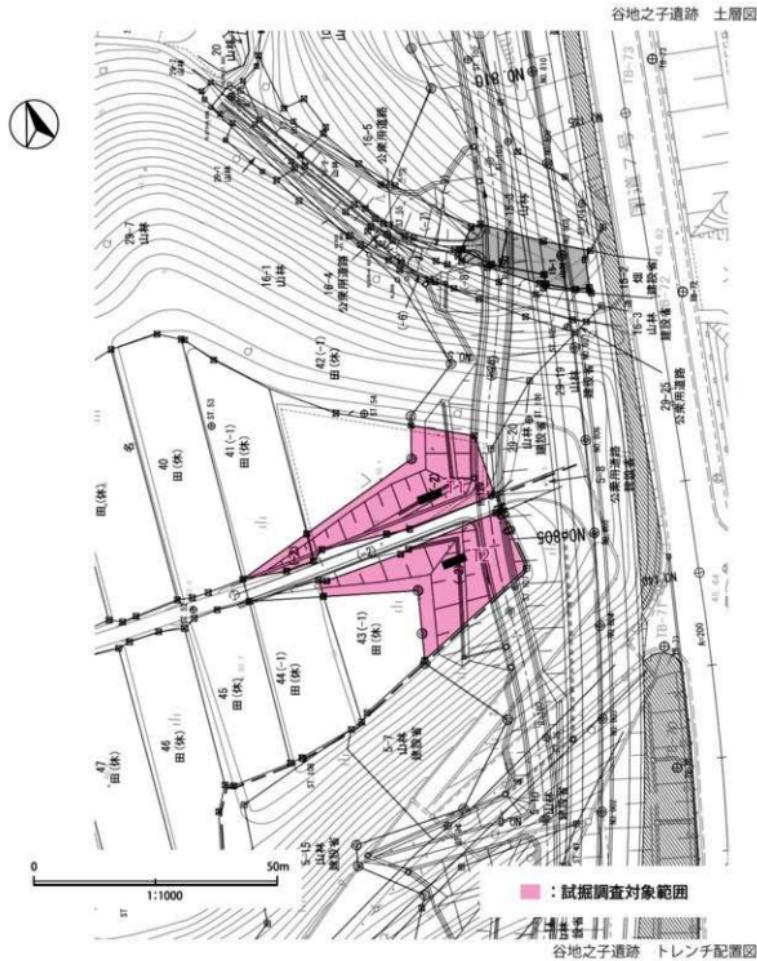
T2全景(東から)



T2土層断面(南から)

T1 (cm)	
1 -15	1.表土(旧耕作土)
2 -40	2.にぶい黄橙色シルト、灰黄褐色粘質土 ブロック・ビニール片を含む、しまり強い
3	3.浅黄色細砂、マンガン粒含む

T2 (cm)	
1	1.表土(旧耕作土)
2	2.褐灰色粘質シルト、にぶい黄褐色
3	粘質土ブロックを含む(客土)
4	3.にぶい黄褐色粘質シルト、褐灰色 粘質シルトブロックを斑状に含む 4.浅黄色細砂、マンガン含む



(25) 一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2

所在地 山形県遊佐町吹浦字越坂

調査員 竹田純子 岩崎恒平

調査期日 令和3年8月31日

起因事業 一般国道7号 遊佐象潟道路

遺跡立地 標高：約59m、立地：段丘、地目：山林

試掘区 事業予定地内にトレーンチ4箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

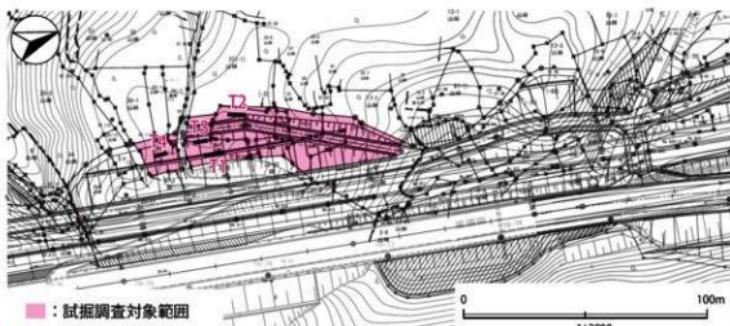
試掘面積 25.0m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

所見 当該地は令和2年10月に行った踏査において確認されたもので、遺跡の有無を確認するために調査を行った。

事業地に4箇所のトレーンチを設定して調査を実施した結果、土地が大きく改変された様子は確認されず、旧地形が良好な状態で残されていたが、いずれのトレーンチにおいても遺構・遺物は確認されず、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2 トレーンチ配置図

T1 (cm)

1	-15	1.表土
2	-45	2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-70	3.黒褐色シルト、植物根を含む
4	-80	4.明黄褐色シルト、粘性やや有り

T3 (cm)

1	-20	1.表土
2	-45	2.明黄褐色シルト、粘性やや有り
3	-60	3.明黄褐色粘土

T2 (cm)

1	-20	1.表土
2	-42	2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-50	3.明黄褐色シルト、粘性やや有り

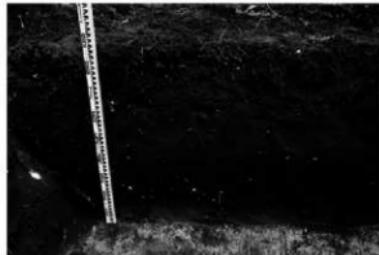
T4 (cm)

1	-15	1.表土
2	-35	2.褐灰色シルト、植物根を含む
3	-70	3.黒褐色シルト、植物根を含む
4	-70	4.明黄褐色シルト、粘性やや有り

一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2 土層図



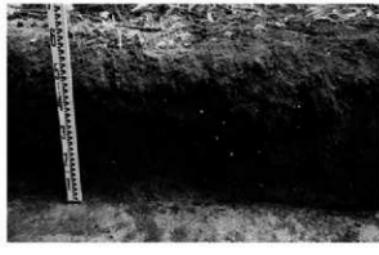
T 1 全景 (南東から)



T 1 土層断面 (北東から)



T 2 全景 (南西から)



T 2 土層断面 (南東から)



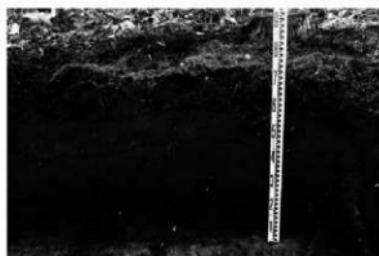
T 3 全景 (北から)



T 3 土層断面 (西から)



T 4 全景 (北東から)



T 4 土層断面 (南東から)

3 記録保存調査の概要

(1) おおだて 大柄館跡

所 在 地 山形県遊佐町小原田字大柄

調 査 員 竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生

調査期日 令和3年5月17日～6月1日

起因事業 農地整備事業（経営体育成型）大柄地区

遺跡立地 標高：約15m、立地：自然堤防、扇状地、氾濫原、地目：田

調査方法 重機で遺構検出面まで掘り下げた後、人力で面整理を行った。その後、検出した遺構の精査及び記録を実施した。

調査面積 約240m²

検出遺構 溝状遺構、柱穴

出土遺物 須恵器系陶器、土師器

時 代

所 見 大柄館跡はこれまでに昭和62年から平成2年にかけて、4次に渡る発掘調査が実施されている。調査成果から、平安時代末期から室町時代にかけての遊佐莊の莊家に関連する重要な遺跡とされ、遺跡範囲の約60万m²のうち、遺跡の中枢にあたる60aが平成7年に遊佐町の指定史跡となっている。事業地は町指定史跡外であるが、史跡の西側にあたる。

農地整備事業に伴い、令和2年度に試掘調査を実施した結果、トレンチ2において溝状遺構及びピットを検出したことから、トレンチ2の付近について記録保存調査を実施したものである。

調査は埋め戻しを含め、延べ10日間の日程で実施した。調査区は、南北約20m、東西約12m、面積は約240m²である。調査の結果、柱穴2基、溝状遺構2基を検出した。柱穴は調査区西端に位置し、調査区外へ広がって掘立柱建物跡を構成する可能性があるが、調査区西側には南北に水路が流れており、拡張することができなかつたため詳細は不明である。平面形は円形で直径は50～60cm、深さはいずれも40cm程度であった。遺物は出土しなかった。

溝状遺構は、昨年度の試掘調査で確認したものである。SD3は長さ4.5m、幅50cm、深さは約15cmであった。SD4は長さ2m、幅40cm、深さは約15cmである。いずれも遺物は出土せず、遺構の性格及び時期の詳細については不明である。調査区南側は、過去の洪水・旧河道等の影響による砂礫層が堆積しており、調査区以南に遺構は分布しないものと考えられる。遺物は、砂礫層中から須恵器系陶器及び土師器环の底部片が出土したが、出土地点からいずれも流れ込みによるものと判断された。

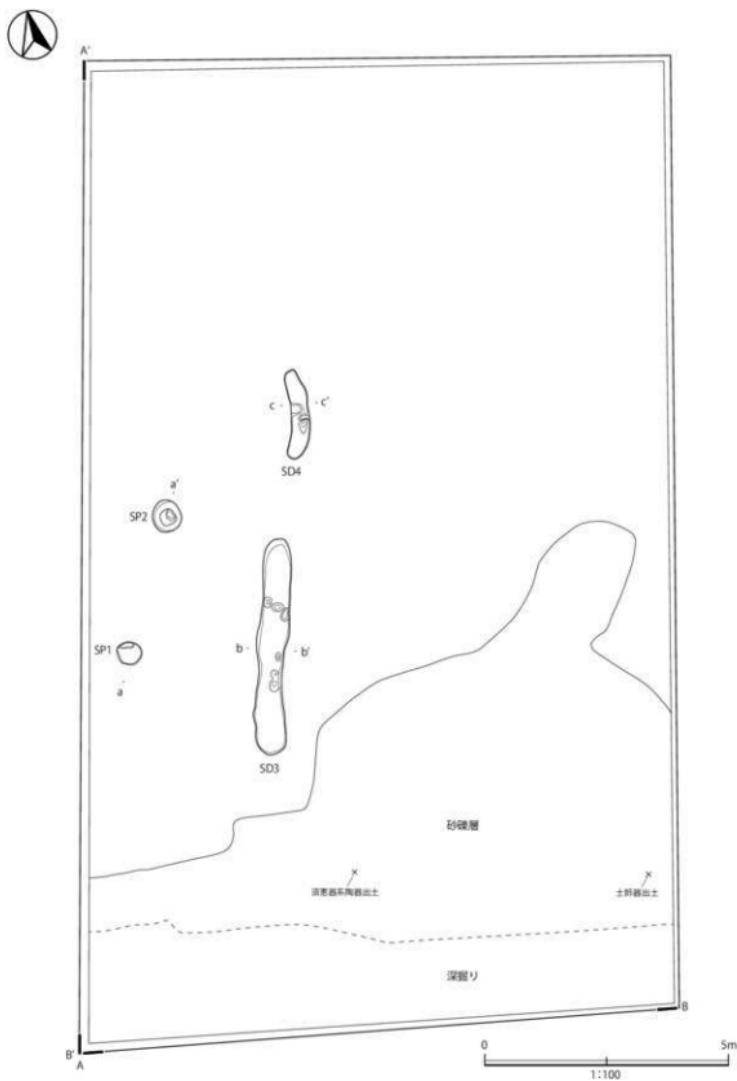
II 調査の概要



大柄館跡記録保存調査対象範囲

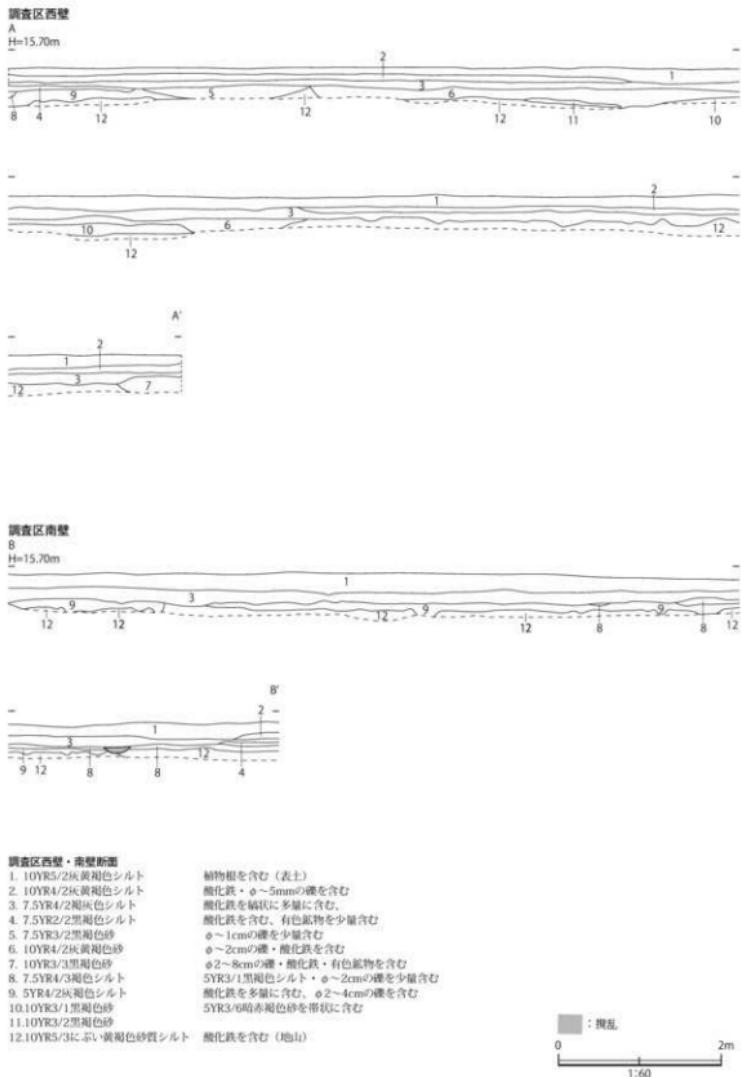


遺構完掘状況全景(南から)

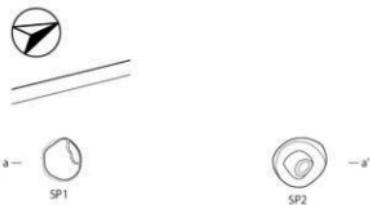


大橋館跡 完掘平面図

II 調査の概要



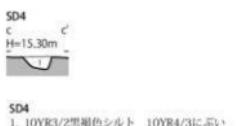
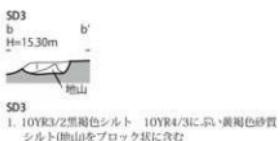
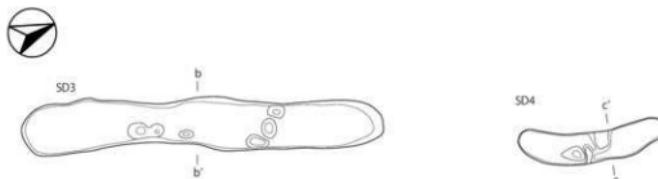
大橋館跡調査区西壁・南壁 土層図



- SP1**
- 10YR4/3に似い黄褐色シルト 細紗・ ϕ -1cmの礫を含む
 - 10YR4/1褐色細紗
 - 10YR4/1褐色細紗 10YR7/3に似い黄褐色シルトブロックを斑状に含む
 - 10YR4/1褐色細紗 酸化鉄を含む

- SP2**
- 10YR4/1褐色灰色シルト ϕ -2cmの礫・酸化鉄を含む
 - 10YR4/1褐色灰色シルト 酸化鉄を含む
 - 10YR4/1褐色灰色シルト 10YR7/3に似い黄褐色シルトブロックを含む
 - 10YR4/1褐色灰色シルト 10YR4/3に似い黄褐色砂を含む
 - 10YR3/1里褐色粘質シルト 10YR4/3に似い黄褐色砂を含む

SP1・2



SD3・4



調査区西側遺構棲出状況(南西から)



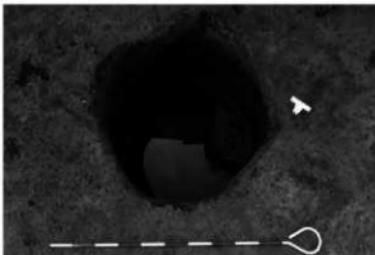
調査区西壁土層断面(南東から)



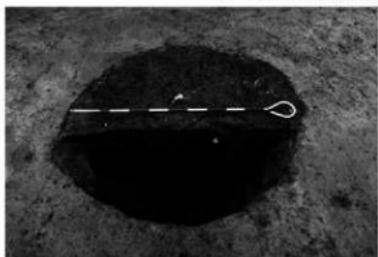
調査区南壁土層断面(北西から)



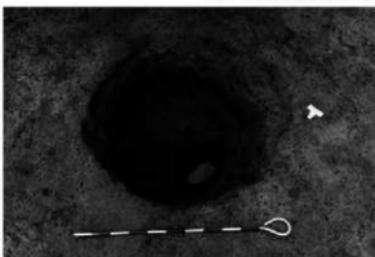
SP 1 土層断面(東から)



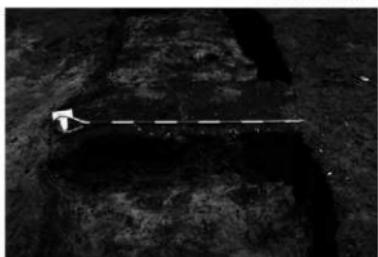
SP 1 完掘状況(東から)



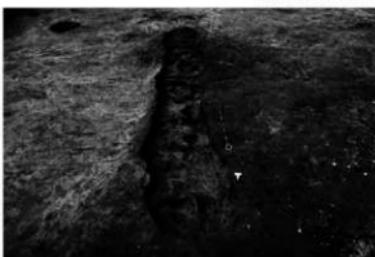
SP 2 土層断面(東から)



SP 2 完掘状況(東から)



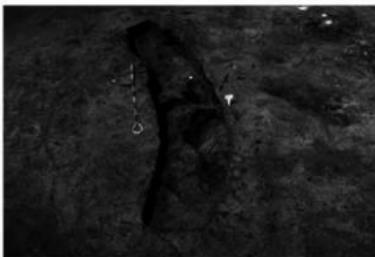
SD 3 土層断面(南から)



SD 3 完掘状況(南から)



SD 4 土層断面(北から)



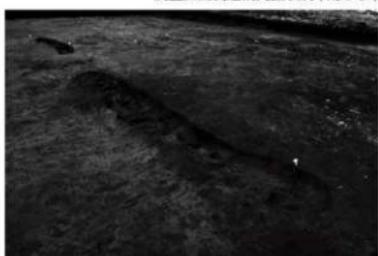
SD 4 完掘状況(南から)



調査区西側造構完掘状況(南から)



SP 1・2 完掘状況(南西から)



SD 3・4 完掘状況(南西から)



調査区南側砂礫層(西から)



遺物出土状況(南西から)



遺物出土状況(北西から)



出土遺物



出土遺物

4 工事立会の概要

(1) 石田遺跡、谷柏古墳群

所在地 山形県山形市大字谷柏

調査員 竹田純子 稲村圭一 山科樹生

調査期日 令和3年9月22日、12月23日

起因事業 農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)南山形地区

遺跡立地 標高:約128m、立地:扇状地、丘陵、地目:田、畠

調査区 事業予定地内の工事用道路設置に係る掘削範囲を調査対象とした。

調査方法 重機で遺構検出面まで掘り下げた後、人力で面整理を行った。その後、検出した遺構の記録を実施した。

調査面積 約76m²

検出遺構 壊穴住居跡、土坑、ピット

出土遺物 須恵器、土師器

時代 石田遺跡:奈良・平安時代、谷柏古墳群:古墳時代

所見 石田遺跡の範囲内については、工事用道路設置に伴う側溝入替え工事時に立会を実施した。立会を実施したのは杭No.14から南に約95mの範囲で、幅約80cm、深さは約60cmである。立会の結果、攢乱が及んでいる範囲も多く認められたが、地表下約60cmの深さで壊穴建物跡と考えられる遺構及び土坑・ピット等の遺構を複数確認した。遺物は古代の須恵器・土師器片が出土した。工事による掘削は遺構検出面以下まで及ばないため、検出した遺構についてはプランの検出及び写真・図面記録に留めた。

谷柏古墳群については、工事用道路設置箇所の一部が古墳群が位置する丘陵裾部に僅かにかかることから、道路建設工事時に立会を実施した。工区内での表土除去を確認した後、工事掘削面(約1m前後)まで掘削を行ったが、立会いの結果、遺構・遺物は確認されなかった。

断面①(cm)

1	-35	1.褐灰色シルト(表土)
2	-60	2.灰色シルト、酸化鉄を含む
3		3.黄灰色シルト、砂・酸化鉄を含む

断面②(cm)

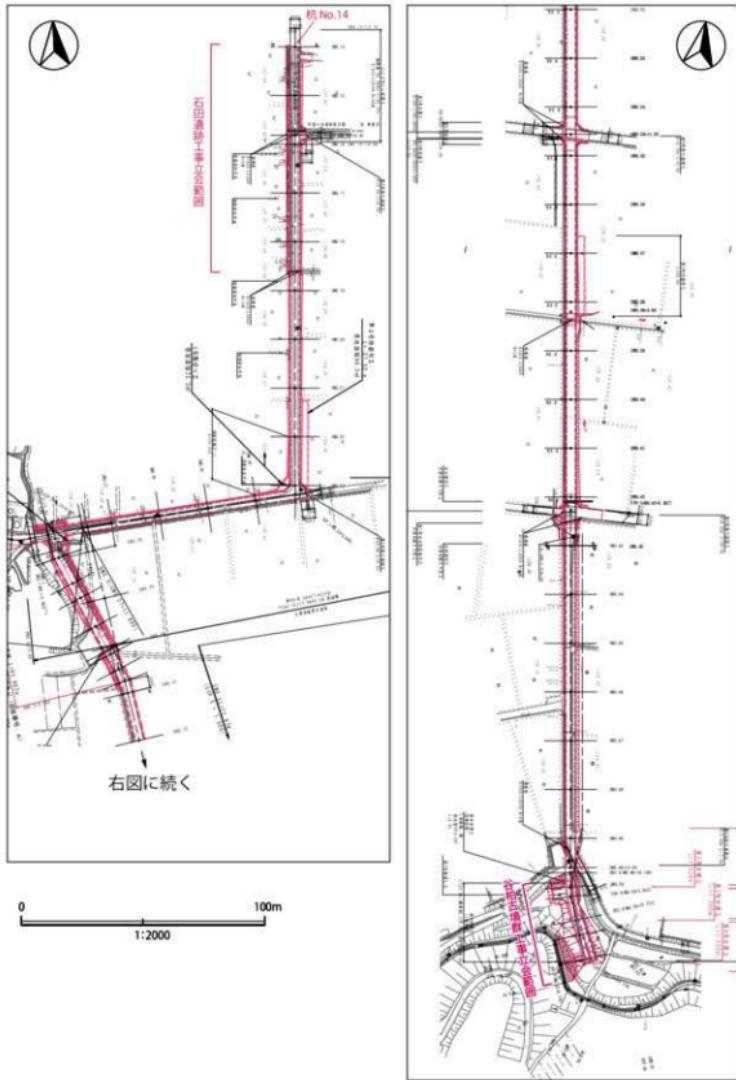
1	-25	1.褐灰色シルト(表土)
2	-35	2.灰色シルト、酸化鉄を含む
3	-50	3.黒色シルト
4		4.黄灰色シルト、砂・酸化鉄を含む

石田遺跡 土層図

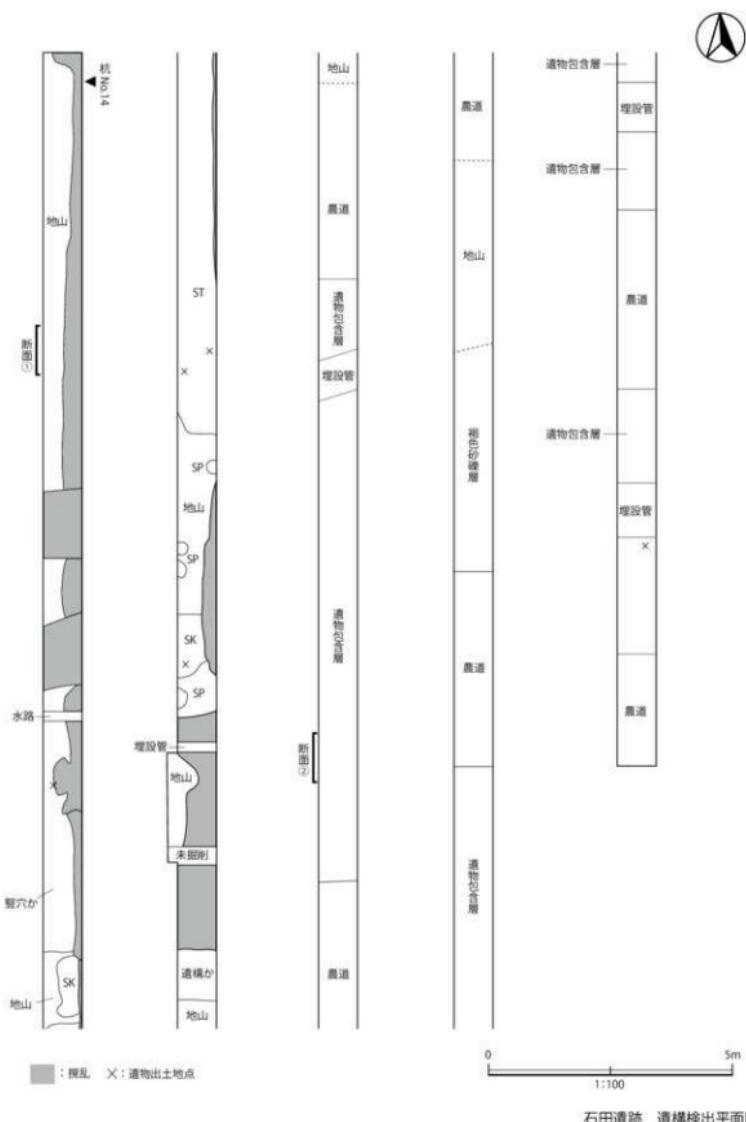
土層断面(cm)

1	-20	1.褐灰色シルト(表土)
2	-60	2.明黄褐色微砂質土、φ~10cmの礫を含む

谷柏古墳群 土層図



南山形地区 工事立会範囲





石田遺跡 挖削完了状況(南から)



石田遺跡 遺構検出状況(北から)



石田遺跡 遺構検出状況(北東から)



石田遺跡工事立会箇所 土層断面①(東から)



石田遺跡工事立会箇所 土層断面②(東から)



谷柏古墳群 工事用道路建設工事立会(南から)



谷柏古墳群工事立会箇所 土層断面(東から)



石田遺跡 竪穴建物跡内出土物

第Ⅲ章 遺跡の修正

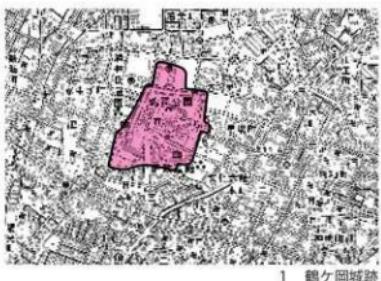
1 範囲修正

令和3年度に範囲修正を行った遺跡は、山形県からの通知による1件である。詳細については、「令和3年度範囲修正一覧」として掲載した。

なお、令和3年度の新規登録遺跡はなかった。また、現在「山形県遺跡地図」(県 WebPage 掲載)の「市町村の遺跡一覧」に修正履歴や調査履歴などを掲載する改善作業を行なっている。

令和3年度範囲修正遺跡一覧

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲修正	1	鶴ヶ岡城跡 (203-044)	鶴岡市	城館跡		2022年1月11日文文第 1453号山形県	山形県	鶴岡



掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
1	石田遺跡、谷柏古墳群	山形南部
2	狼沢遺跡	谷地
3	原の内 A 遺跡ほか	延沢
4	塩根川遺跡	羽後川井
5	清水城跡	古口
6	仲ノ原遺跡、沖野原遺跡	舟形
7	農地整備事業(経営体育成型)(赤坂西地区)	羽前金山
8	作之巻遺跡	古口
9	農地整備事業(経営体育成型)(清水堰地区)	古口
10	農地整備事業(経営体育成型)(紫山向山地区)	舟形
11	唐猫沢遺跡	舟形
12	農地整備事業(経営体育成型)(真室川北部1期地区)	及位
13	片杉野遺跡	羽前金山
14	農地整備事業(機構関連)(浅川地区)	糠野目
15	天王遺跡	漆山
16	潜清水 a 遺跡	米沢
17	農地整備事業(経営体育成型)(成田地区)	長井
18	手塚館跡	長井
19	谷地樋跡	三瀬2
20	深沢樋跡	羽後觀音寺
21	海谷森遺跡	大網
22	農地整備事業(経営体育成型)(杉沢前田地区)	吹浦
23	内林遺跡、沢成遺跡、剣竜神社西窓跡、下当切添遺跡	吹浦
24	大樋遺跡	吹浦
25	神矢田遺跡	吹浦
26	宝谷遺跡	大網
27	一本松A遺跡、川代山J遺跡	羽黒山
28	道路事業(改築)(主)山形天童線道路改良工事	寒河江
29	米沢城東二の丸跡	米沢
30	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢北部
31	清水北遺跡	延沢
32	道路長寿命化対策事業(補助・橋梁更新)(主)新庄次郎子村山線老朽橋架替工事	海谷
33	野瀬遺跡	吹浦

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
34	山形城三の丸跡	山形北部・山形南部
35	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
36	鏡ヶ浦遺跡、若宮館跡、成沢西遺跡	山形南部
37	善翁寺裏遺跡	延沢
38	下山遺跡、笛洞遺跡、目倉神遺跡	吹浦
39	根際古墳	山形北部
40	楯堂・楯戸遺跡	山形北部
41	境土砂災害対策事業(地すべり)	白鷹山
42	白岩経塚	左沢
43	京塚館跡	羽根沢温泉
44	庭月觀音堂遺跡、觀音寺遺跡	羽根沢温泉
45	大沢地域力防災強化型土砂災害対策事業	赤湯
46	新山B窯跡、山谷新田遺跡	余目
47	米沢義譲学校西置賜校整備	長井
48	鶴ヶ岡城跡	鶴岡
49	交番・駐在所整備事業天童警察署干布・荒谷(仮称)駐在所	山寺
50	堀口館遺跡	谷地
51	最上川上流大規模関連災害事業(溝延築堤)	寒河江
52	横山学校前遺跡	延沢
53	最上川直轄河川大規模災害関連事業(最上川中流)	古口
54	沢内の沢砂防堰堤(角川・飼山砂防)	古口
55	一般国道13号金山道路遺跡可能性地1	羽前金山
56	湯ノ花遺跡、平林Ⅲ遺跡、平林Ⅳ遺跡、金毘羅砦跡	小国、小国東部
57	松下屋敷跡	山形北部
58	一般国道7号遊佐象潟道路物見峠C遺跡隣接地	吹浦
59	谷地之子遺跡	吹浦
60	一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地2	吹浦
範囲修正	鶴ヶ岡城跡	鶴岡

報告書抄録

ふりがな	ぶんぶちょうさほうこくしょ 49							
書名	分布調査報告書(49)							
副書名								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第228集							
編著者名	竹田純子 稲村圭一 岩崎恒平 山科樹生							
編集機関	山形県観光文化スポーツ部							
所在地	〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号 TEL 023-630-2879							
発行年月日	2023年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因	
おおだてたてあと 大柄館跡	山形県 鶴岡市 大柄 大柄 小原田 あざれおと 字大柄	6461	461-151	39° 01' 19"	139° 92' 10"	20220517 ～ 20220601	240.00	記録保存 調査
はらうちいせき 原の内A遺跡	山形県 尾花沢市 鶴子	6212	212-029	38° 56' 27"	140° 49' 08"	20220615～ 20221217 ※うち21日間	1065.20	試掘調査
かみやだいせき 神矢田遺跡	山形県 鶴岡市 大柄 大柄 北日字畠	6461	461-206	39° 03' 48"	139° 92' 24"	20221006～ 20221210 ※うち12日間	784.80	試掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
大柄館跡	城館跡		柱穴、溝状遺構	須恵器系陶器、土師器	(出土品箱数: 1箱)			
原の内A遺跡	集落跡	縄文時代・奈良・平安時代	竪穴建物跡、土坑、ピット、落とし穴	縄文土器、石器	(出土品箱数: 3箱)			
神矢田遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴建物跡、溝状遺構、土坑、柱穴	縄文土器、石器	(出土品箱数: 1箱)			
要約	大柄館跡	令和2年度に実施した試掘調査において遺構が検出された範囲の周辺について、記録保存調査を実施した。調査の結果、柱穴2基、溝状遺構2基を検出した。遺物は、調査区南側の河川堆積と考えられる範囲から、須恵器系陶器及び土師器片が出土した。						
	原の内A遺跡	事業地に97箇所のトレンチを設定して調査を実施した結果、竪穴建物跡、土坑、ピット、落とし穴等の遺構が検出された。遺構及び遺物包含層からは、縄文時代中期を主体とする縄文土器及び石器が多く出土した。						
	神矢田遺跡	神矢田遺跡及びその周辺にトレンチを47箇所設定して調査を行った結果、複数のトレンチで縄文時代の遺構・遺物を検出した。遺跡の範囲が広がることが確認されたため、今後、範囲修正が必要になる。また、遊佐町指定史跡範囲の南側で古代の遺物が数多く出土し、これまで確認されていなかった古代の遺跡があることが確認された。						

山形県埋蔵文化財調査報告書第228集

分布調査報告書(49)

令和5年3月31日 発行

発行 山形県観光文化スポーツ部
印刷 坂部印刷株式会社